

令和6年度

協働のまちづくりに関する意識調査報告書

(市民、市民活動団体、事業者)

令和7年3月

松戸市



# 目 次

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 第1章 調査概要                          | 1   |
| 第2章 調査結果                          | 3   |
| I 市 民                             | 3   |
| 1. 回答者プロフィール                      | 3   |
| 2. ライフスタイル                        | 6   |
| 3. 市民活動の実態と意識                     | 17  |
| 4. 協働のまちづくりへの意識                   | 42  |
| 5. 政策評価                           | 49  |
| 6. 市民活動の活性化、市民と行政の協働の推進、施策への提案や意見 | 58  |
| II 市民活動団体                         | 62  |
| 1. 回答団体プロフィール                     | 62  |
| 2. 活動運営状況                         | 66  |
| 3. 団体の情報発信                        | 72  |
| 4. 協働のまちづくりと市の施策                  | 75  |
| 5. 他団体との関わり                       | 85  |
| 6. 協働のまちづくりへの意見、アイデア等             | 88  |
| III 事業者                           | 90  |
| 1. 回答事業者プロフィール                    | 90  |
| 2. 社会貢献活動の現状と課題                   | 91  |
| 3. 市民活動団体との連携                     | 97  |
| 4. 協働のまちづくり                       | 99  |
| 5. 協働のまちづくりの意見・要望・感想等             | 102 |
| 資料編（調査票）                          | 103 |



## 第1章 調査概要

### 1. 調査目的

本調査は、これまでの協働のまちづくりに関する政策評価や協働のまちづくりに取り組む市民活動の現状把握等、新たな政策形成に必要な情報を収集することを目的に、市民、市民活動団体、事業者を対象としたアンケート調査を実施したものであり、本調査結果は、第四次松戸市協働推進計画の進捗評価及び計画見直し検討のための基礎資料とする。

### 2. 調査実施状況

3種類のアンケート調査を、以下の方法により実施した。

|        | 市民                               | 市民活動団体   | 事業者                            |
|--------|----------------------------------|--|--------------------------------|
| 調査対象者  | 市内に居住する18歳以上の方                   | 市内に主たる事務所を置く特定非営利活動法人及びまつど市民活動サポートセンター届出市民活動団体 | 令和4年次フレーム事業所母集団情報に掲載されている市内事業所 |
| 標本数    | 3,000人                           | 988団体  | 400事業所                         |
| 抽出方法   | 住民基本台帳からの無作為抽出                   | 全数調査   | 産業分類を基準とした層別抽出                 |
| 調査方法   | 郵送法・オンライン調査法の併用（郵送配布ー郵送・オンライン回収） |  |                                |
| 調査実施期間 | 令和6年11月20日～12月27日                |  |                                |
| 有効回収数  | 1,281票                           | 431票   | 132票                           |
| 有効回収率  | 42.7%                            | 43.6%  | 33.0%                          |

\*有効回収数（%）＝有効回収数÷サンプル数×100

\*前回の有効回収率は、市民 44.6%、市民活動団体 53.0%、事業者 30.0%であった。

### 3. 本書の見方

- (1) 集計は、小数点第二位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 「n」とは、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率（%）はその設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問については、全ての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 本文中の前回調査とは、市民、市民活動団体、事業者、いずれも令和元年11月～12月に実施したものである。また前々回調査とは、市民、市民活動、事業者、いずれも平成27年11月～12月に実施したものである。
- (6) 前回・前々回調査は郵送配布ー郵送回収で行なったが、今回令和6年度調査は郵送配布ー郵送回収・オンライン回収併用法で行なった。
- (7) 過去調査比較とは選択肢の文言が多少異なるものもあるが、趣旨が異ならない限り併記は省略している。（選択肢の有無については注釈で表記している。）

(8) 統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

| 例          | 表現     |
|------------|--------|
| 17.0～19.9% | 約2割    |
| 20.0～20.9% | 2割     |
| 21.0～22.9% | 2割を超える |
| 23.0～26.9% | 2割台半ば  |
| 27.0～29.9% | 約3割    |

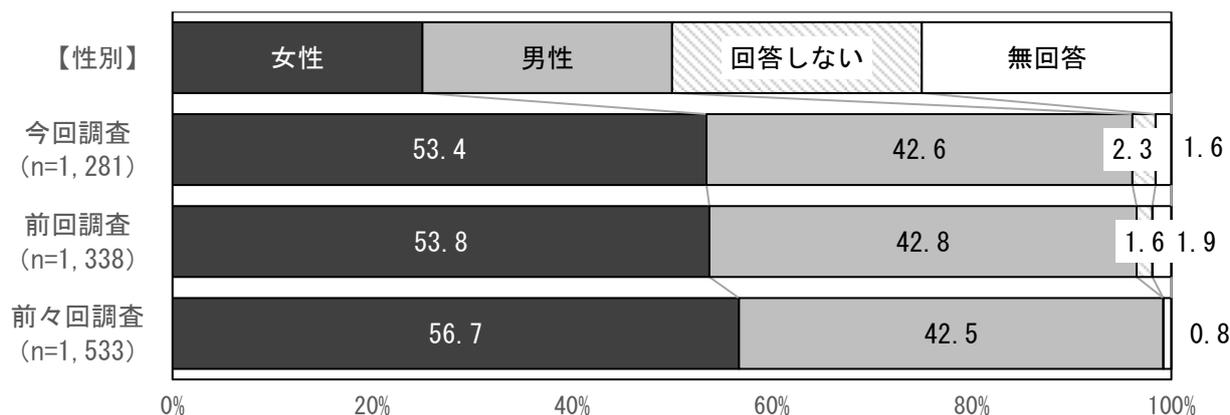
## 第2章 調査結果

### I 市民

#### 1. 回答者プロフィール

##### (1) 性別

性別では、「女性」が53.4%であり「男性」(42.6%)を10.8ポイント上回っている。  
 前回・前々回調査と同様、「女性」の方が高い(図1-1)。

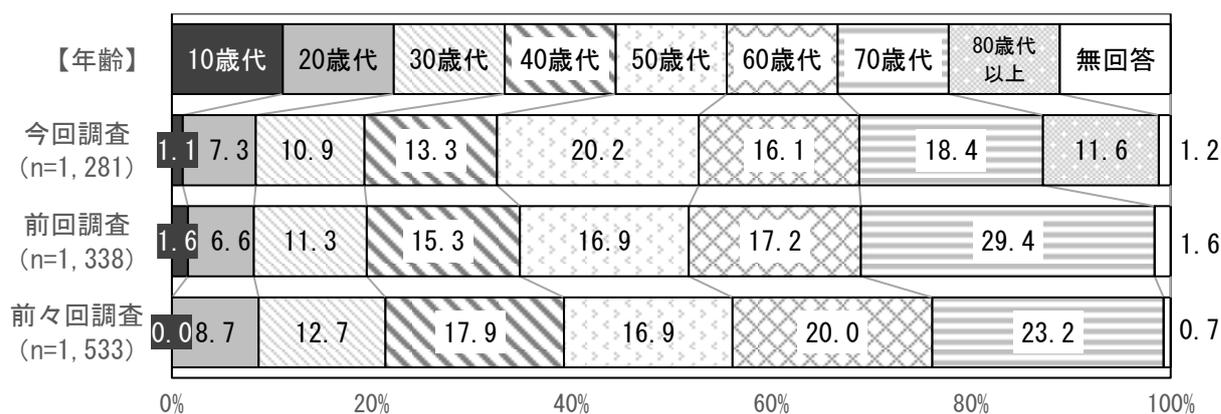


\* 前々回調査では「回答しない」はなし

図1-1 性別(前回・前々回調査比較)

##### (2) 年齢

年齢では、「70歳代」「80歳代以上」を合わせた70歳以上が3割を占めて最も高い。  
 前回・前々回調査と比較すると、「30歳代」「40歳代」「60歳代」が減少している(図1-2)。



\* 前々回調査では「10歳代」はなし。「80歳代以上」は、今回調査のみ。  
 前回、前々回調査の「70歳代」は「70歳以上」として回答があったもの。

図1-2 年齢(前回・前々回調査比較)

（3）職業

職業では、「会社員や公務員などの常勤職」（34.8%）が最も高く、次いで「無職」（19.0%）、  
「パート・アルバイト・フリーター」（17.1%）、「専業主婦・主夫」が16.1%となっており、前回・  
前々回調査と比較して「パート・アルバイト・フリーター」が「専業主婦・主夫」を上回っている。  
（図1-3）。

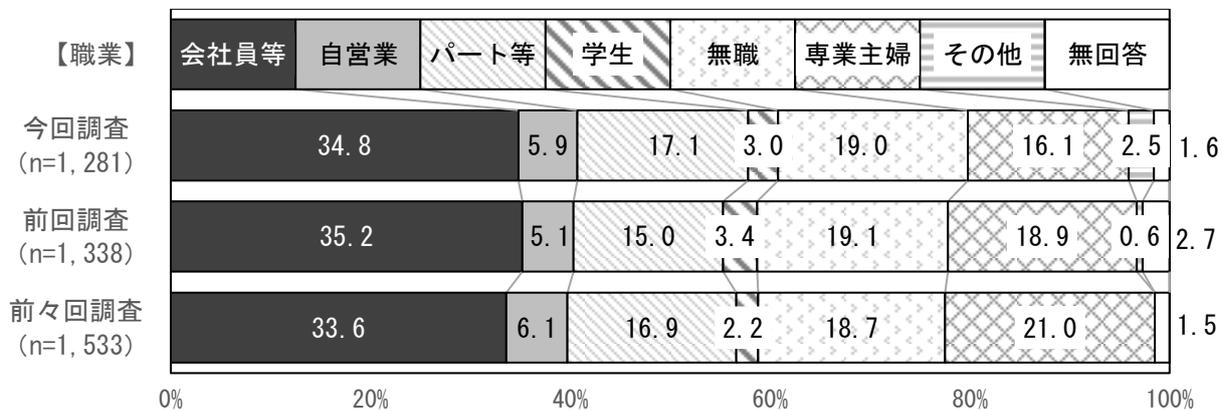


図1-3 職業（前回・前々回調査比較）

（4）在住年数

在住年数では、前回・前々回調査と同様、「25年以上」（57.2%）が最も高い（図1-4）。

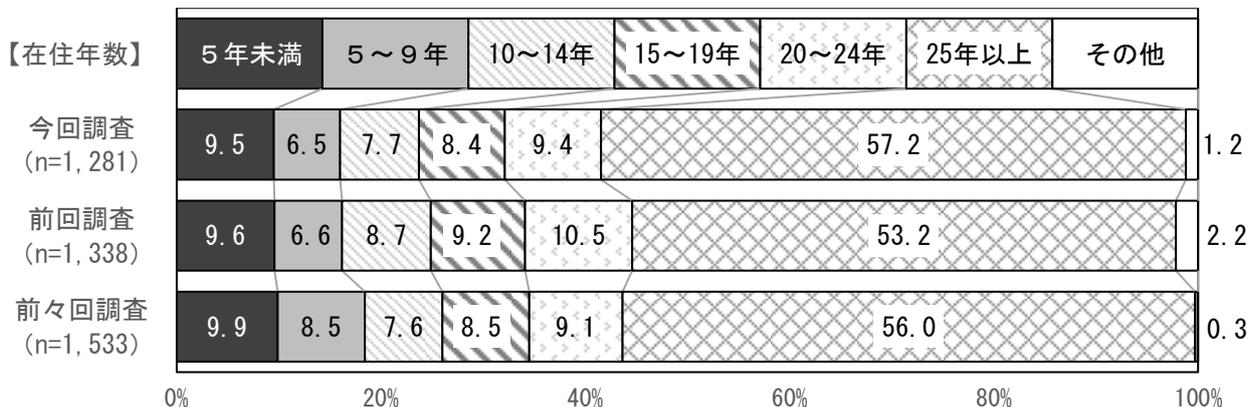


図1-4 在住年数（前回・前々回調査比較）

(5) 家族構成

家族構成では、「自分と配偶者と子どもの世帯」(32.9%)が最も高く、次いで「自分と配偶者の夫婦のみの世帯」(28.2%)となっている。

また、「自分ひとりの世帯」が増加傾向にある(図1-5)。

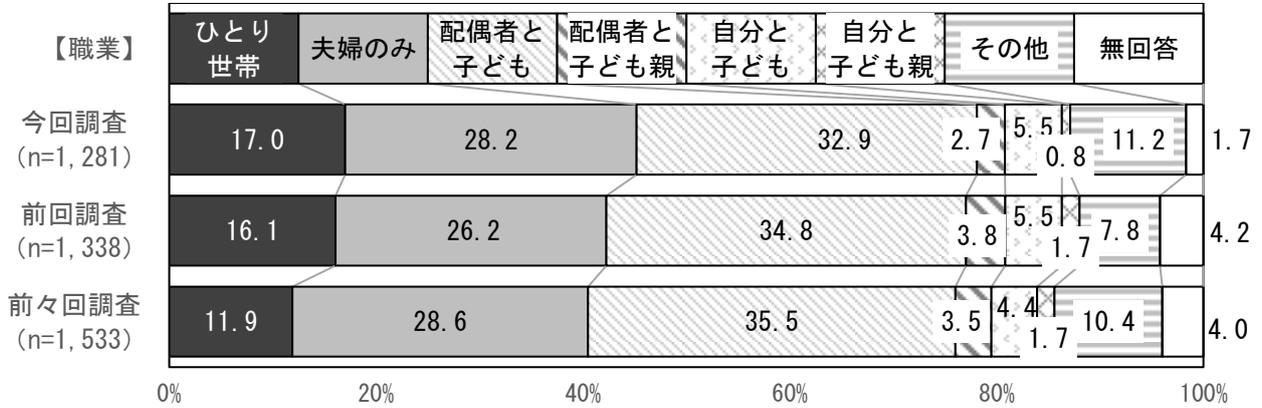


図1-5 家族構成(前回・前々回調査比較)

(6) 居住地域

居住地域では、「東部」(12.8%)が最も高く、次いで「常盤平」(9.5%)、「五香松飛台」(9.4%)となっている。(図1-6)。

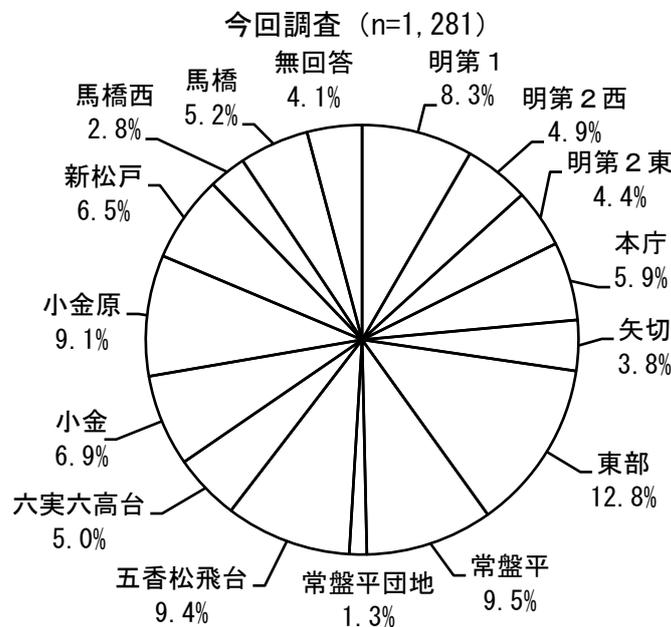


図1-6 居住地域

## 2. ライフスタイル

### （1）時間的なゆとり、経済的なゆとり、地域への愛着、地域の絆

#### ①全体

問1 あなたは、日常生活に時間的なゆとりを感じていますか。（○は1つだけ）  
 問2 あなたは、日常生活に経済的なゆとりを感じていますか。（○は1つだけ）  
 問3 あなたは、松戸市に愛着を感じていますか。（○は1つだけ）  
 問4 あなたが住んでいる地域には、日常生活の中で、住民同士の交流・助け合いなどがあると感じていますか。（○は1つだけ）

日常生活におけるゆとりや地域への愛着、地域の絆（住民同士の交流・助け合い等）については、「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価」が最も高いものは、「地域への愛着」（71.2%）であり、次いで「時間的なゆとり」（48.5%）、「地域の絆」（41.6%）、「経済的なゆとり」（33.0%）となっている。

また、「経済的なゆとり」は、「肯定的評価」が33.0%である一方、「否定的評価」が47.5%であり、4項目の中で唯一「否定的評価」が「肯定的評価」を上回っている（図1-7）。

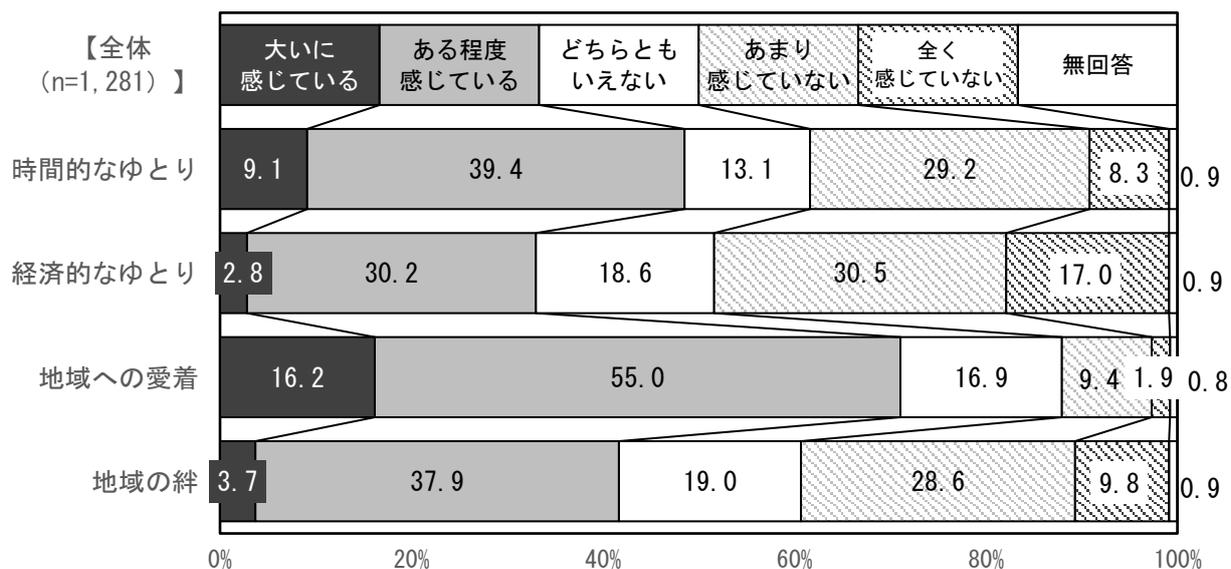


図1-7 時間的なゆとり、経済的なゆとり、地域への愛着、地域の絆

②時間的なゆとり (前回・前々回調査比較、性別、年代別)

日常生活における時間的なゆとりについて、「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価」を前回・前々回調査と比較すると、緩やかに減少している。

性別では、「女性」の方が若干「肯定的評価」が高い。

年代別では、「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」では「肯定的評価」が「否定的評価」を上回る一方「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では「否定的評価」が「肯定的評価」を上回っている (図1-8)。

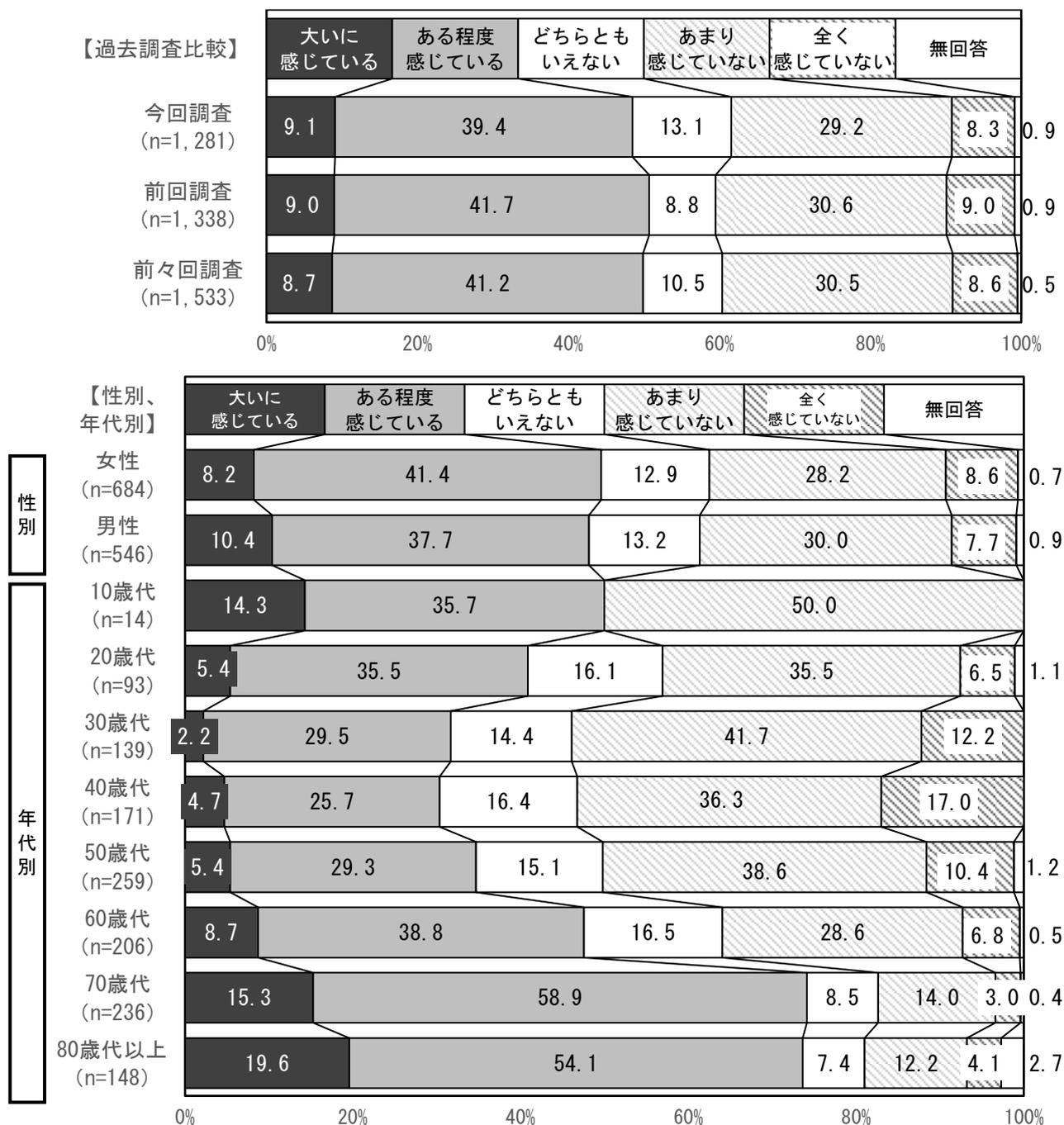


図1-8 時間的なゆとり (【上】前回・前々回調査比較、【下】性別、年代別)

③経済的なゆとり（前回・前々回調査比較、性別、年代別、職業別）

日常生活における経済的なゆとりについて、「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価」を前回・前々回調査と比較すると、緩やかに増加しているが、「否定的評価」を上回る水準までは達していない。

年代別では、「70歳代」「80歳代以上」の年代で「肯定的評価」が「否定的評価」を上回っている。

また、職業別では、「専業主婦・主夫」のみ「肯定的評価」が「否定的評価」を上回っている（図1-9）。

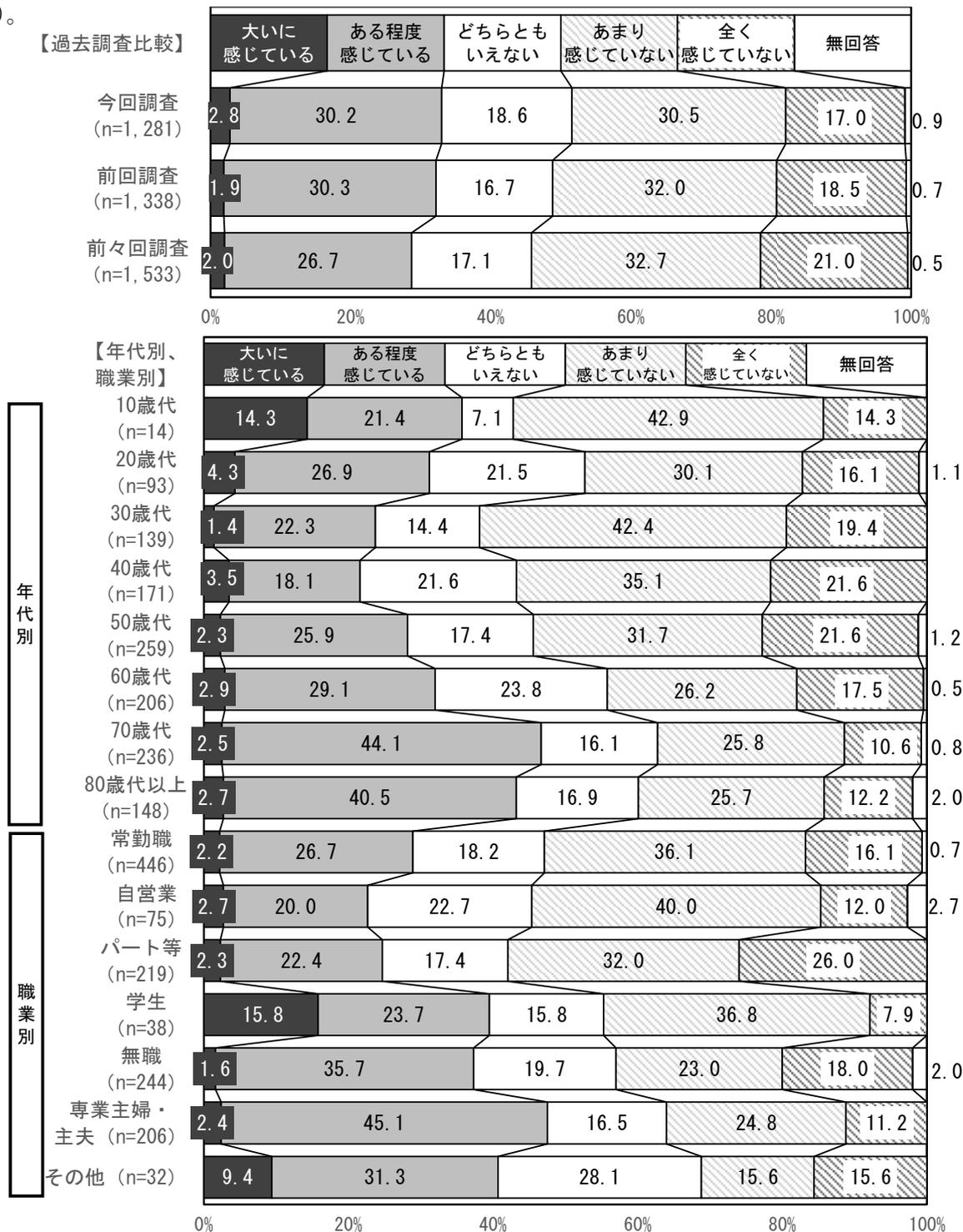


図1-9 経済的なゆとり（【上】前回・前々回調査比較、【下】年代別、職業別）

④地域への愛着（前回・前々回調査比較、性別、年代別）

地域への愛着について、「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価」について、前回調査とほぼ同様となるが、前々回調査から約17ポイント上昇している。

性別では、「男性」の方が若干「肯定的評価」が高い。

年代別では、「肯定的評価」が「50歳代」と「80歳代以上」で約8割、「70歳代」で7割台半ばと高くなっている（図1-10）。

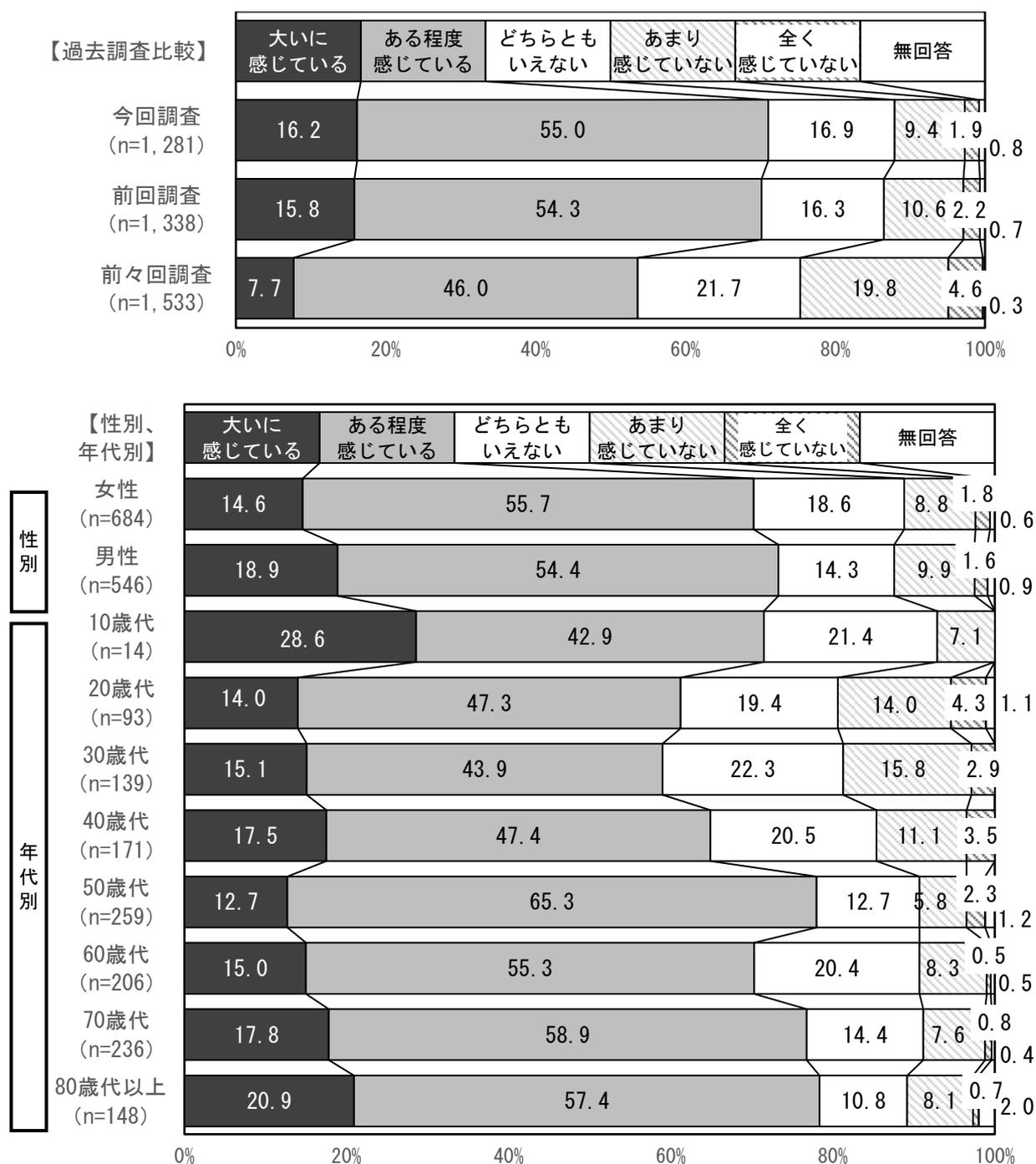


図1-10 地域への愛着（【上】前回・前々回調査比較、【下】性別、年代別）

⑤地域の絆（前回・前々回調査比較、性別、在住年数別）

地域の絆について、前回・前々回調査と比較するとほぼ同様であり、「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価」が「否定的評価」を若干上回っている。

年代別では、「10歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」において「肯定的評価」の方が高い一方「20歳代」「30歳代」では「否定的評価」の方が高い。

また、在住年数別では、「25年以上」において「肯定的評価」が47.3%で最も高く、「5年未満」において21.3%で最も低い（図1-11）。

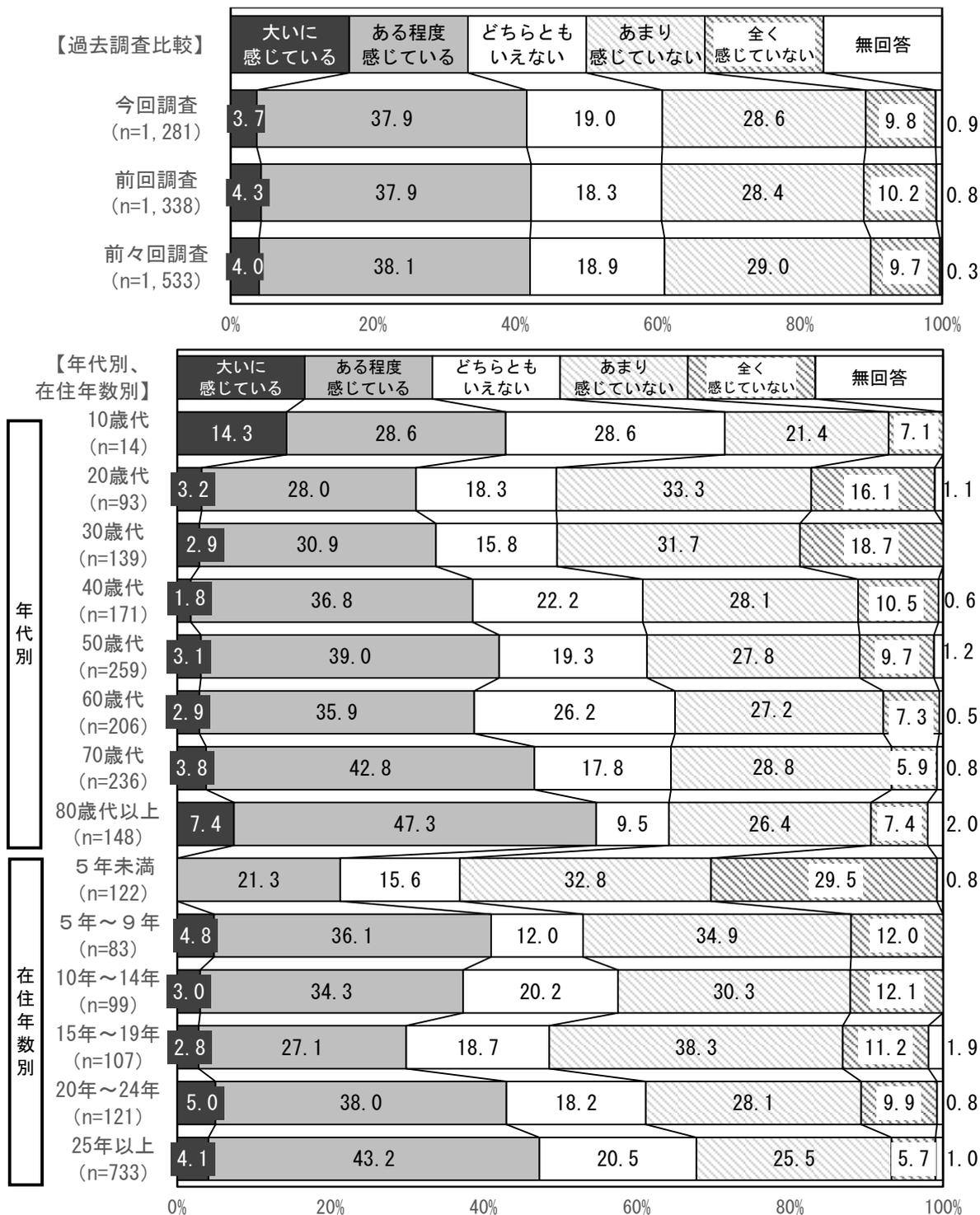


図1-11 地域の絆（【上】過去調査比較、【下】年代別、在住年数別）

家族構成別では、「自分と配偶者と子どもと親世帯」「自分と子どもと親世帯」の「肯定的評価」が最も高く、「自分ひとり」において最も低い (図1-12)。

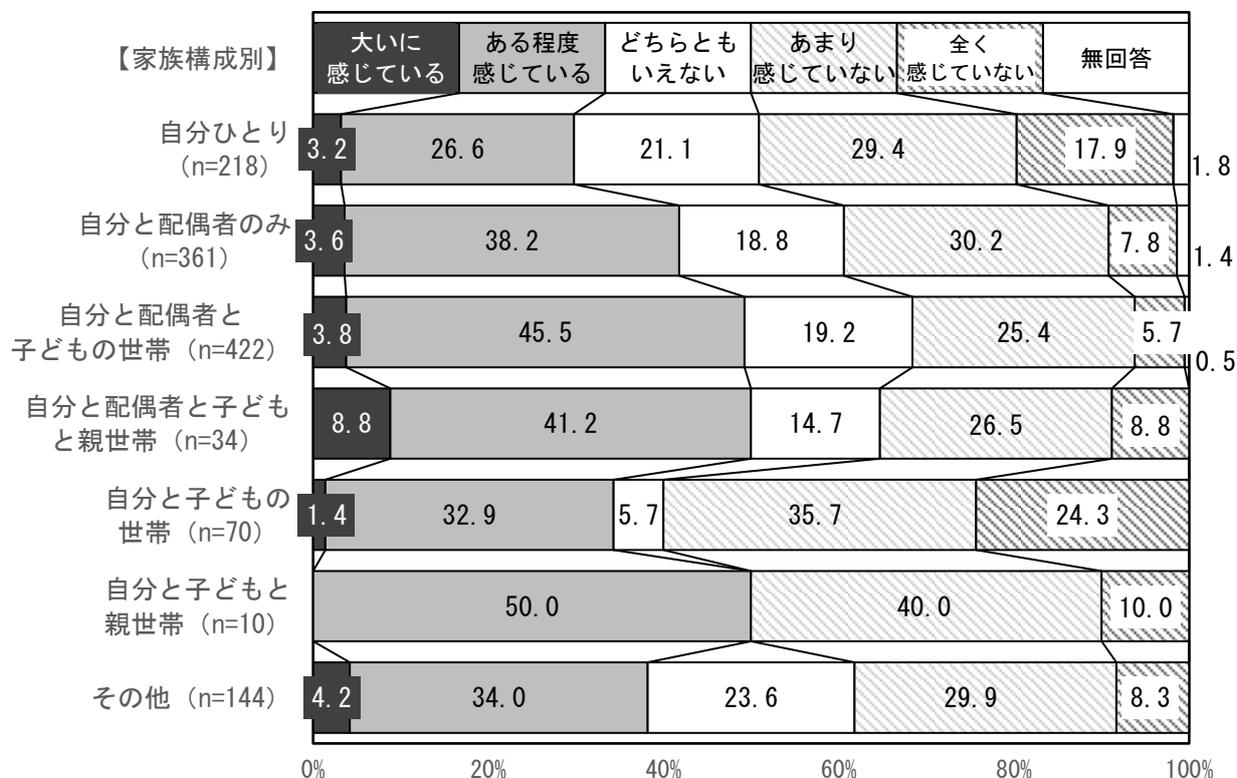


図1-12 地域の絆 (家族構成別)

（2）住民同士の交流意向

問5 あなたは日常生活の中で、住民同士の交流・助け合いなどを持ちたいと思いますか。  
 （○は1つだけ）  
 問5-1 住民同士の交流や助け合いなどを持ちたいと思う理由はなんですか。（○はいくつでも）

住民同士の交流意向については、「大いに持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」を合わせた肯定的評価が52.9%の一方、「否定的評価」は11.3%にとどまっている。また、交流や助け合いを持ちたい理由については、「火事や自然災害、急病など緊急時にお互い助け合えるから」（81.3%）が最も高く、次いで「近隣住民と良好な関係を築くことができるから」（65.6%）、「治安が良くなるから」（59.3%）となっている。（図1-13）。

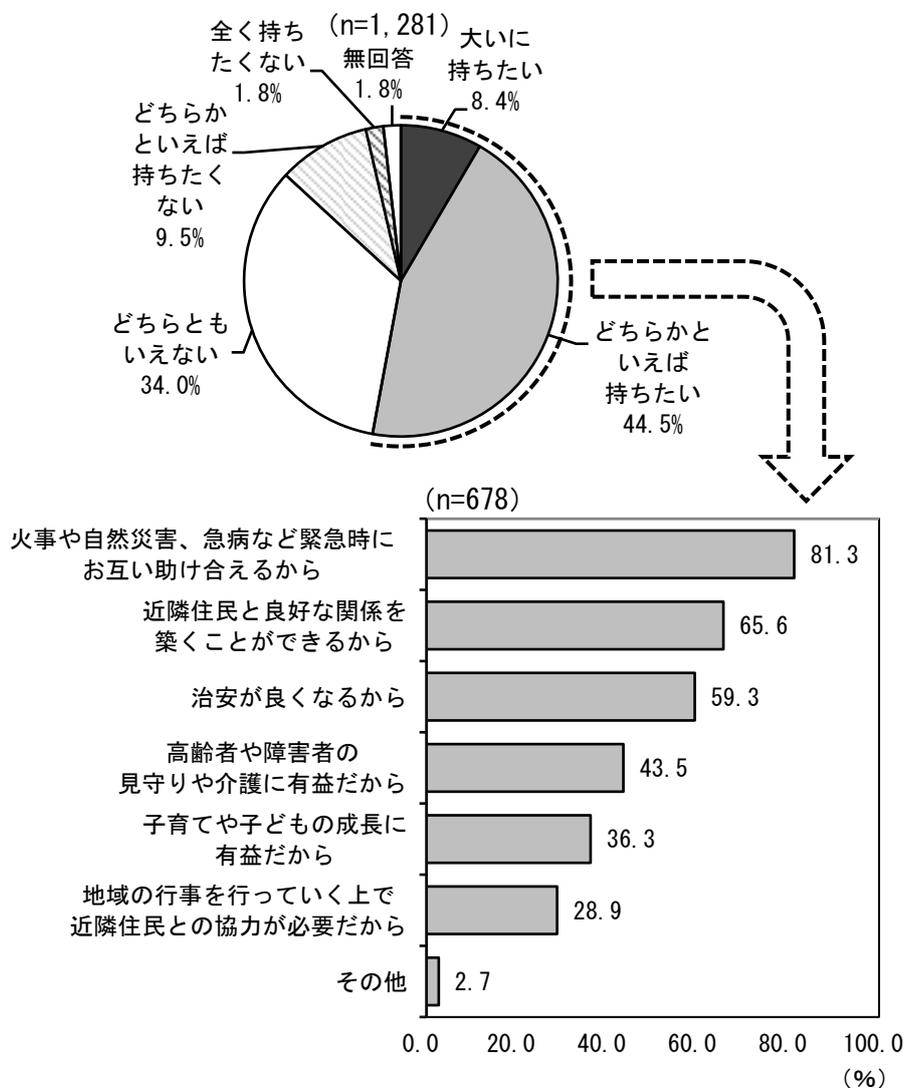


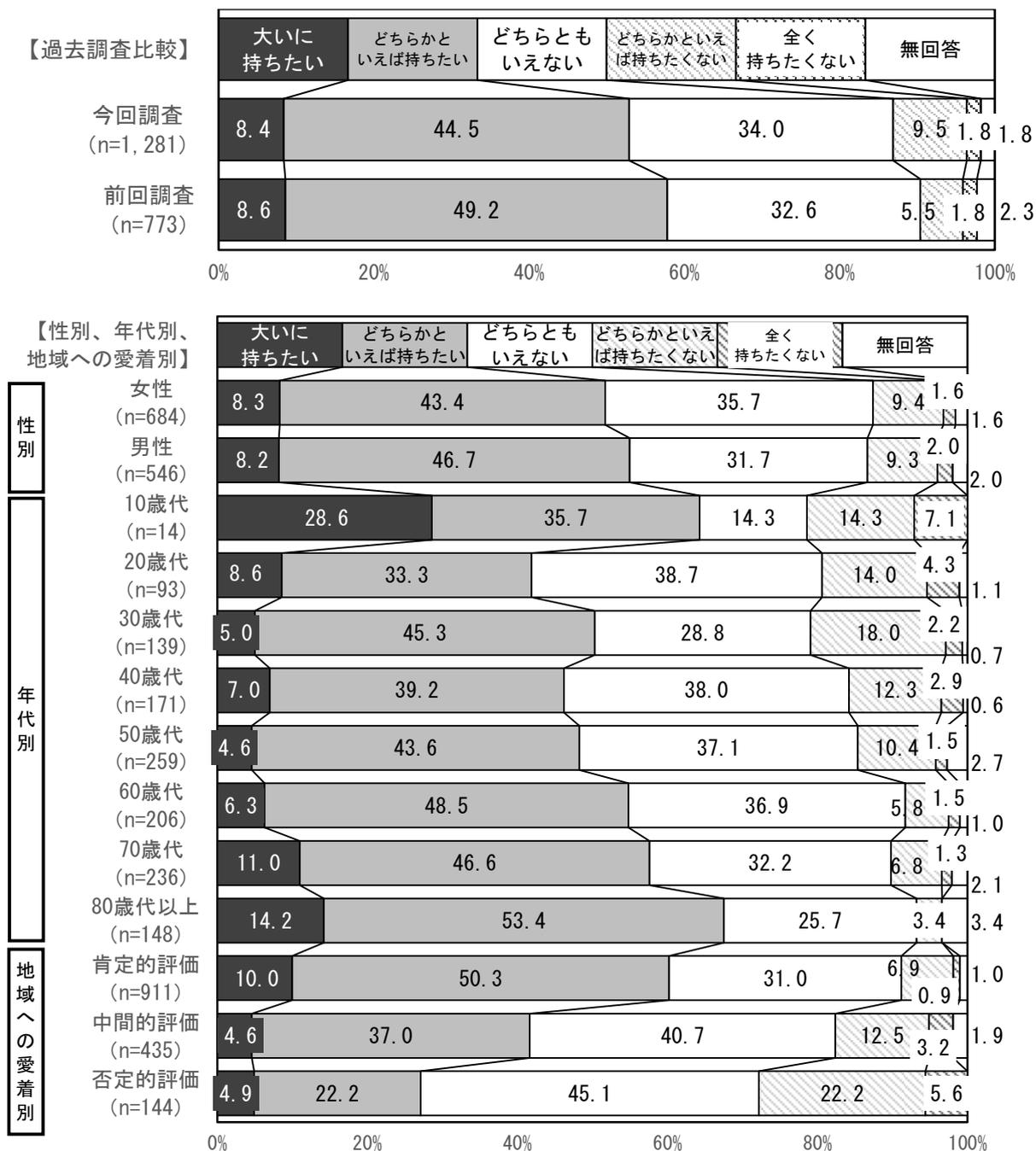
図1-13 住民同士の交流意向、持ちたい理由

交流意向を前回調査と比較すると「大いに持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」を合わせた「肯定的評価」は、約5ポイント低下している。

性別でみると、「男性」の「肯定的評価」の方が「女性」よりも若干高い。

年代別では、「80歳代以上」で「肯定的評価」が約7割となっている。また、「20歳代」「40歳代」「50歳代」で「どちらともいえない」が約4割と高くなっている。

地域への愛着度別では、地域への愛着が高いほど、交流意向に「肯定的評価」である割合も高い(図1-14)。



\* 前々回調査では設問なし。

図1-14 住民同士の交流意向 (【上】前回調査比較、【下】性別、年代別、地域への愛着別)

第2章 調査結果（I 市民）

家族構成別では、「自分と配偶者と子どもと親世帯」の「肯定的評価」が最も高い（図1-15）。

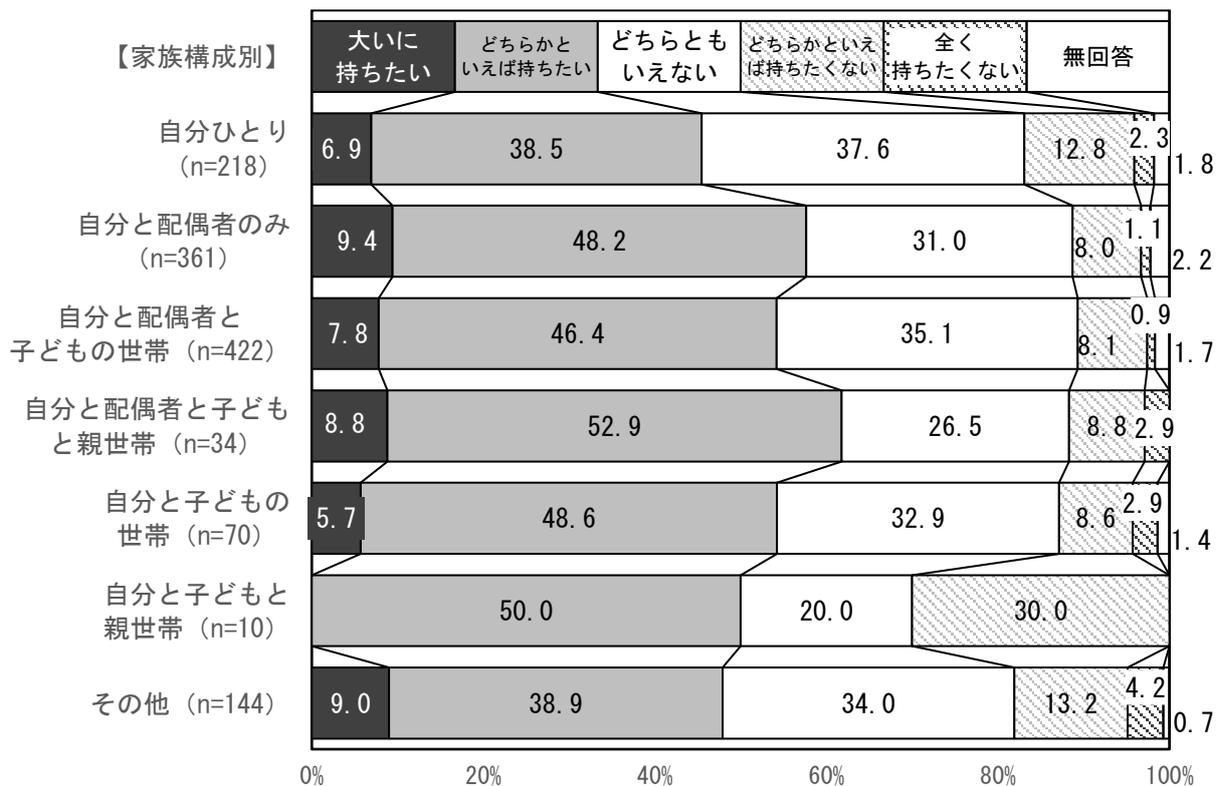


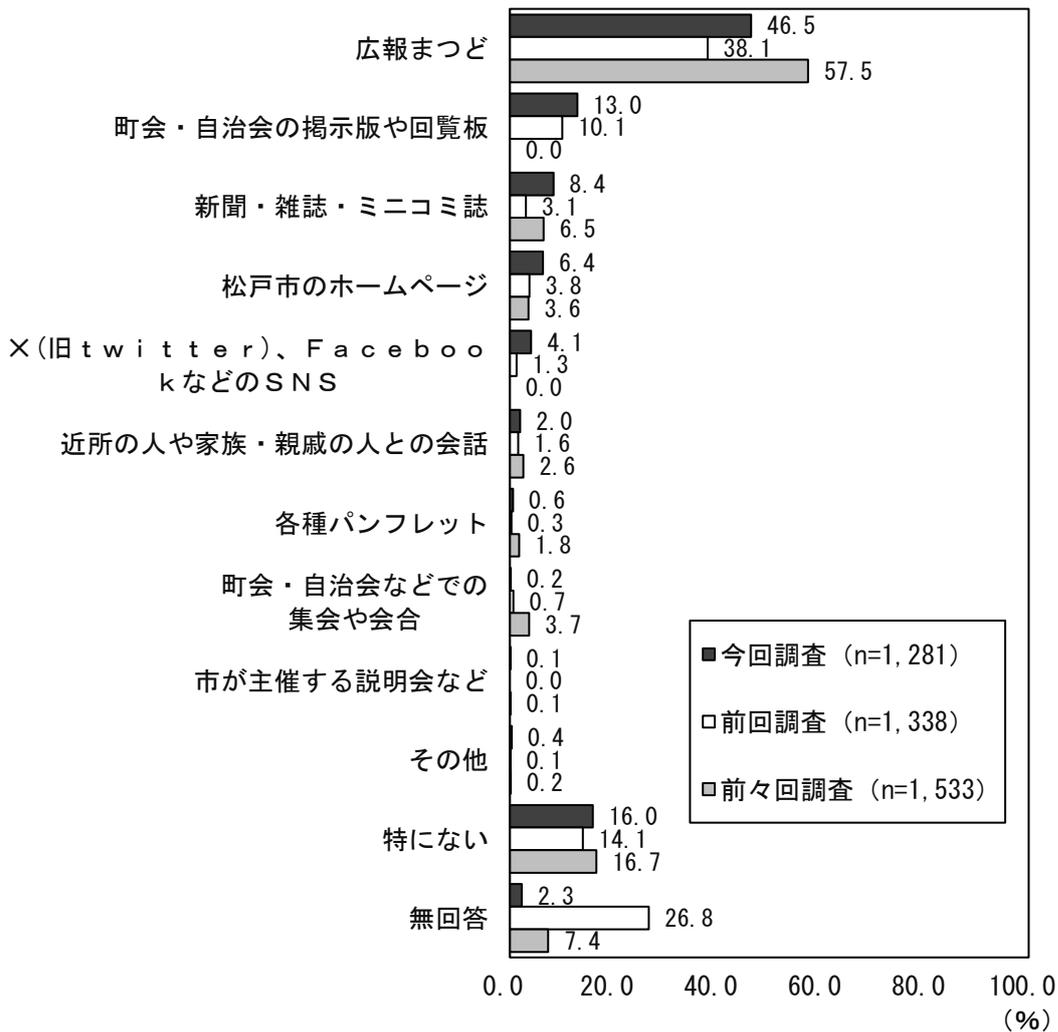
図1-15 住民同士の交流意向（家族構成別）

（3）情報入手手段

問23 あなたは、日頃本市の取り組みやイベントなどの情報について、主にどのような形で入手していますか。（○は1つだけ）

日頃、松戸市の取り組みやイベントなどの情報を入手する手段については、「広報まつど」（46.5%）が最も高く、次いで「町会・自治会の掲示板や回覧板」（13.0%）となっている。また、「特にない」は16.0%を占める。

また、前回・前々回調査と比較すると、「町会・自治会の掲示板や回覧板」が増加傾向にある（図1-16）。



\* 「市が主催する説明会など」は今回調査のみ。

前々回調査は、「町会・自治会の掲示板や回覧板」「X(旧twitter)、FacebookなどのSNS」はなし。

図1-16 情報入手手段（前回・前々回調査比較）

第2章 調査結果（I 市民）

年代別では、「10 歳代」以外で「広報まつど」が最も高く、「70 歳代」「80 歳代以上」では6割台半ばとなっている（表1-1）。

表1-1 市民活動のイメージ（性別、年代別）

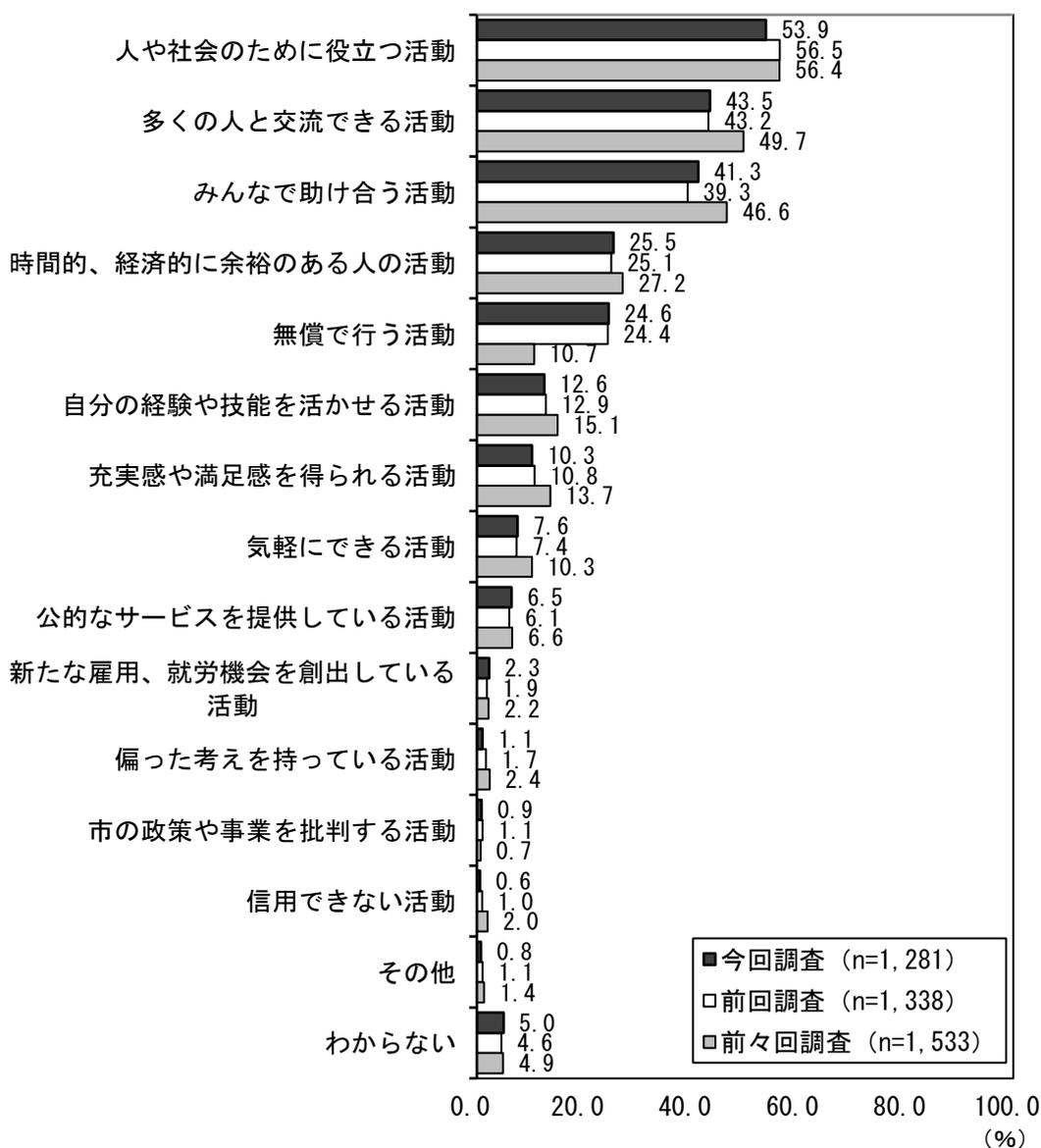
|     |        | n   | 広報まつど    | 町会・自治会の掲示版や回覧板  | 新聞・雑誌・ミニコミ誌 | 松戸市のホームページ | X（旧Twitter）、FacebookなどのSNS | 近所の人や家族・親戚の人との会話 |
|-----|--------|-----|----------|-----------------|-------------|------------|----------------------------|------------------|
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 21.4     | 21.4            | 0.0         | 0.0        | 0.0                        | 28.6             |
|     | 20歳代   | 93  | 15.1     | 11.8            | 7.5         | 7.5        | 9.7                        | 7.5              |
|     | 30歳代   | 139 | 22.3     | 12.9            | 3.6         | 12.9       | 14.4                       | 3.6              |
|     | 40歳代   | 171 | 33.3     | 14.0            | 5.8         | 13.5       | 7.6                        | 2.3              |
|     | 50歳代□  | 259 | 49.4     | 15.4            | 6.9         | 6.9        | 3.5                        | 0.4              |
|     | 60歳代   | 206 | 58.3     | 12.1            | 10.2        | 2.9        | 1.0                        | 1.0              |
|     | 70歳代   | 236 | 63.1     | 9.3             | 13.6        | 3.8        | 0.0                        | 0.4              |
|     | 80歳代以上 | 148 | 63.5     | 14.9            | 10.1        | 0.7        | 0.0                        | 0.7              |
|     |        | n   | 各種パンフレット | 町会・自治会などでの集会や会合 | 市が主催する説明会など | その他        | 特にない                       |                  |
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 0.0      | 0.0             | 0.0         | 0.0        | 28.6                       |                  |
|     | 20歳代   | 93  | 0.0      | 0.0             | 0.0         | 0.0        | 39.8                       |                  |
|     | 30歳代   | 139 | 1.4      | 0.0             | 0.0         | 1.4        | 27.3                       |                  |
|     | 40歳代   | 171 | 2.3      | 0.0             | 0.0         | 0.0        | 20.5                       |                  |
|     | 50歳代□  | 259 | 0.4      | 0.0             | 0.4         | 0.4        | 15.1                       |                  |
|     | 60歳代   | 206 | 0.5      | 0.5             | 0.0         | 0.5        | 12.6                       |                  |
|     | 70歳代   | 236 | 0.0      | 0.4             | 0.0         | 0.4        | 7.6                        |                  |
|     | 80歳代以上 | 148 | 0.0      | 0.0             | 0.0         | 0.0        | 4.7                        |                  |

### 3. 市民活動の実態と意識

#### （1）市民活動のイメージ

問6 あなたは、市民活動についてどのようなイメージを持っていますか。（〇は3つまで）

市民活動のイメージについては、「人や社会のために役立つ活動」（53.9%）が最も高く、次いで「多くの人と交流できる活動」（43.5%）、「みんなで助け合う活動」（41.3%）「時間的、経済的に余裕のある人の活動」（25.5%）、「無償で行う活動」（24.6%）となっており、前回・前々回調査と比較しても、ほぼ同様の結果となっている（図1-17）。



\* 複数回答の設問では、今回調査の割合が高い項目を基準に並び替え。以下、同様  
図1-17 市民活動のイメージ（前回・前々回調査比較）

## 第2章 調査結果（I 市民）

性別では、「女性」「男性」とともに「人や社会のために役立つ活動」が最も高い。

年代別では、70歳代までは「人や社会のために役立つ活動」、「80歳代以上」では「みんなで助け合う活動」が最も高い（表1-2）。

表1-2 市民活動のイメージ（性別、年代別）

|     |        | n   | 人や社会のために役立つ活動    | 多くの人と交流できる活動        | みんなで助け合う活動    | 時間的、経済的に余裕のある人の活動 | 無償で行う活動  | 自分の経験や技能を活かせる活動 | 充実感や満足感を得られる活動 | 気軽にできる活動 |
|-----|--------|-----|------------------|---------------------|---------------|-------------------|----------|-----------------|----------------|----------|
| 性別  | 女性     | 684 | 52.8             | 46.6                | 42.5          | 26.2              | 25.4     | 12.6            | 10.1           | 7.0      |
|     | 男性     | 546 | 57.0             | 40.1                | 40.3          | 24.4              | 23.8     | 12.6            | 10.4           | 7.7      |
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 57.1             | 50.0                | 50.0          | 28.6              | 28.6     | 0.0             | 14.3           | 0.0      |
|     | 20歳代   | 93  | 48.4             | 44.1                | 31.2          | 29.0              | 20.4     | 3.2             | 9.7            | 3.2      |
|     | 30歳代   | 139 | 52.5             | 47.5                | 34.5          | 35.3              | 25.2     | 8.6             | 6.5            | 4.3      |
|     | 40歳代   | 171 | 56.1             | 41.5                | 39.8          | 33.3              | 28.1     | 10.5            | 9.9            | 3.5      |
|     | 50歳代口  | 259 | 51.0             | 44.8                | 39.0          | 28.6              | 25.1     | 10.4            | 8.1            | 1.5      |
|     | 60歳代   | 206 | 62.1             | 37.4                | 41.3          | 28.6              | 24.8     | 16.5            | 11.7           | 7.3      |
|     | 70歳代   | 236 | 57.6             | 45.3                | 47.5          | 14.8              | 25.8     | 17.8            | 13.6           | 10.6     |
|     | 80歳代以上 | 148 | 45.3             | 43.2                | 50.7          | 12.2              | 20.3     | 15.5            | 11.5           | 23.6     |
|     |        | n   | 公的なサービスを提供している活動 | 新たな雇用、就労機会を創出している活動 | 偏った考えを持っている活動 | 市の政策や事業を批判する活動    | 信用できない活動 | その他             | わからない          |          |
| 性別  | 女性     | 684 | 6.1              | 2.0                 | 0.7           | 0.4               | 0.4      | 0.7             | 4.4            |          |
|     | 男性     | 546 | 6.8              | 2.6                 | 1.5           | 1.5               | 0.7      | 0.7             | 5.7            |          |
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 28.6             | 0.0                 | 0.0           | 0.0               | 0.0      | 0.0             | 0.0            |          |
|     | 20歳代   | 93  | 11.8             | 5.4                 | 0.0           | 2.2               | 2.2      | 1.1             | 8.6            |          |
|     | 30歳代   | 139 | 5.8              | 2.9                 | 1.4           | 1.4               | 0.0      | 0.0             | 7.2            |          |
|     | 40歳代   | 171 | 6.4              | 4.1                 | 1.2           | 1.2               | 0.0      | 0.6             | 6.4            |          |
|     | 50歳代口  | 259 | 3.1              | 3.1                 | 1.2           | 0.8               | 0.8      | 1.2             | 5.0            |          |
|     | 60歳代   | 206 | 7.3              | 1.5                 | 2.9           | 1.5               | 1.5      | 1.0             | 4.9            |          |
|     | 70歳代   | 236 | 7.2              | 0.8                 | 0.4           | 0.0               | 0.0      | 0.8             | 2.1            |          |
|     | 80歳代以上 | 148 | 4.7              | 0.0                 | 0.0           | 0.7               | 0.7      | 0.0             | 4.1            |          |

\* 各層の中で最も高い項目に網掛け。また、小数点の数値は%。以下、同様

(2) 市民活動への関心度

問7 あなたは、市民活動にどの程度関心がありますか。(〇は1つだけ)

市民活動への関心度は、「どちらともいえない」の「中間層」が 33.4%で最も高く、「大いに関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心層」が 32.8%、「どちらかといえば関心がない」「全く関心がない」を合わせた「無関心層」が 32.0%となっている。

また、前回調査と比較すると「関心層」「中間層」「無関心層」ともにほぼ同様となっている。性別では、「女性」は「中間層」、「男性」は「関心層」が最も高い(図1-18)。

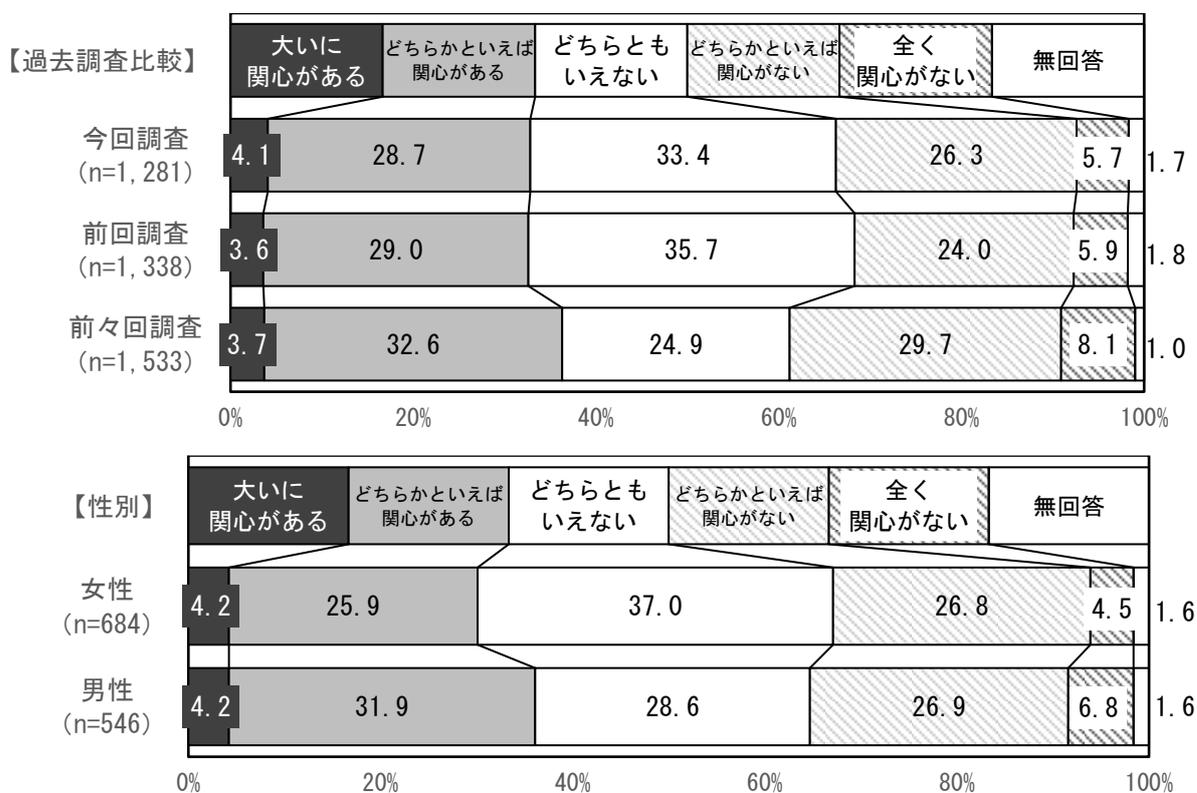


図1-18 市民活動への関心度 (【上】前回・前々回調査比較、【下】性別)

第2章 調査結果（I 市民）

年代別では、「20歳代」「30歳代」「50歳代」では「無関心層」が最も高く、「40歳代」「60歳代」では「中間層」が最も高く、「10歳代」「70歳代」「80歳代以上」では「関心層」が最も高い。

地域への愛着度別では、松戸市に愛着を「大いに感じている」「ある程度感じている」を合わせた「肯定的評価層」では「関心層」が最も高いが、「否定的評価層」では「無関心層」が最も高い。

交流意向別では、交流意向に「大いに持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」を合わせた「肯定的評価層」では「関心層」が最も高いが、「否定的評価層」では「無関心層」が最も高い（図1-19）。

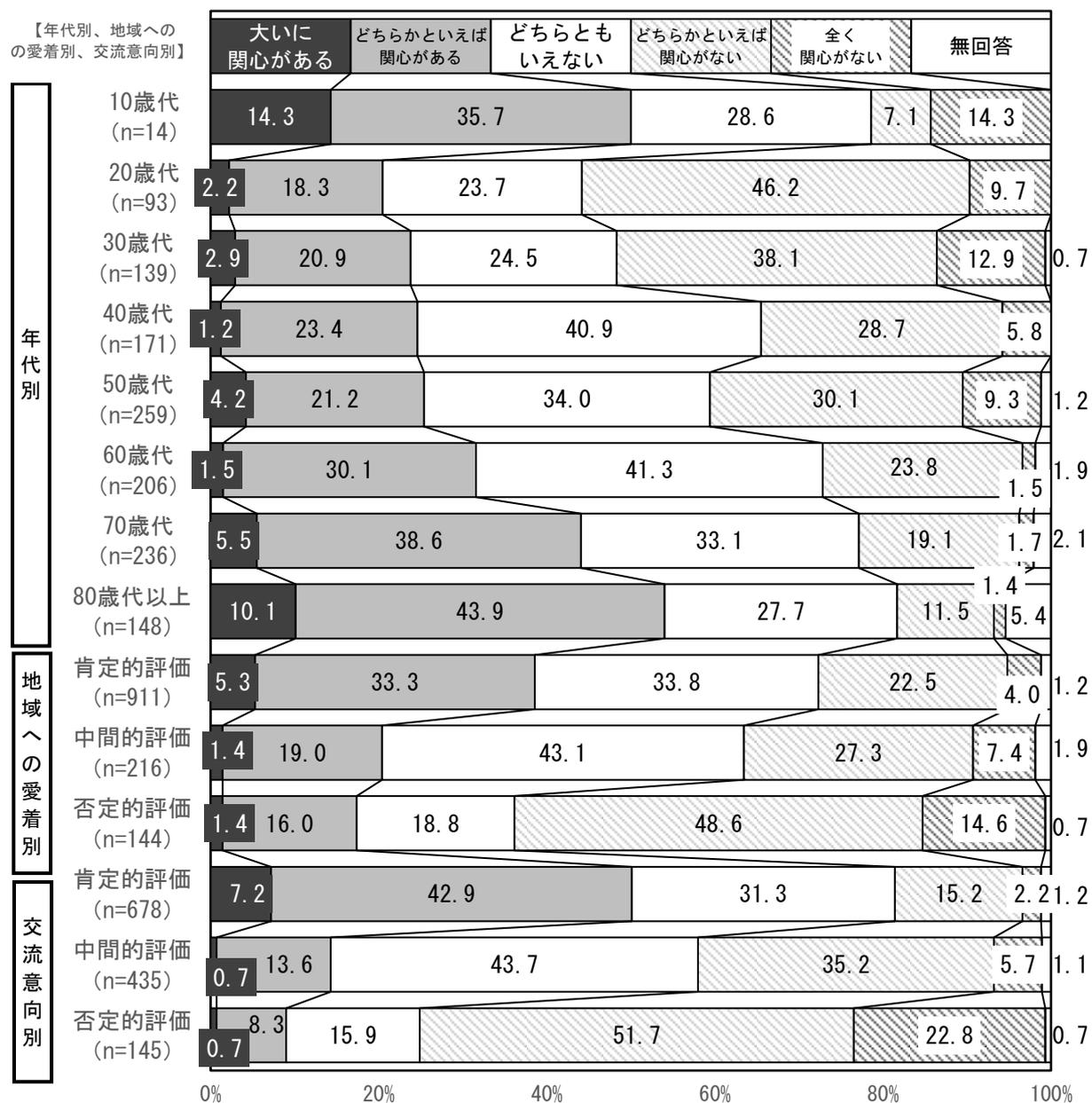


図1-19 市民活動への関心度（年代別、地域への愛着別、交流意向別）

（3）市民活動への参加状況

①参加経験の有無

問8 あなたは、これまで市民活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

市民活動への参加状況については、「現在、参加している」が10.9%であり、「以前は参加していたが、現在は参加していない」（21.9%）を含めた参加経験率が32.8%となっている一方、「これまで参加したことはない」（未経験率）は66.3%を占めている。

また、前回・前々回調査と比較すると、参加経験率は微減、未経験率は微増している。

性別では、「女性」の参加経験率が36.4%、「男性」が28.5%であり、「女性」の参加経験率の方が高い（図1-20）。

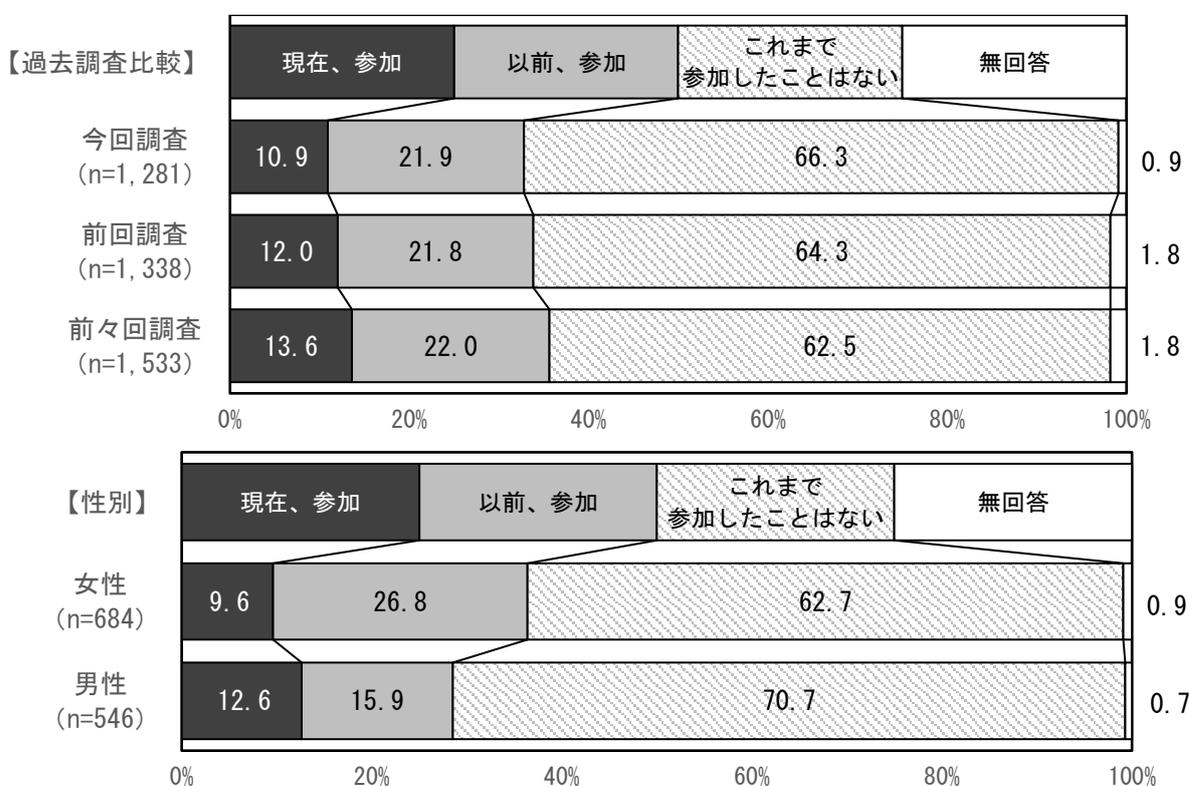


図1-20 参加経験の有無（【上】前回・前々回調査比較、【下】性別）

第2章 調査結果（I 市民）

年代別では、「30 歳代以上」では、年代が上がるほどおおむね参加経験率が高く、「80 歳代以上」で 46.6%と最も高い。

地域への愛着別では、愛着が高いほど参加経験率が高い。

市民活動の関心度別では、市民活動に「大いに関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心層」では参加経験率が 53.0%を占める一方、「中間層」、「無関心層」の未経験率はそれぞれ 70.8%、82.9%に達している（図 1-21）。

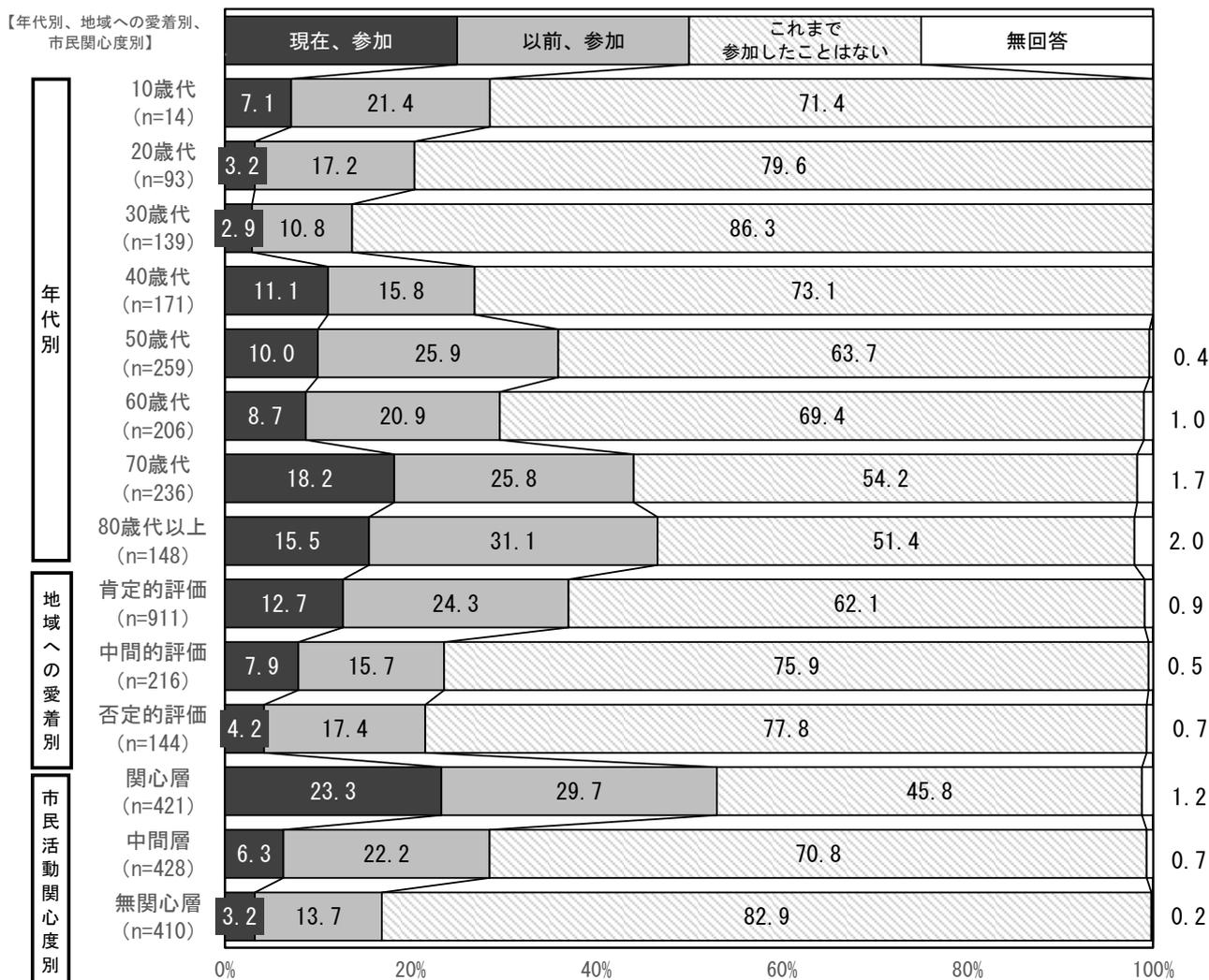


図 1-21 参加経験の有無（年代別、地域への愛着別、市民活動関心度別）

居住地域別では、「参加している」「以前は参加していたが、現在は参加していない」を合わせた参加経験率が「矢切」、「明第2西」で4割台半ばとなっている(図1-22)。

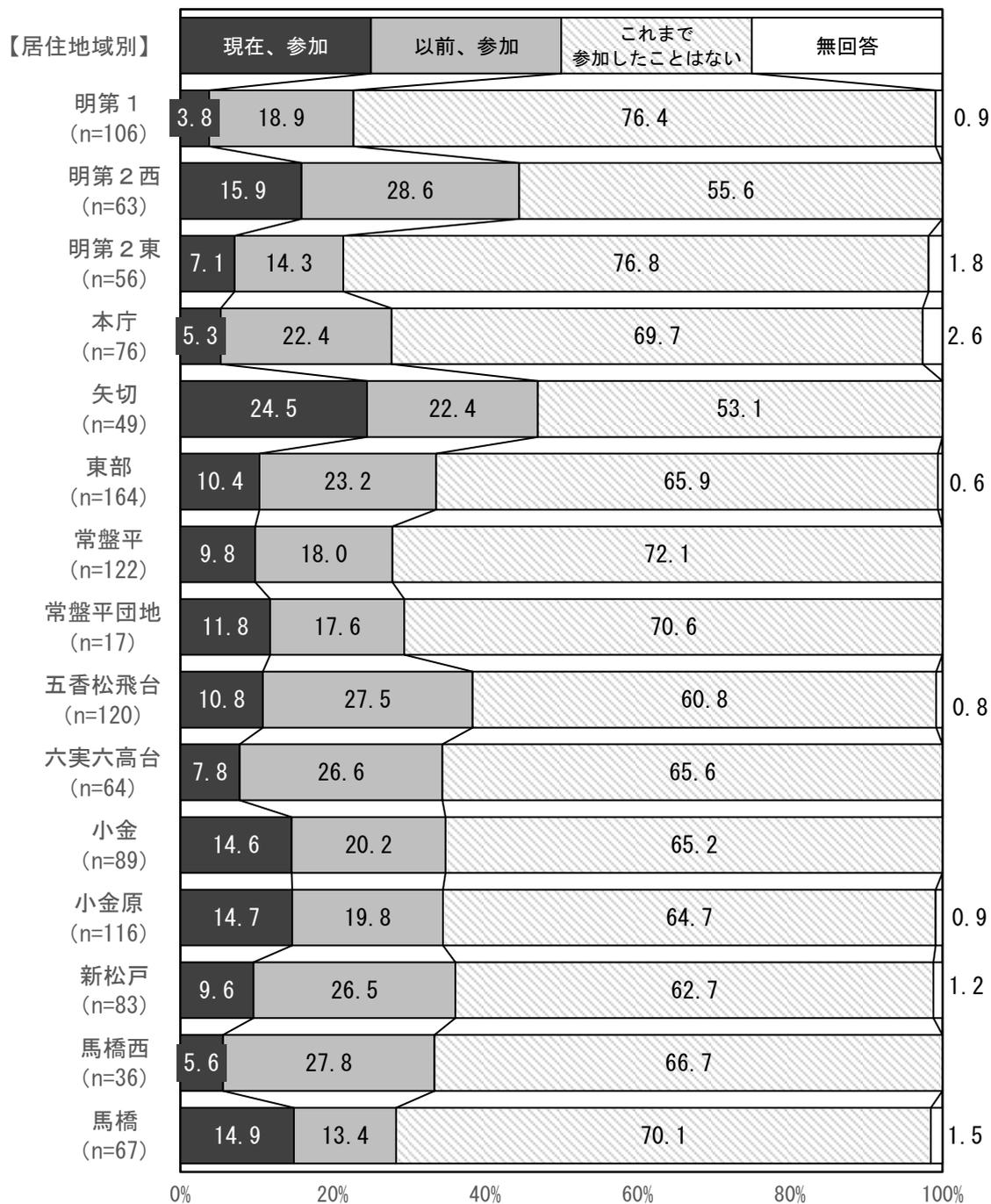


図1-22 参加経験の有無(居住地域別)

②参加経験のある分野

問9 あなたはどの分野の市民活動に参加したことがありますか。（〇はいくつでも）

市民活動に参加した分野については、「子ども・青少年育成」（36.2%）が最も高く、次いで「地域安全」（29.5%）、「まちづくり・まちおこし」（24.3%）、「スポーツ」（21.2%）となっている（図1-23）。

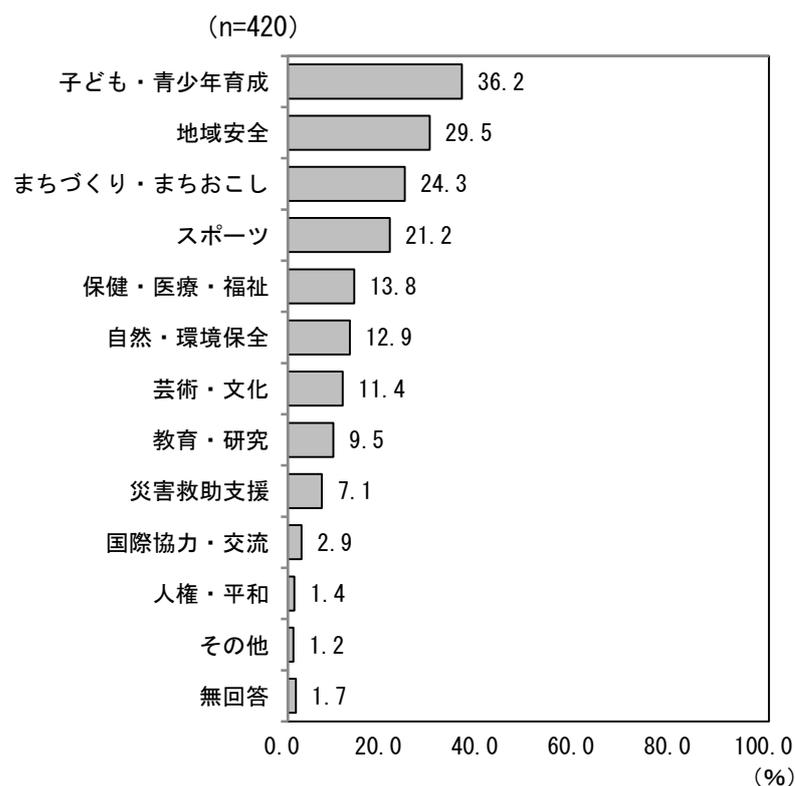


図1-23 参加経験のある分野（全体）

性別では、「女性」は「子ども・青少年育成」、「男性」は「地域安全」が最も高い。

年代別では、「10歳代・20歳代」では、「まちづくり・まちおこし」が最も高く、「30歳代」「40歳代」「50歳代」「60歳代」で「子ども・青少年育成」が最も高く、「70歳代」「80歳代以上」では「地域安全」が最も高い(表1-3)。

表1-3 参加経験のある分野(性別、年代別)

|     |           | n   | 子ども・<br>青少年育<br>成 | 地域安全 | まちづく<br>り・まち<br>おこし | スポーツ | 保健・医<br>療・福祉 | 自然・環<br>境保全 |
|-----|-----------|-----|-------------------|------|---------------------|------|--------------|-------------|
| 性別  | 女性        | 249 | 44.2              | 25.3 | 20.5                | 17.3 | 15.3         | 8.8         |
|     | 男性        | 156 | 23.7              | 37.2 | 31.4                | 26.9 | 12.2         | 17.3        |
| 年代別 | 10歳代・20歳代 | 23  | 26.1              | 26.1 | 30.4                | 21.7 | 4.3          | 26.1        |
|     | 30歳代      | 19  | 52.6              | 10.5 | 10.5                | 21.1 | 15.8         | 15.8        |
|     | 40歳代      | 46  | 52.2              | 19.6 | 19.6                | 17.4 | 8.7          | 13.0        |
|     | 50歳代□     | 93  | 53.8              | 24.7 | 28.0                | 18.3 | 10.8         | 14.0        |
|     | 60歳代      | 61  | 49.2              | 37.7 | 16.4                | 16.4 | 6.6          | 4.9         |
|     | 70歳代      | 104 | 25.0              | 31.7 | 23.1                | 25.0 | 22.1         | 7.7         |
|     | 80歳代以上    | 69  | 8.7               | 39.1 | 33.3                | 24.6 | 18.8         | 18.8        |

|     |           | n   | 芸術・文<br>化 | 教育・研<br>究 | 災害救助<br>支援 | 国際協<br>力・交流 | 人権・平<br>和 | その他 |
|-----|-----------|-----|-----------|-----------|------------|-------------|-----------|-----|
| 性別  | 女性        | 249 | 11.2      | 12.9      | 4.4        | 3.2         | 0.4       | 1.6 |
|     | 男性        | 156 | 11.5      | 4.5       | 11.5       | 1.9         | 3.2       | 0.6 |
| 年代別 | 10歳代・20歳代 | 23  | 8.7       | 0.0       | 8.7        | 0.0         | 0.0       | 0.0 |
|     | 30歳代      | 19  | 5.3       | 21.1      | 0.0        | 5.3         | 0.0       | 0.0 |
|     | 40歳代      | 46  | 6.5       | 10.9      | 2.2        | 0.0         | 0.0       | 0.0 |
|     | 50歳代□     | 93  | 12.9      | 17.2      | 7.5        | 2.2         | 2.2       | 0.0 |
|     | 60歳代      | 61  | 6.6       | 11.5      | 4.9        | 1.6         | 1.6       | 1.6 |
|     | 70歳代      | 104 | 14.4      | 5.8       | 8.7        | 2.9         | 1.9       | 1.9 |
|     | 80歳代以上    | 69  | 14.5      | 2.9       | 10.1       | 7.2         | 1.4       | 2.9 |

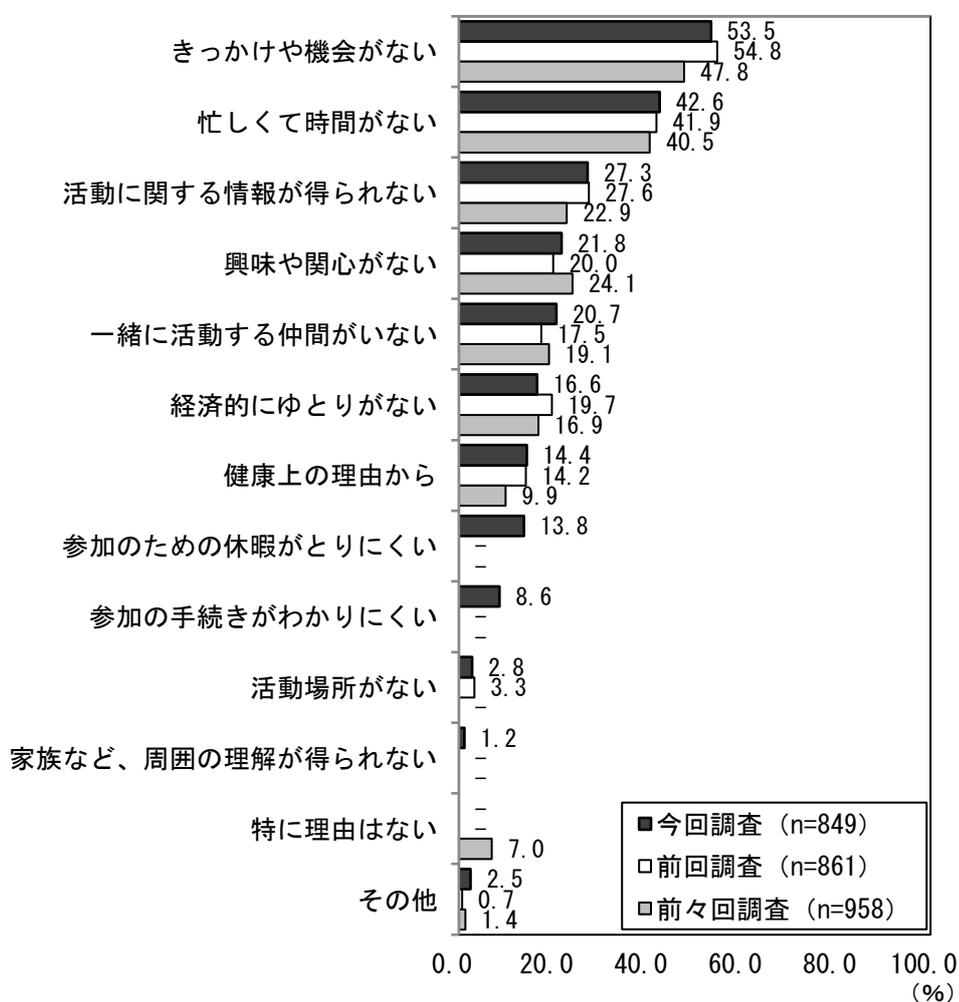
\* 回答数が少ないため「10歳代」と「20歳代」を合算した

③参加したことがない理由

問8-1 あなたがこれまで、市民活動に参加したことがない理由は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

市民活動への参加状況に「これまで参加したことはない」と回答した849人を対象に参加したことがない理由を聞いたところ、「きっかけや機会がない」(53.5%)が最も高く、次いで「忙しくて時間がない」(42.6%)、「活動に関する情報が得られない」(27.3%)、「興味や関心がない」(21.8%)となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、ほぼ同様となっている(図1-24)。



\* 「参加のための休暇がとりにくい」「参加の手続きがわかりにくい」は今回調査のみ  
 前々回は「家族など、周囲の理解が得られない」はなし。今回、前回調査では「特に理由はない」はなし。

図1-24 参加したことがない理由(前回・前々回調査比較)

性別では、「女性」「男性」とともに「きっかけや機会がない」が最も高い。

年代別では、「10歳代」「20歳代」「40歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」で「きっかけや機会がない」が最も高い。

地域への愛着別では、すべての層で「きっかけや機会がない」が最も高い。

住民同士の交流意向別では、「大いに持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」を合わせた「肯定的評価」で「きっかけや機会がない」が最も高い(表1-4)。

表1-4 参加したことがない理由(性別、年代別、地域への愛着別、住民同士の交流意向別)

|         |        | n   | きっかけや機会がない | 忙しくて時間がない      | 活動に関する情報が得られない | 興味や関心がない | 一緒に活動する仲間がいない   | 経済的にゆとりがない |
|---------|--------|-----|------------|----------------|----------------|----------|-----------------|------------|
| 性別      | 女性     | 429 | 54.8       | 42.7           | 26.1           | 21.4     | 18.9            | 17.0       |
|         | 男性     | 386 | 52.6       | 42.5           | 28.8           | 22.8     | 23.1            | 15.5       |
| 年代別     | 10歳代   | 10  | 80.0       | 70.0           | 40.0           | 20.0     | 30.0            | 30.0       |
|         | 20歳代   | 74  | 74.3       | 51.4           | 32.4           | 24.3     | 21.6            | 21.6       |
|         | 30歳代   | 120 | 55.0       | 56.7           | 30.8           | 25.0     | 20.0            | 15.8       |
|         | 40歳代   | 125 | 56.8       | 50.4           | 29.6           | 26.4     | 17.6            | 18.4       |
|         | 50歳代口  | 165 | 48.5       | 53.9           | 22.4           | 25.5     | 18.2            | 18.8       |
|         | 60歳代   | 143 | 55.2       | 40.6           | 31.5           | 15.4     | 20.3            | 18.2       |
|         | 70歳代   | 128 | 43.0       | 19.5           | 23.4           | 22.7     | 21.1            | 13.3       |
|         | 80歳代以上 | 76  | 46.1       | 17.1           | 22.4           | 7.9      | 32.9            | 6.6        |
| 地域への愛着別 | 肯定的評価  | 566 | 53.2       | 42.2           | 29.3           | 18.7     | 21.4            | 15.0       |
|         | 中間的評価  | 164 | 50.6       | 42.7           | 21.3           | 25.6     | 15.9            | 18.3       |
|         | 否定的評価  | 112 | 58.9       | 42.9           | 26.8           | 32.1     | 24.1            | 21.4       |
| 交流意向    | 肯定的評価  | 377 | 61.0       | 45.1           | 33.7           | 9.3      | 22.5            | 12.5       |
|         | 中間的評価  | 332 | 50.3       | 40.1           | 23.5           | 27.7     | 19.9            | 19.3       |
|         | 否定的評価  | 124 | 39.5       | 42.7           | 20.2           | 45.2     | 18.5            | 22.6       |
|         |        | n   | 健康上の理由から   | 参加のための休暇がとりにくい | 参加の手続きがわかりにくい  | 活動場所がない  | 家族など周囲の理解が得られない | その他        |
| 性別      | 女性     | 429 | 17.2       | 12.8           | 7.5            | 2.1      | 1.6             | 1.9        |
|         | 男性     | 386 | 11.4       | 14.5           | 9.8            | 3.9      | 0.8             | 2.6        |
| 年代別     | 10歳代   | 10  | 0.0        | 0.0            | 20.0           | 0.0      | 0.0             | 10.0       |
|         | 20歳代   | 74  | 2.7        | 14.9           | 5.4            | 1.4      | 2.7             | 1.4        |
|         | 30歳代   | 120 | 7.5        | 14.2           | 6.7            | 2.5      | 0.8             | 4.2        |
|         | 40歳代   | 125 | 4.8        | 16.8           | 9.6            | 3.2      | 0.8             | 3.2        |
|         | 50歳代口  | 165 | 9.1        | 17.6           | 4.2            | 2.4      | 0.6             | 1.2        |
|         | 60歳代   | 143 | 10.5       | 16.8           | 11.2           | 2.1      | 0.7             | 0.7        |
|         | 70歳代   | 128 | 35.9       | 7.8            | 10.9           | 3.9      | 3.1             | 1.6        |
|         | 80歳代以上 | 76  | 38.2       | 6.6            | 13.2           | 5.3      | 0.0             | 6.6        |
| 地域への愛着別 | 肯定的評価  | 566 | 15.0       | 14.7           | 9.0            | 3.0      | 0.9             | 2.3        |
|         | 中間的評価  | 164 | 12.8       | 11.0           | 6.7            | 1.2      | 2.4             | 2.4        |
|         | 否定的評価  | 112 | 14.3       | 12.5           | 9.8            | 3.6      | 0.9             | 2.7        |
| 交流意向    | 肯定的評価  | 377 | 13.5       | 14.3           | 10.9           | 2.4      | 1.3             | 2.9        |
|         | 中間的評価  | 332 | 14.5       | 14.8           | 8.1            | 3.3      | 0.9             | 1.2        |
|         | 否定的評価  | 124 | 16.1       | 8.9            | 4.0            | 2.4      | 0.8             | 4.0        |

第2章 調査結果（I 市民）

市民活動の参加意向別では、「参加したい」「どちらかといえば参加したい」を合わせた「肯定的評価層」で「きっかけや機会がない」が最も高く、「中間的評価層」でも「きっかけや機会がない」が最も高いが、「否定的評価層」では「興味や関心がない」が最も高い（図1-25）。

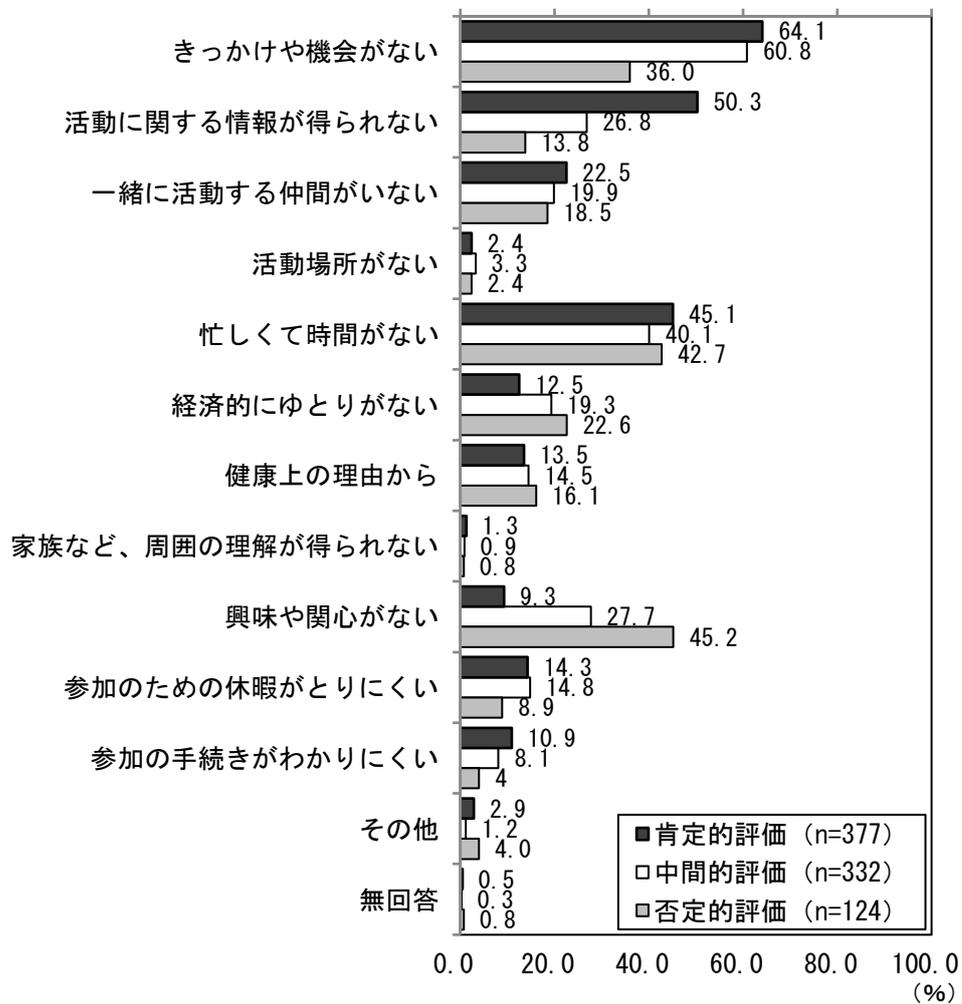


図1-25 参加したことがない理由（市民活動の参加意向別）

④参加のきっかけ

問10 あなたが市民活動に参加したきっかけは、主にどのようなことでしたか。(〇は1つだけ)

市民活動に「現在、参加している」または「以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した 420 人に参加のきっかけを聞いたところ、「学校の保護者会・PTA、町会・自治会などで役員になったので」が最も高い。

また、前回・前々回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている(図1-26)。

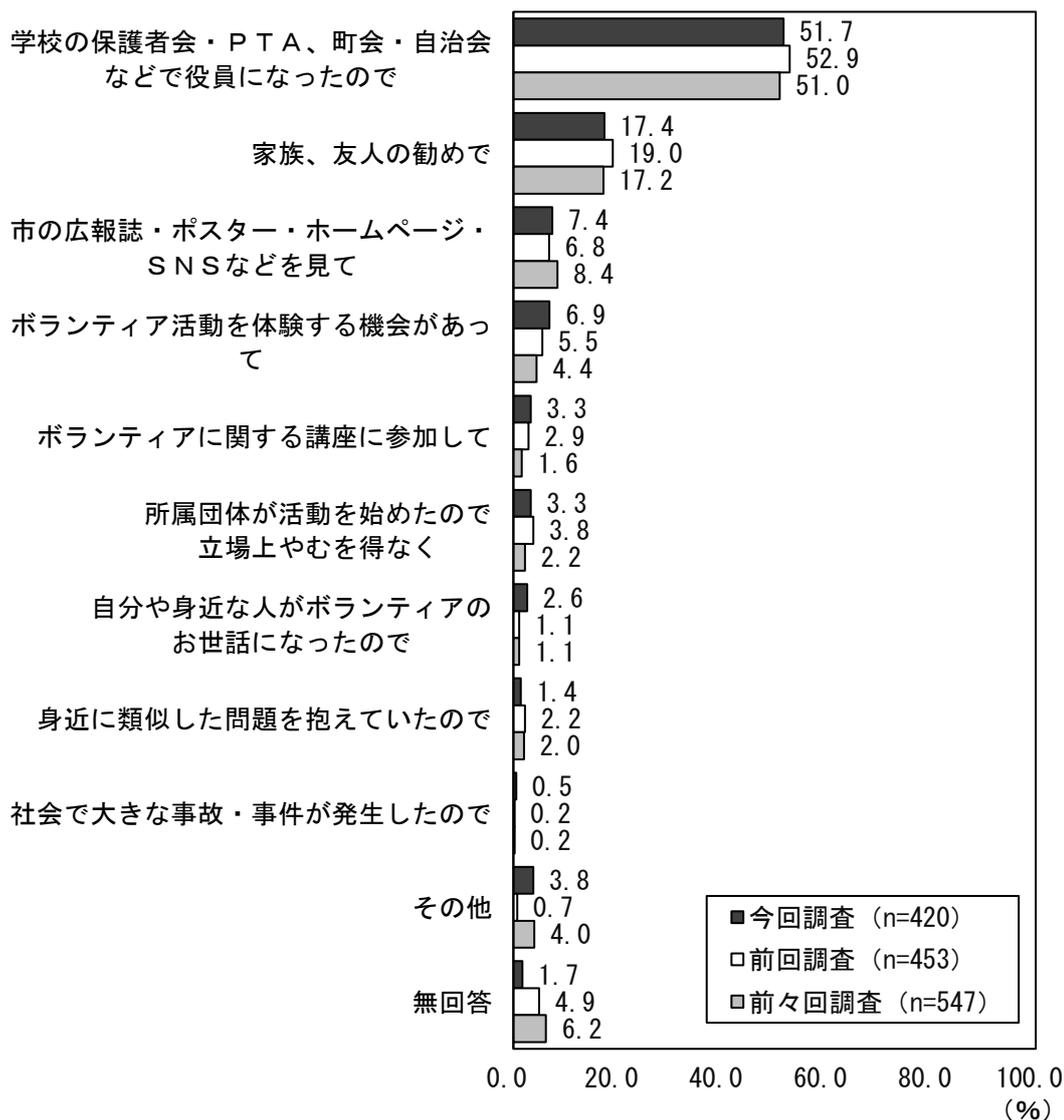


図1-26 参加のきっかけ(前回・前々回調査比較)

## 第2章 調査結果（I 市民）

性別では、「女性」「男性」とともに「学校の保護者会・PTA、町会・自治会などで役員になったので」が最も高い。

また、年代別では、「10歳代・20歳代」以外で「学校の保護者会・PTA、町会・自治会などで役員になったので」が最も高い（表1-5）。

表1-5 参加のきっかけ（性別、年代別：上位5項目）

|     |           | n   | 学校の保護者会・PTA、町会・自治会などで役員になったので | 家族、友人の勧めで | 市の広報誌・ポスター・ホームページ・SNSなどを見て | ボランティア活動を体験する機会があつて | ボランティアに関する講座に参加して |
|-----|-----------|-----|-------------------------------|-----------|----------------------------|---------------------|-------------------|
| 性別  | 女性        | 249 | 57.8                          | 14.5      | 8.8                        | 5.2                 | 4.4               |
|     | 男性        | 156 | 41.7                          | 21.8      | 5.8                        | 10.3                | 1.9               |
| 年代別 | 10歳代・20歳代 | 23  | 0.0                           | 60.9      | 0.0                        | 21.7                | 0.0               |
|     | 30歳代      | 19  | 36.8                          | 15.8      | 10.5                       | 26.3                | 0.0               |
|     | 40歳代      | 46  | 52.2                          | 21.7      | 4.3                        | 4.3                 | 0.0               |
|     | 50歳代□     | 93  | 68.8                          | 7.5       | 4.3                        | 3.2                 | 4.3               |
|     | 60歳代      | 61  | 70.5                          | 14.8      | 3.3                        | 4.9                 | 1.6               |
|     | 70歳代      | 104 | 49.0                          | 14.4      | 11.5                       | 3.8                 | 4.8               |
|     | 80歳代以上    | 69  | 36.2                          | 20.3      | 13.0                       | 10.1                | 5.8               |

⑤参加方法

問11 あなたは、これまでどのような組織やルートを通じて、市民活動に参加しましたか。  
(〇はいくつでも)

市民活動に「現在、参加している」または「以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した420人に参加方法を聞いたところ、「町会・自治会で」(62.9%)が最も高く、次いで「学校の保護者会・PTAで」(37.6%)「子ども会・シニアクラブ・商店会などの地域の組織で」(23.6%)となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「学校の保護者会・PTAで」は増加傾向、「子ども会・シニアクラブ・商店会などの地域の組織で」は減少傾向にある(図1-27)。

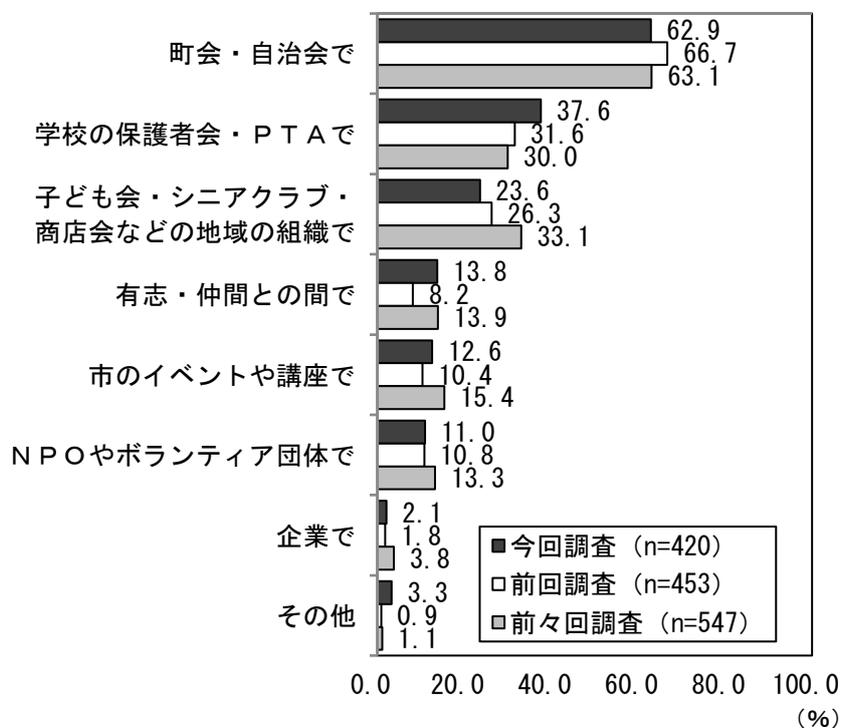


図1-27 参加方法(前回・前々回調査比較)

## 第2章 調査結果（I 市民）

性別では、「女性」「男性」とともに「町会・自治会で」が最も高い。

年代別では、全ての年代で「町会・自治会で」が最も高い（表1-6）。

表1-6 参加方法（性別、年代別：上位5項目）

|     |           | n   | 町会・自治会で | 学校の保護者会・PTAで | 子ども会・シニアクラブ・商店会などの地域の組織で | 有志・仲間との間で | 市のイベントや講座で |
|-----|-----------|-----|---------|--------------|--------------------------|-----------|------------|
| 性別  | 女性        | 249 | 59.0    | 51.0         | 26.5                     | 10.4      | 14.1       |
|     | 男性        | 156 | 67.9    | 16.0         | 19.9                     | 18.6      | 10.9       |
| 年代別 | 10歳代・20歳代 | 23  | 39.1    | 8.7          | 34.8                     | 8.7       | 17.4       |
|     | 30歳代      | 19  | 42.1    | 26.3         | 15.8                     | 15.8      | 5.3        |
|     | 40歳代      | 46  | 52.2    | 50.0         | 23.9                     | 13.0      | 2.2        |
|     | 50歳代□     | 93  | 66.7    | 58.1         | 24.7                     | 6.5       | 6.5        |
|     | 60歳代      | 61  | 67.2    | 54.1         | 34.4                     | 9.8       | 8.2        |
|     | 70歳代      | 104 | 67.3    | 27.9         | 21.2                     | 15.4      | 21.2       |
|     | 80歳代以上    | 69  | 66.7    | 14.5         | 14.5                     | 26.1      | 18.8       |

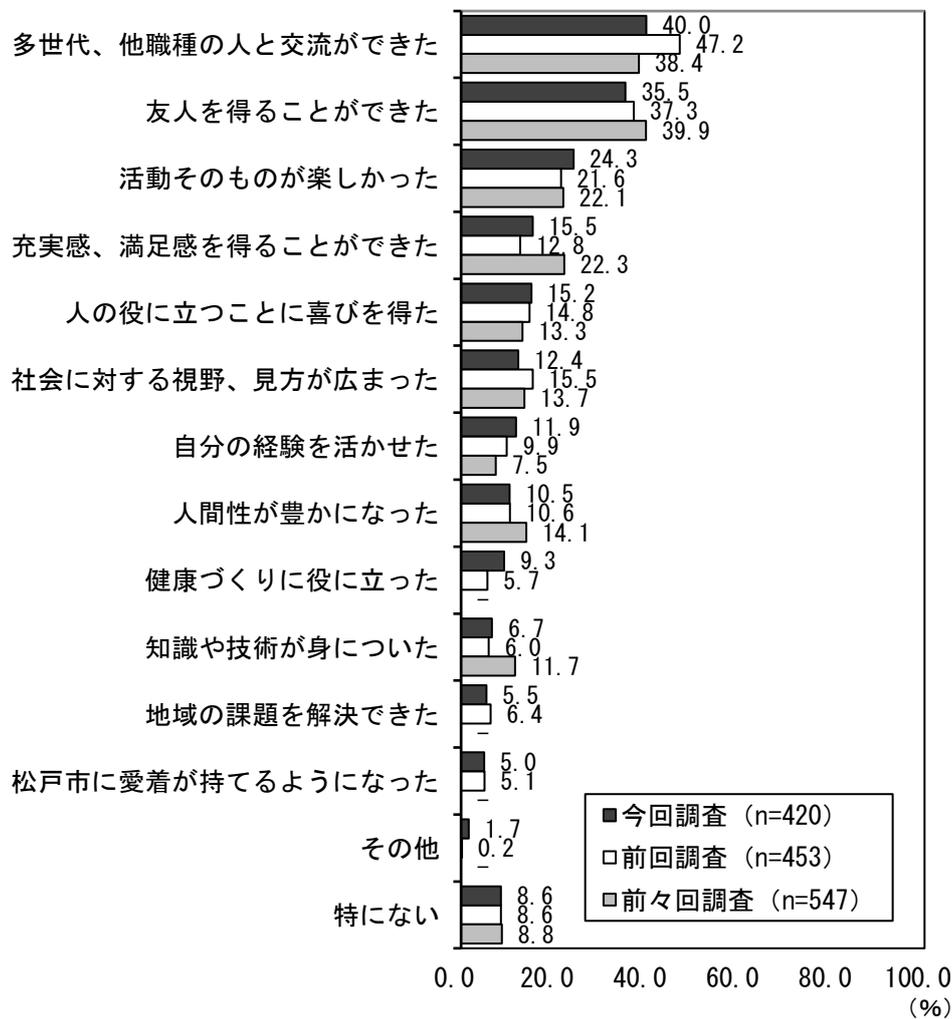
⑥市民活動の評価

問12 あなたは市民活動に参加してどのようなことを感じましたか。

(ア. よかったと感じていること、イ. 課題だと感じていること それぞれ〇は3つまで)

市民活動に「現在、参加している」または「以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した 420 人に市民活動の「よかったと感じていること」を聞いたところ、「多世代、他職種の人と交流ができた」(40.0%) が最も高く、次いで「友人を得ることができた」(35.5%) 「活動そのものが楽しかった」(24.3%) となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「自分の経験を活かした」は増加傾向、「友人を得ることができた」は減少傾向にある (図1-28)。



\* 「健康づくりに役に立った」「地域の課題を解決できた」「松戸市に愛着が持てるようになった」「その他」は前々回調査ではなし。

図1-28 市民活動の評価 (よかったと感じていること) (前回・前々回調査比較)

第2章 調査結果（I 市民）

「課題だと感じていること」については、「新しく参加してくれる人が少ない」（36.7%）が最も高く、次いで「団体の事務など特定の人に負担がかかる」（29.5%）、「自分の都合のつく時間に活動ができない」（26.7%）となっている。

また、前回調査と比較すると、上位2項目は微増している（図1-29）。

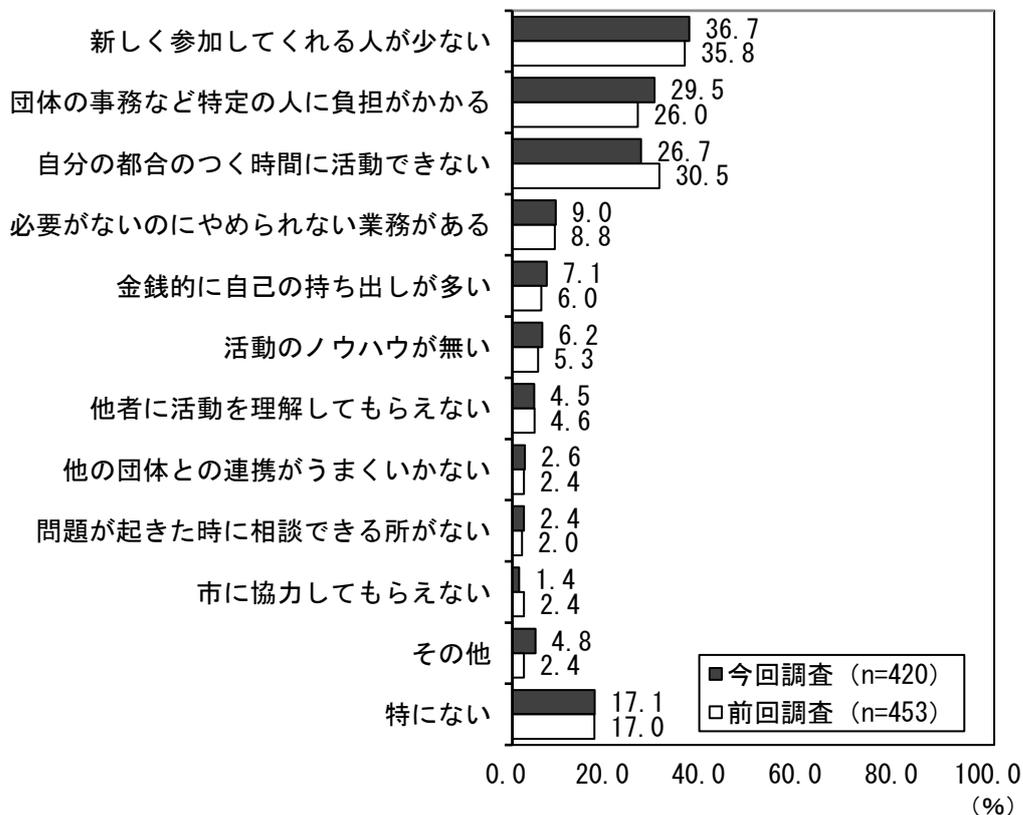


図1-29 市民活動の評価（課題だと感じていること）（前回調査比較）

## （4）市民活動の参加意向

## ①参加意向

問13 あなたは今後、市民活動に参加したいと思いますか。現在、活動に参加されている方も、されていない方もお答えください。（○は1つだけ）

市民活動への参加意向については、「どちらともいえない」が45.5%を占めていて、「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」を合わせた「肯定的評価」は26.2%となっている。一方、「どちらかといえば参加したくない」「参加したくない」を合わせた「否定的評価」は25.9%となっている。

また、前回調査と比較すると、「肯定的評価」は微減、「否定的評価」は微増している（図1-30）。

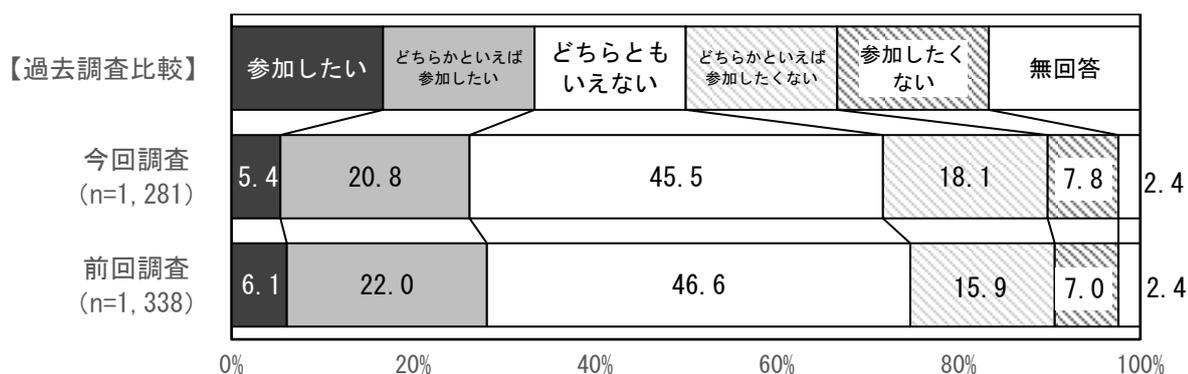


図1-30 市民活動の参加意向（前回調査比較）

第2章 調査結果（I 市民）

性別では、「女性」「男性」とともに「どちらともいえない」が高く、「肯定的評価」と「否定的評価」を比較した場合、「男性」の方が若干「肯定的評価」が高い。

年代別では、「10歳代」以外では「どちらともいえない」が高いが、「肯定的評価」と「否定的評価」を比較した場合、「60歳代」「70歳代以上」では「肯定的評価」のほうが高いが、「20歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では「否定的評価」の方が高い。「80歳代以上」ではほぼ同様の結果である（図1-31）。

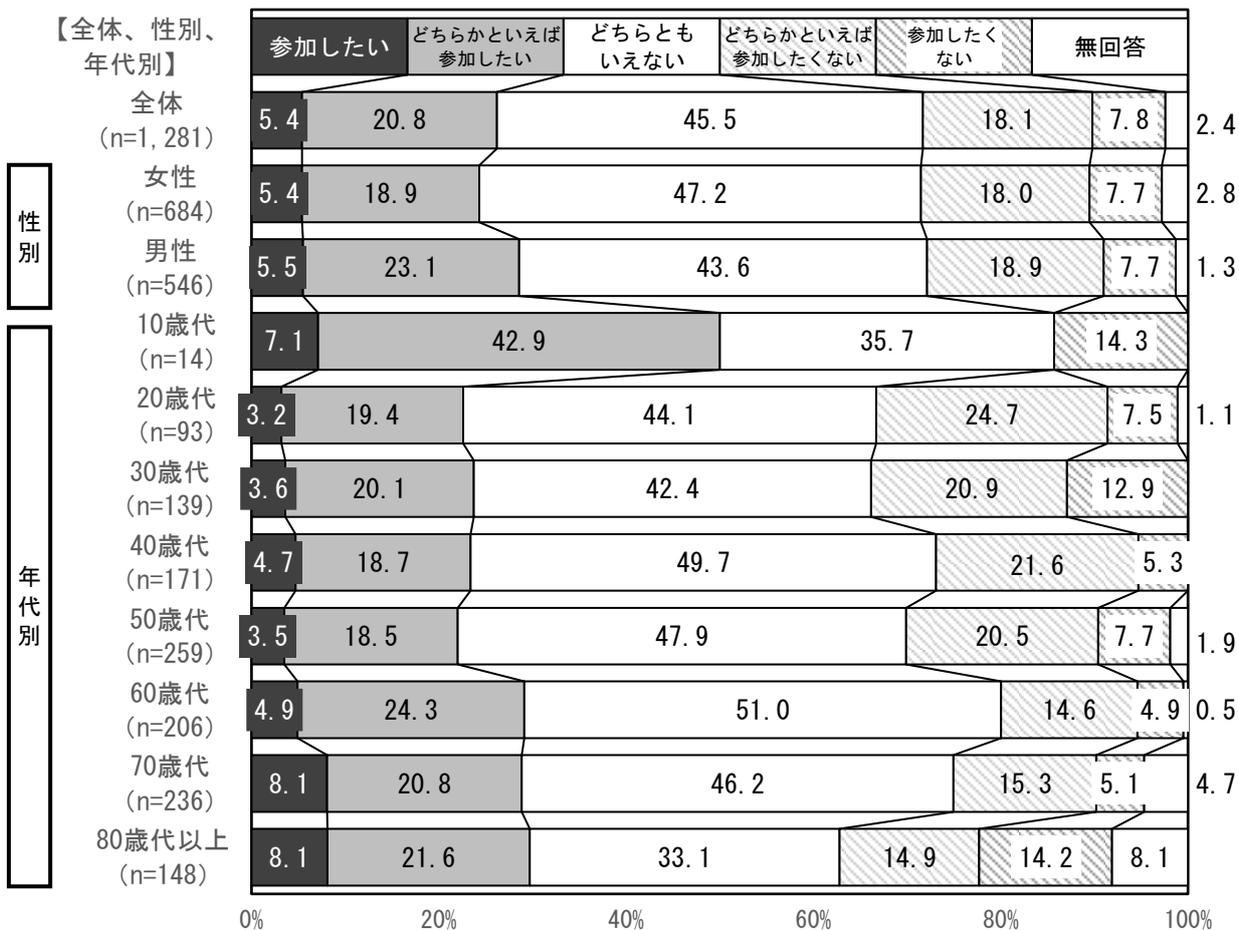


図1-31 市民活動の参加意向（性別、年代別）

市民活動の関心度別では、「大いに関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた「関心層」において「肯定的評価」が約6割を占める。

市民活動の参加状況別では、「以前は参加していたが、現在は参加していない」において「肯定的評価」が2割台半ばとなっている。

市民活動の地域への愛着別では、愛着が高いほど、「肯定的評価」が高い。

市民活動の交流意向別では、「大いに持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」を合わせた「肯定的評価層」において「肯定的評価」が4割を超える（図1-32）。

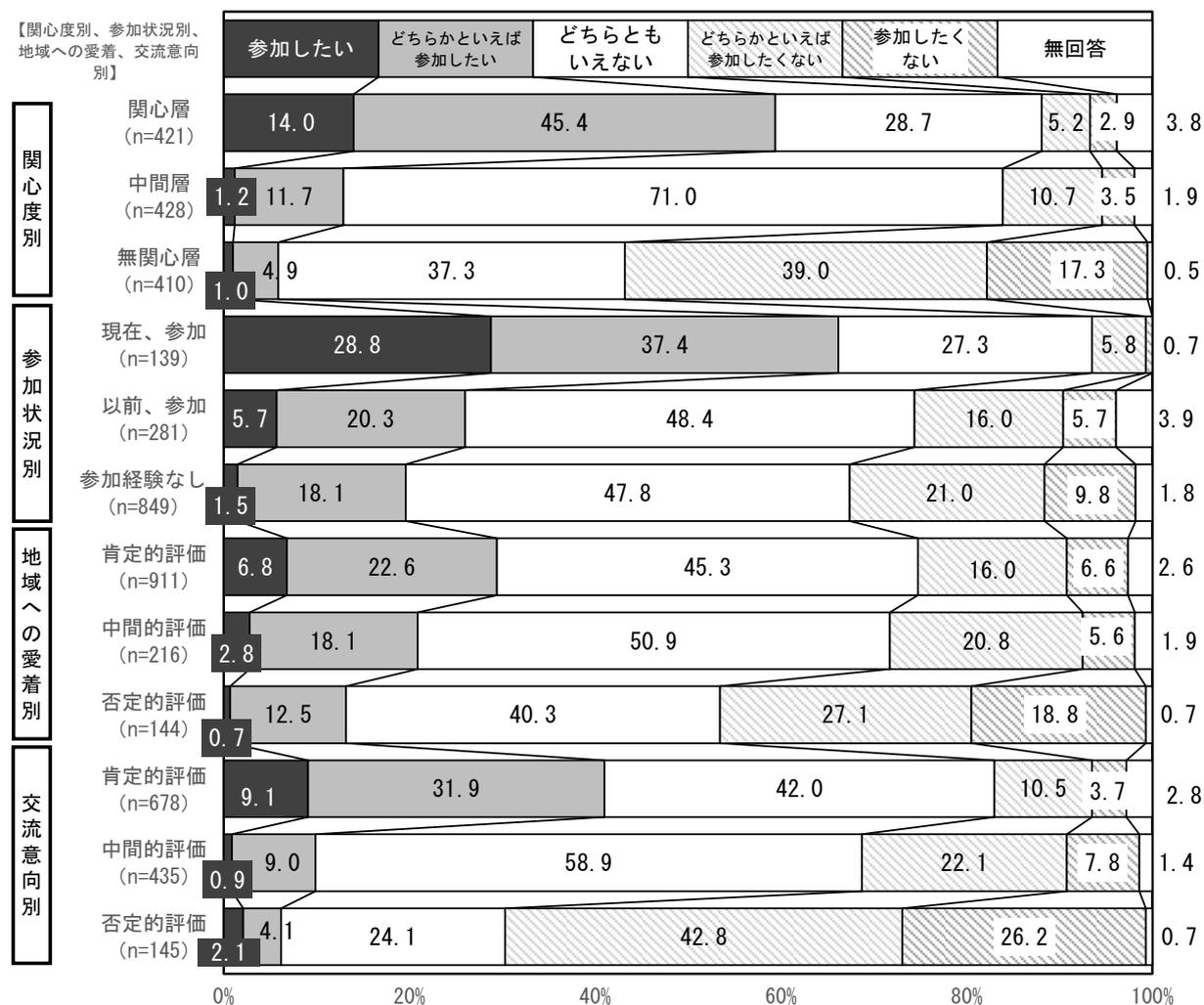


図1-32 市民活動の参加意向

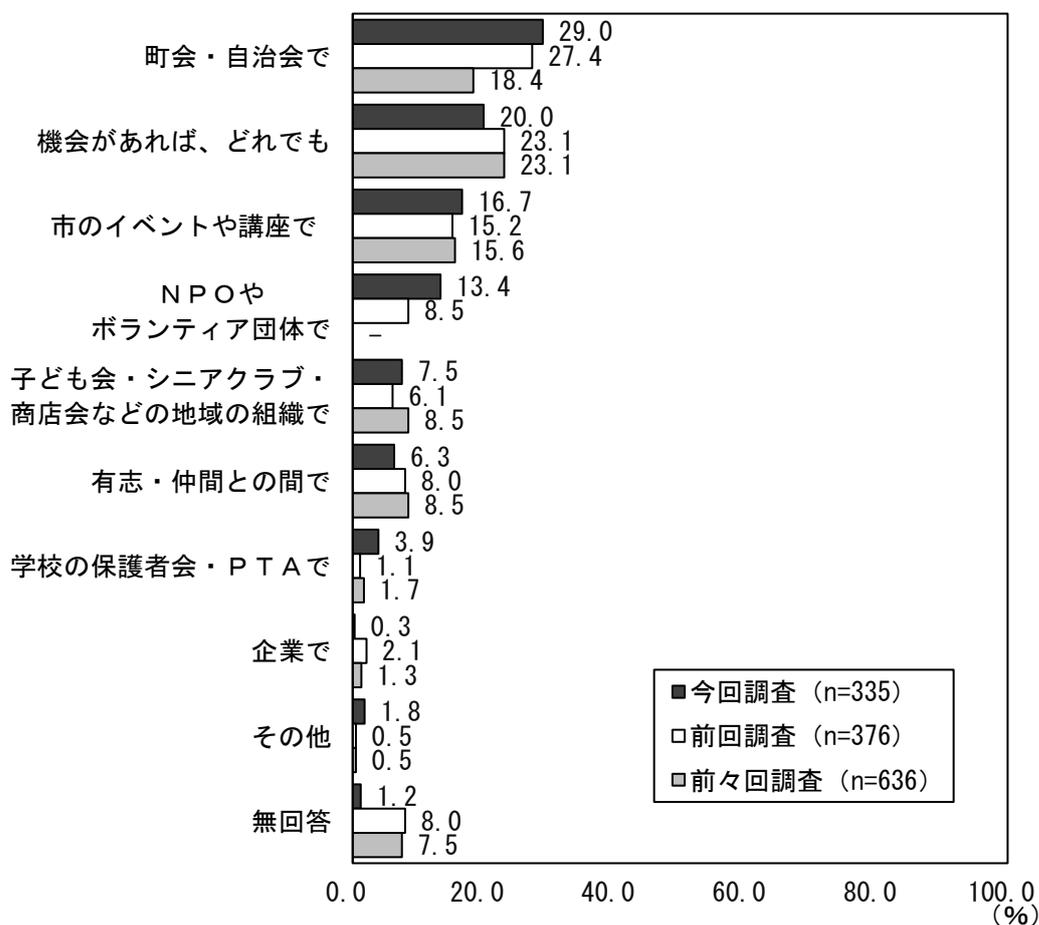
（市民活動の関心度別、市民活動の参加状況別、地域への愛着別、交流意向別）

②参加したい方法

問13-1 あなたは、今後どのような組織やルートを通じて、市民活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

市民活動への参加意向について、「現在、参加している」または「以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した335人に参加したい方法を聞いたところ、「町会・自治会で」（29.0%）が最も高く、次いで「機会があれば、どれでも」（20.0%）、「市のイベントや講座で」（16.7%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「町会・自治会で」「市のイベントや講座で」は増加傾向にある（図1-33）。



\* 前々回調査では、「NPO・NPO法人で」「ボランティア団体で」と選択肢が分かれていたため比較をしない。

図1-33 参加したい方法（前回・前々回調査比較）

性別では、「女性」「男性」とともに「町会・自治会で」が最も高く、また、「女性」では「市のイベントや講座で」も高い。

年代別では、「10歳代・20歳代」「30歳代」「50歳代」「70歳代」「80歳代以上」で「町会・自治会で」が最も高く、「40歳代」は「機会があれば、どれでも」「NPOやボランティア団体で」が最も高く、「60歳代」は「機会があれば、どれでも」が最も高くなっている（表1-7）。

表1-7 参加したい方法（性別、年代別：上位5項目）

|     |           | n   | 町会・自治会で | 機会があれば、どれでも | 市のイベントや講座で | NPOやボランティア団体で | 子ども会・シニアクラブ・商店会などの地域の組織で |
|-----|-----------|-----|---------|-------------|------------|---------------|--------------------------|
| 性別  | 女性        | 166 | 24.7    | 19.9        | 24.7       | 13.3          | 7.2                      |
|     | 男性        | 156 | 34.6    | 19.9        | 8.3        | 14.1          | 7.7                      |
| 年代別 | 10歳代・20歳代 | 28  | 28.6    | 21.4        | 21.4       | 14.3          | 7.1                      |
|     | 30歳代      | 33  | 21.2    | 9.1         | 18.2       | 6.1           | 9.1                      |
|     | 40歳代      | 40  | 15.0    | 20.0        | 7.5        | 20.0          | 15.0                     |
|     | 50歳代□     | 57  | 31.6    | 22.8        | 22.8       | 12.3          | 3.5                      |
|     | 60歳代      | 60  | 21.7    | 23.3        | 20.0       | 20.0          | 5.0                      |
|     | 70歳代      | 68  | 41.2    | 16.2        | 17.6       | 11.8          | 5.9                      |
|     | 80歳代以上    | 44  | 34.1    | 27.3        | 6.8        | 9.1           | 11.4                     |

③参加したい分野

問20 あなたが市民活動を行うと仮定した場合、どのような分野の活動に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

市民活動を行うと仮定した場合に参加したい活動分野については、「防犯・防災・交通安全活動」（25.9%）が最も高く、次いで「地域の清掃や美化の活動」（25.4%）、「文化、学習、芸術等の活動」（25.1%）となっている。

また、前回調査と比較すると、上位6項目は微増している（図1-34）。

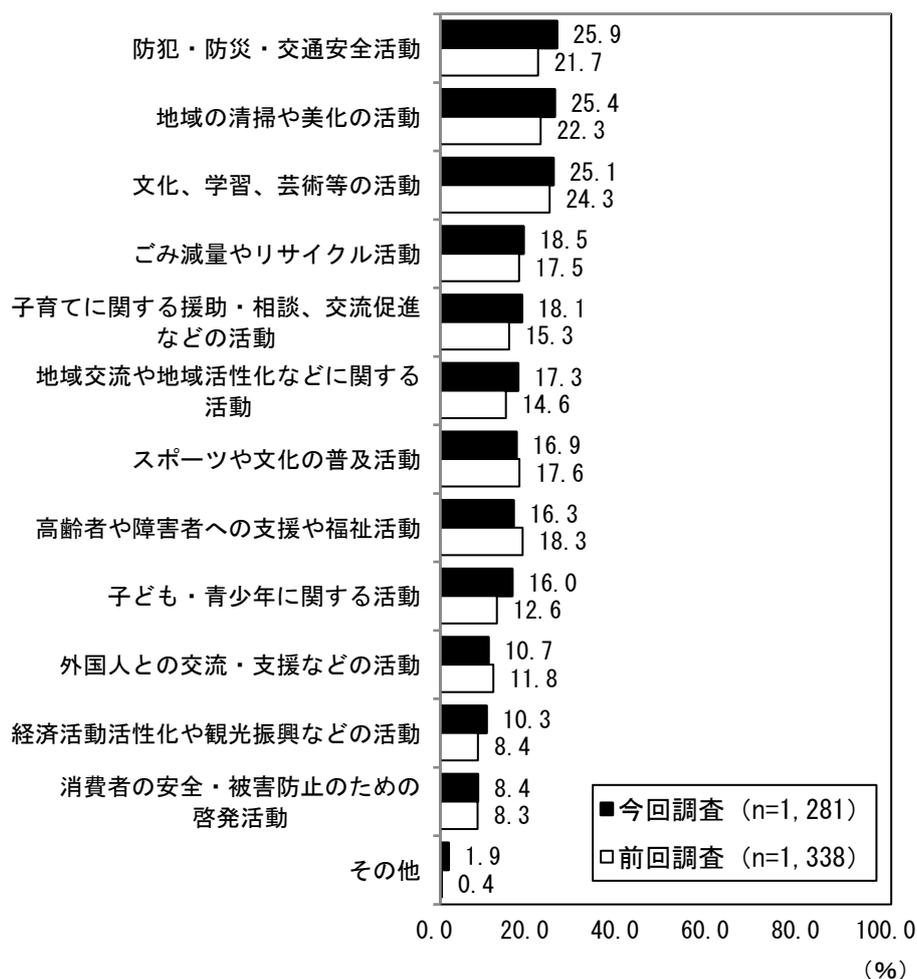


図1-34 参加したい分野（前回調査比較）

(5) 市民活動の有効度

問15 あなたは、市民活動が社会貢献につながっていると思いますか。(〇は1つだけ)

市民活動が社会貢献につながっているかについては、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」が67.2%である一方、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた「否定的評価」は5.7%にとどまっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「肯定的評価」は増加傾向にある。

性別では「女性」「男性」ともほぼ同様の結果である。

また、年代別では、「肯定的評価」が「10歳代」で約8割、「60歳代」で7割台半ばと高くなっている(図1-35)。

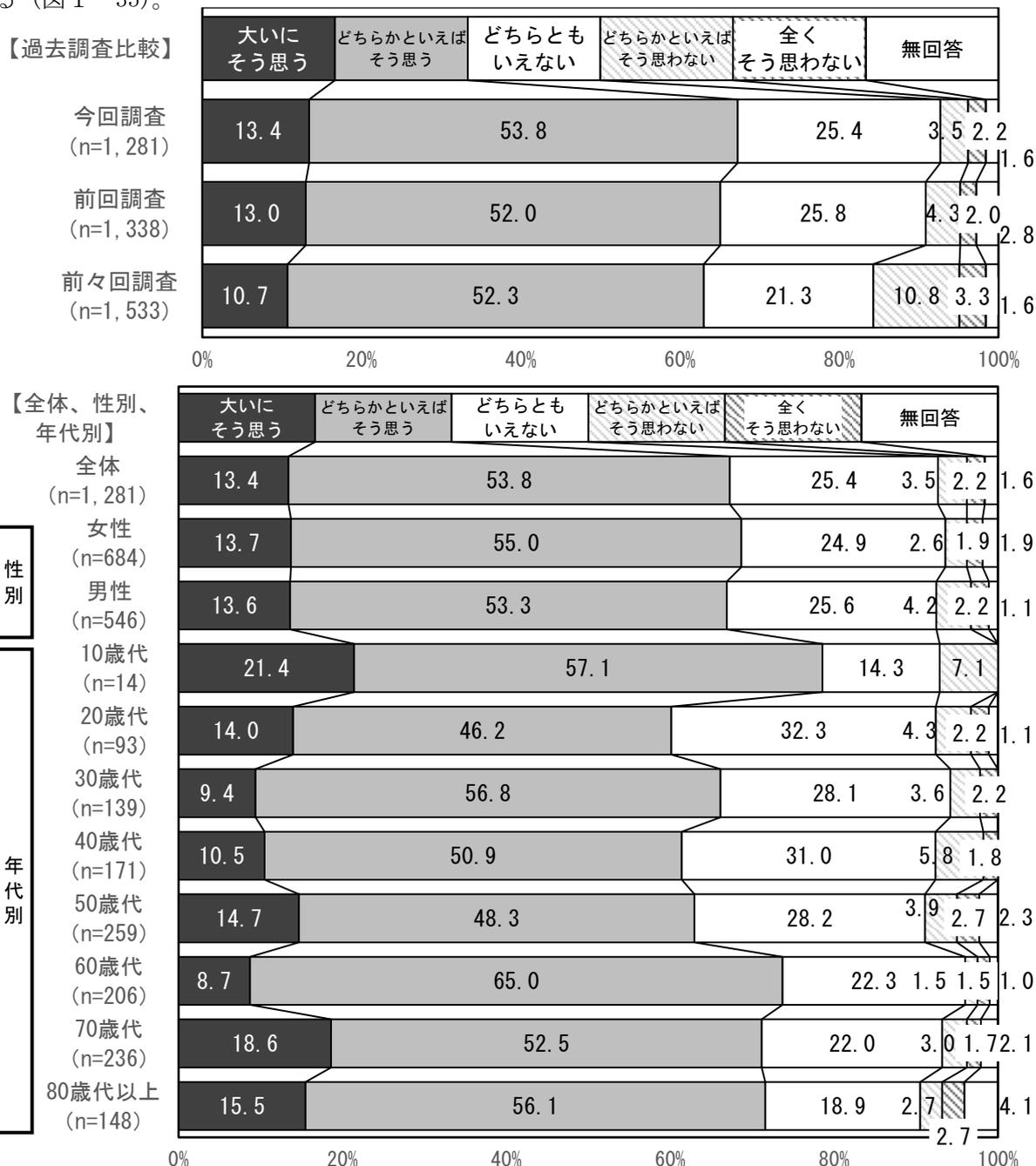


図1-35 市民活動の有効度 (【上】前回調査比較、【下】性別、年代別)

## 4. 協働のまちづくりへの意識

### （1）協働のまちづくりの進捗評価

問16 あなたは松戸市において、市民、市民活動団体、民間事業者及び市の協力・連携が図られ、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

問16-1 あなたが松戸市において協働のまちづくりが進んでいないと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

松戸市において協働のまちづくりが進んでいるかについては、「どちらともいえない」（53.3%）が最も高く、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」が 21.8% 「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた「否定的評価」は 22.2%となっている。

進んでいない理由としては、「協働のまちづくりの事例がどのようなものか分からないから」（65.8%）が最も高く、次いで「松戸市全体に協働のまちづくりの意識が浸透していないから」（48.6%）となっている（図1-36）。

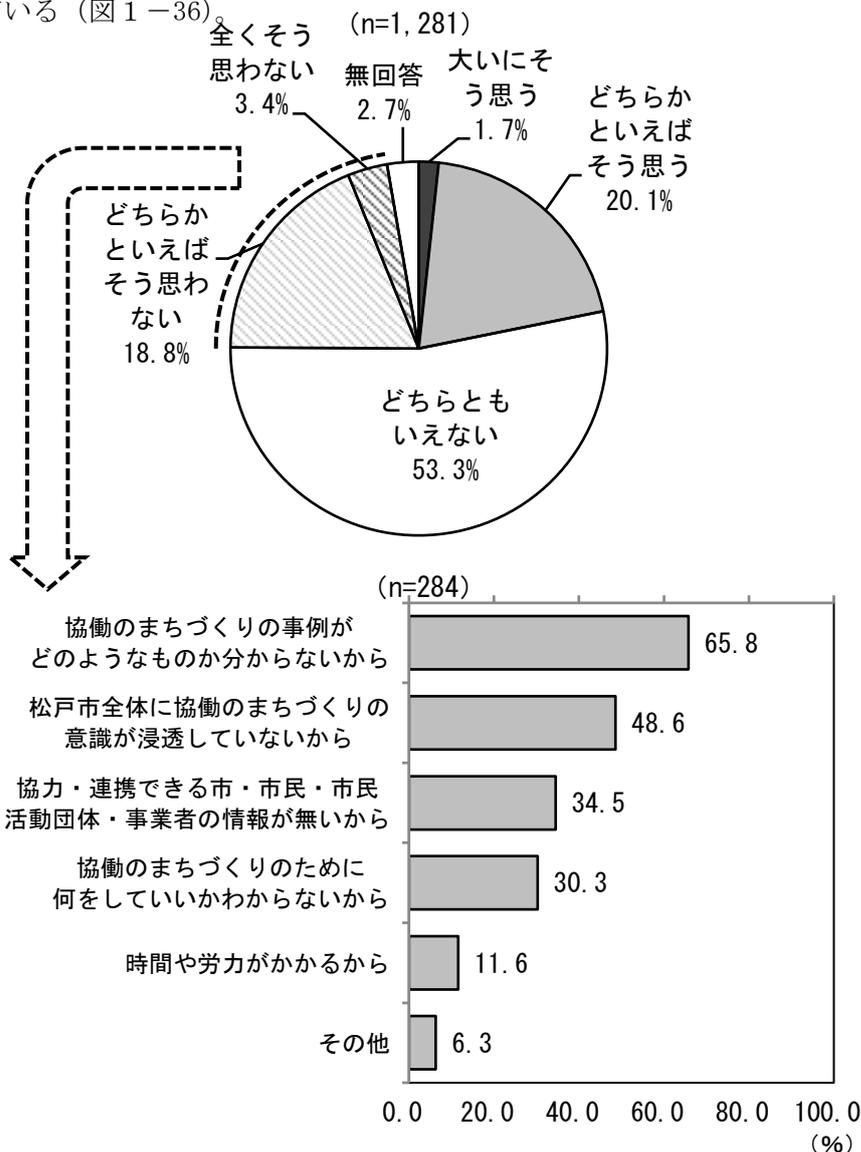


図1-36 松戸市の協働のまちづくりの進捗評価と進んでいない理由

前回調査と比較すると、「否定的評価」は6ポイント低下している (図1-37)。

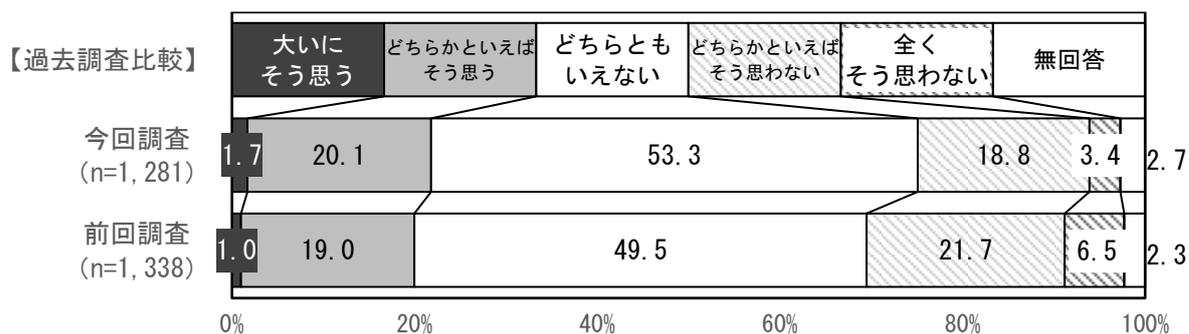


図1-37 松戸市の協働のまちづくりの進捗評価 (前回調査比較)

進んでいない理由を前回調査と比較すると、「時間や労力がかかるから」が5ポイント上昇し、「協働のまちづくりのために何をしたいかわからないから」は約5ポイント低下している (図1-38)。

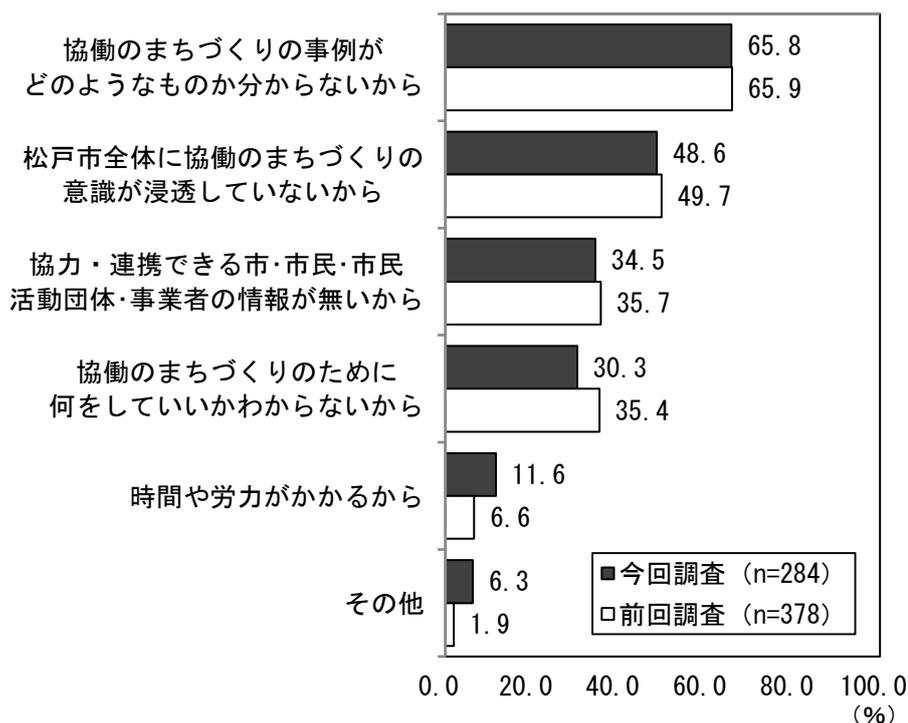


図1-38 松戸市の協働のまちづくりが進んでいない理由 (前回調査比較)

（2）協働のまちづくりの関心度

問17 あなたは、「協働のまちづくり」にどの程度関心がありますか。（○は1つだけ）

協働のまちづくりへの関心度については、「どちらともいえない」が 39.0%で最も高く、「大いに関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心層」が 30.7%、「どちらかといえば関心がない」「全く関心がない」を合わせた「無関心層」が 27.9%となっている。

また、前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果である。

性別では、「女性」で「どちらともいえない」が最も高く、「男性」で「関心層」が最も高い。

年代別では、「80歳代以上」では「関心層」が4割を超え最も高く、「20歳代」では「無関心層」が約5割を占め最も高い（図1-39）。

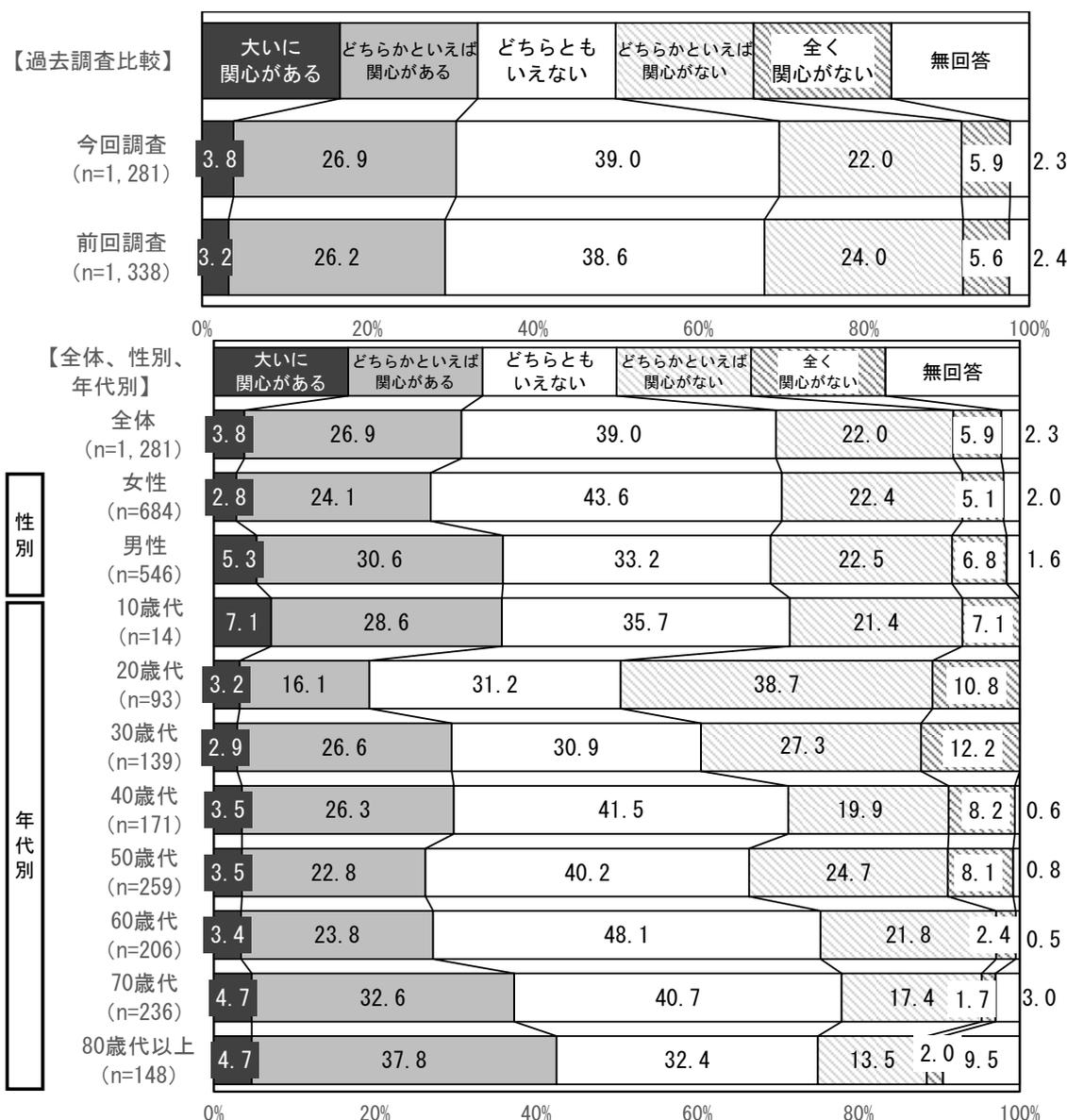


図1-39 協働のまちづくりの関心度（【上】前回調査比較、【下】性別、年代別）

地域への愛着度別では、「肯定的評価層」では「関心層」が最も高いが、「否定的評価層」では「無関心層」が最も高い。

交流意向別では、「肯定的評価層」では「関心層」が最も高いが、「否定的評価層」では「無関心層」が最も高い。

市民活動の参加状況別では、「現在、参加している層」では「関心層」が最も高いが、「以前は参加していたが、現在は参加していない」「これまで参加したことはない」では「中間層（どちらともいえない）」が最も高い（図1-40）。

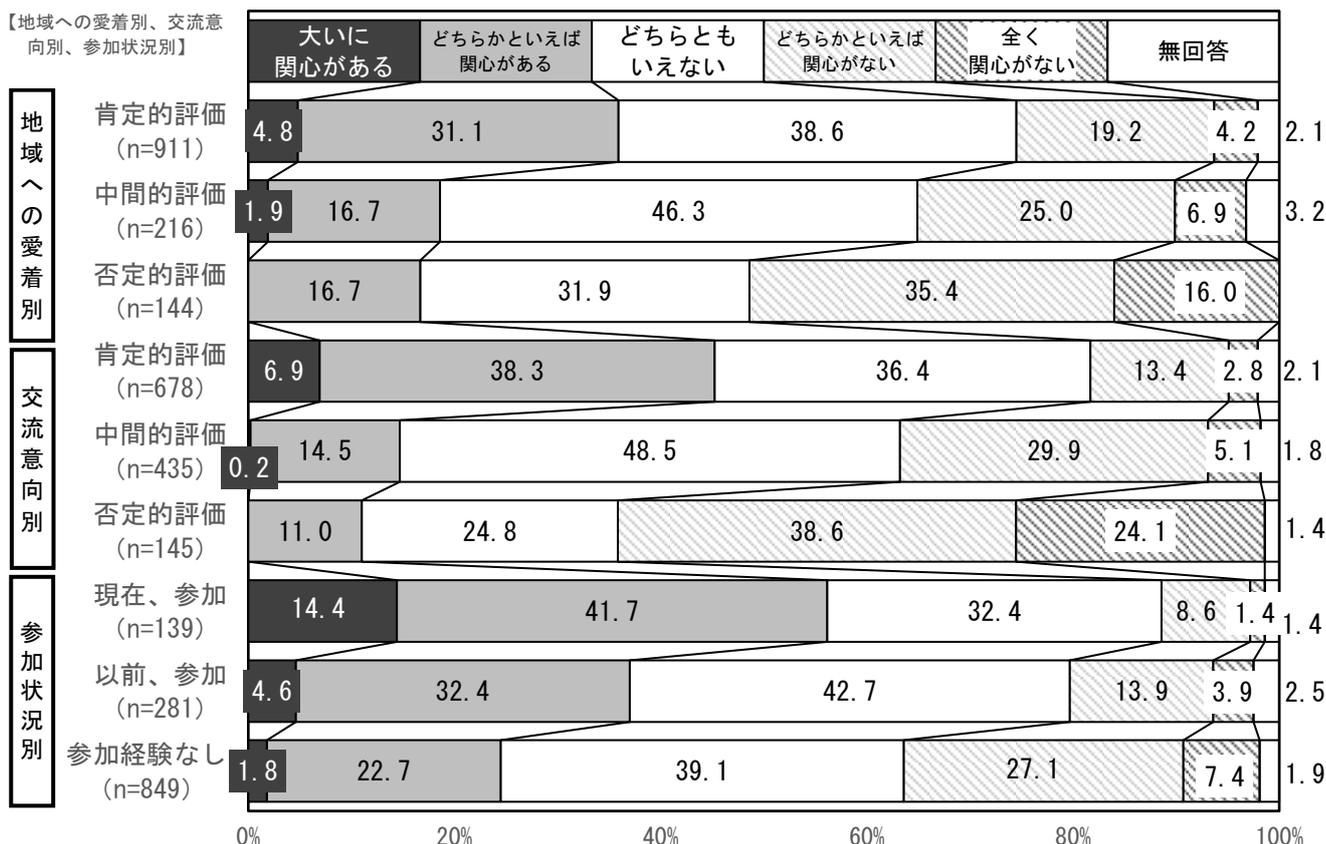


図1-40 協働のまちづくりの関心度（地域への愛着度、交流意向別、市民活動の参加状況別）

（3）協働のまちづくりの有効度

問18 あなたは、本市が推進する「協働のまちづくり」が地域の課題解決につながっていくと思いますか。（○は1つだけ）

市が推進する「協働のまちづくり」が地域の課題解決につながるかどうかについては、「大いに思う」「どちらかといえば思う」を合わせた「肯定的評価」が46.3%、「どちらともいえない」が43.2%、「否定的評価」が8.6%となっている。

また、前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果である。

性別では、「女性」「男性」ともにほぼ同様の結果である。

年代別では、「10歳代」「40歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」では「肯定的評価」が最も高く、「20歳代」「30歳代」「50歳代」では「どちらともいえない」が最も高い（図1-41）。

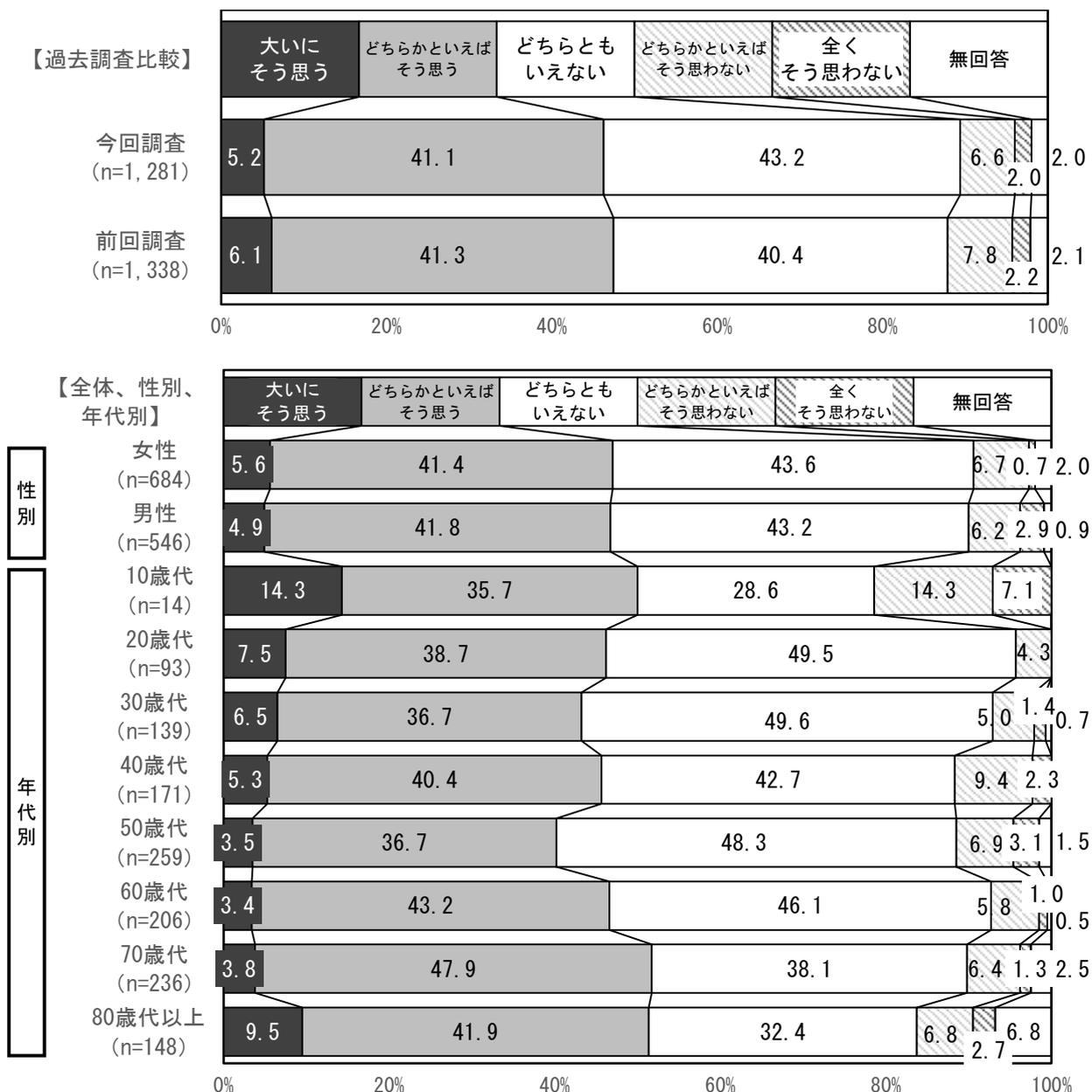


図1-41 協働のまちづくりの有効度（【上】前回調査比較、【下】性別、年代別）

市民活動の有効度別では、市民活動が社会貢献につながっているかについて「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価層」において、「協働のまちづくり」が地域の課題解決につながるという「肯定的評価」が6割を超える。

また、協働のまちづくりへの関心度別では、「関心層」において「肯定的評価」が7割を超える（図1-42）。

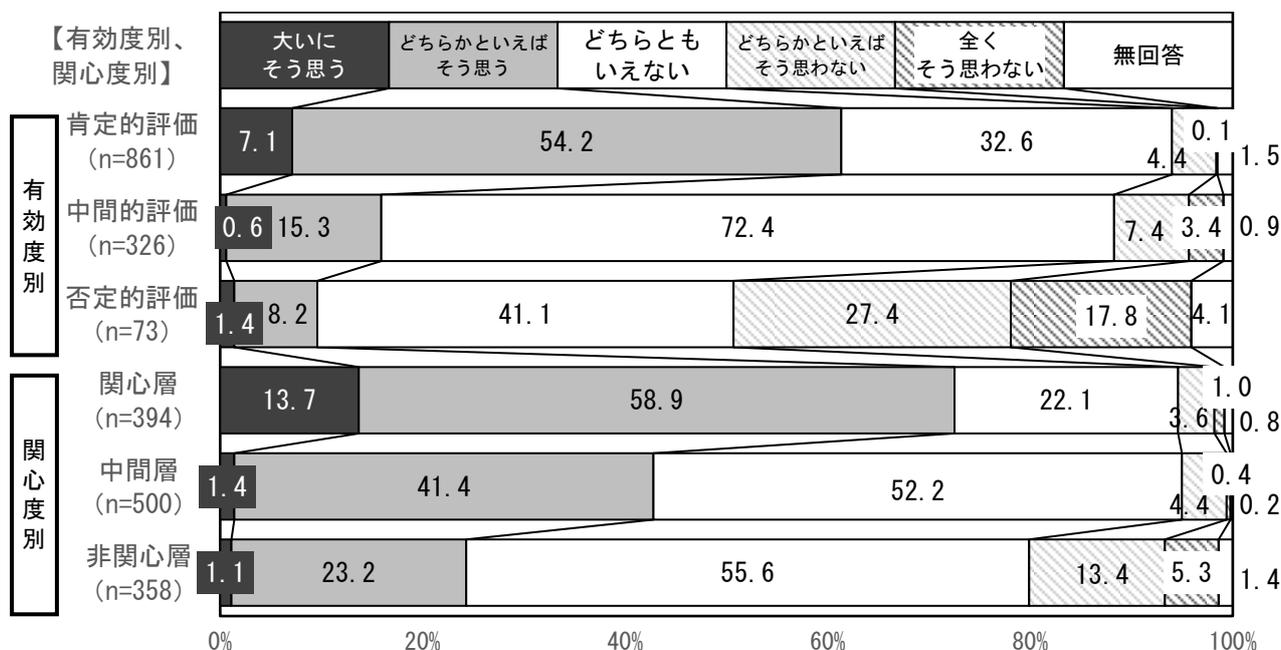


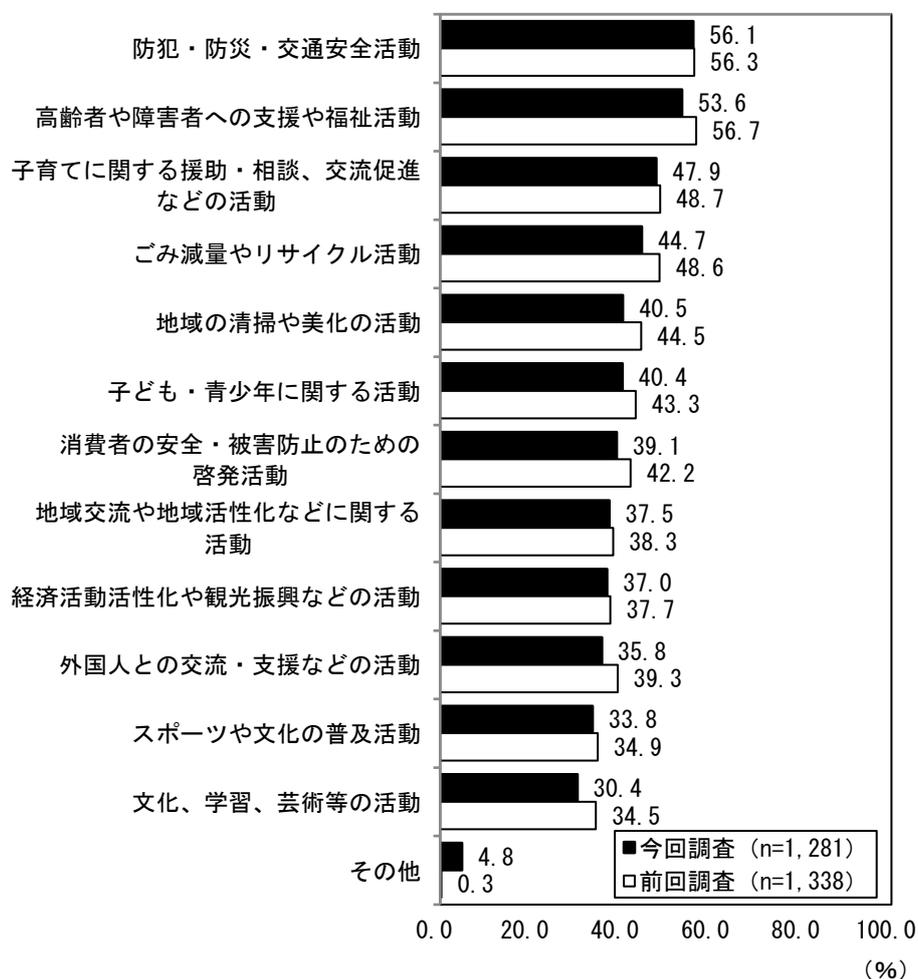
図1-42 協働のまちづくりの有効度（市民活動の有効度別、協働のまちづくりへの関心度別）

（4）協働が必要な分野

問20 どのような分野の活動で市民、市民活動団体、民間事業者、市の「協働（協力・連携）」が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

協働が必要な分野については、「防犯・防災・交通安全活動」（56.1%）が最も高く、次いで「高齢者や障害者への支援や福祉活動」（53.6%）、「子育てに関する援助・相談、交流促進などの活動」（47.9%）、「ごみ減量やリサイクル活動」（44.7%）、「地域の清掃や美化の活動」（40.5%）、「子ども・青少年に関する活動」（40.4%）となっている。

また、前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果である（図1-43）。



\* 「経済活動活性化や観光振興などに関する活動」は前回調査では「商業、観光振興などの活動」

図1-43 協働が必要な分野（前回調査比較）

## 5. 政策評価

### （1）まつど市民活動サポートセンターの認知状況

#### ①サポートセンターの認知状況

問14 本市には市民活動の支援、発展に寄与することを目的とした「まつど市民活動サポートセンター」があります。あなたはこのセンターをご存知ですか。（○は1つだけ）

まつど市民活動サポートセンターの認知状況については、「知っており、既に利用している」が2.7%、「知っているが、利用したことはない」が14.0%であり、認知度は16.7%にとどまる一方、「知らない」が7割台半ばとなっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、認知度はほぼ同様の結果となっている。

性別では、「女性」の認知度が17.1%、「男性」が16.1%となっている（図1-44）。

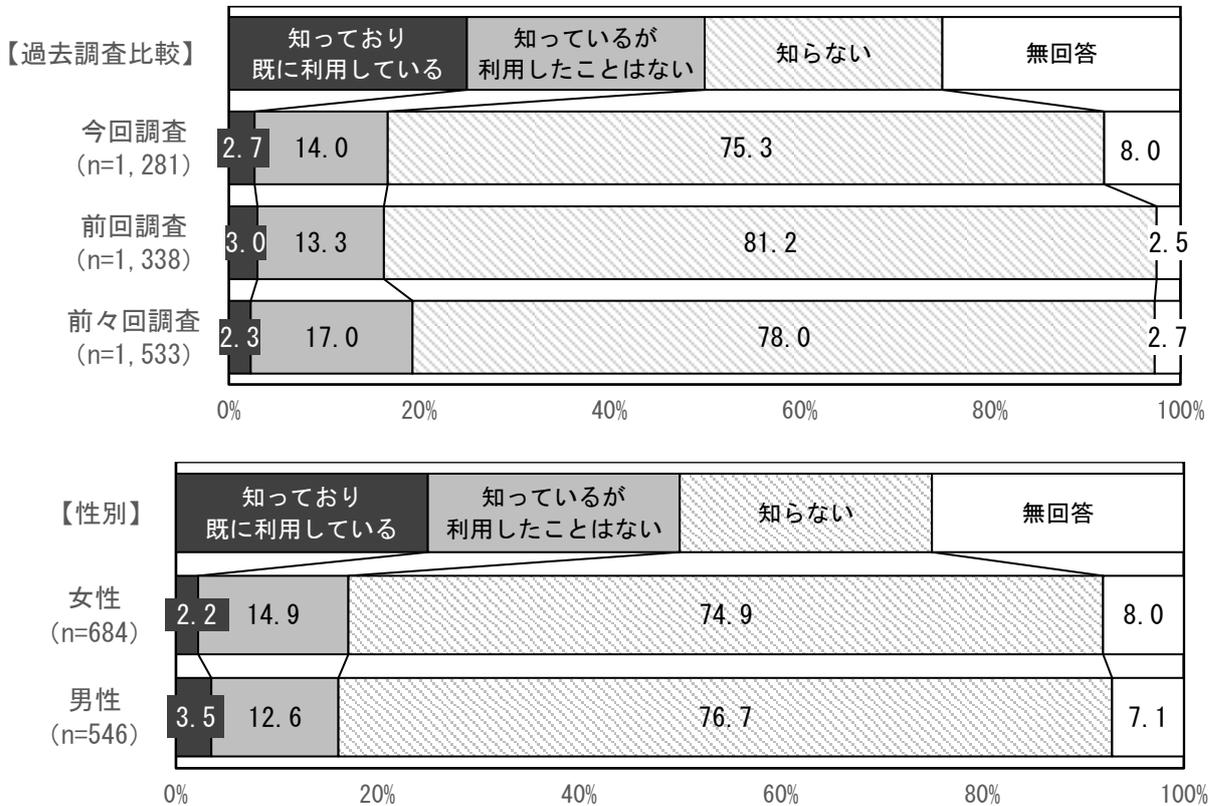


図1-44 まつど市民活動サポートセンターの認知状況（【上】前回・前々回調査比較、【下】性別）

第2章 調査結果（I 市民）

年代別では、「70歳代」「80歳代以上」における認知度が2割台半ばで最も高い。

市民活動の参加状況別では、「現在、参加している層」では、約4割の認知度となった。（図1-45）

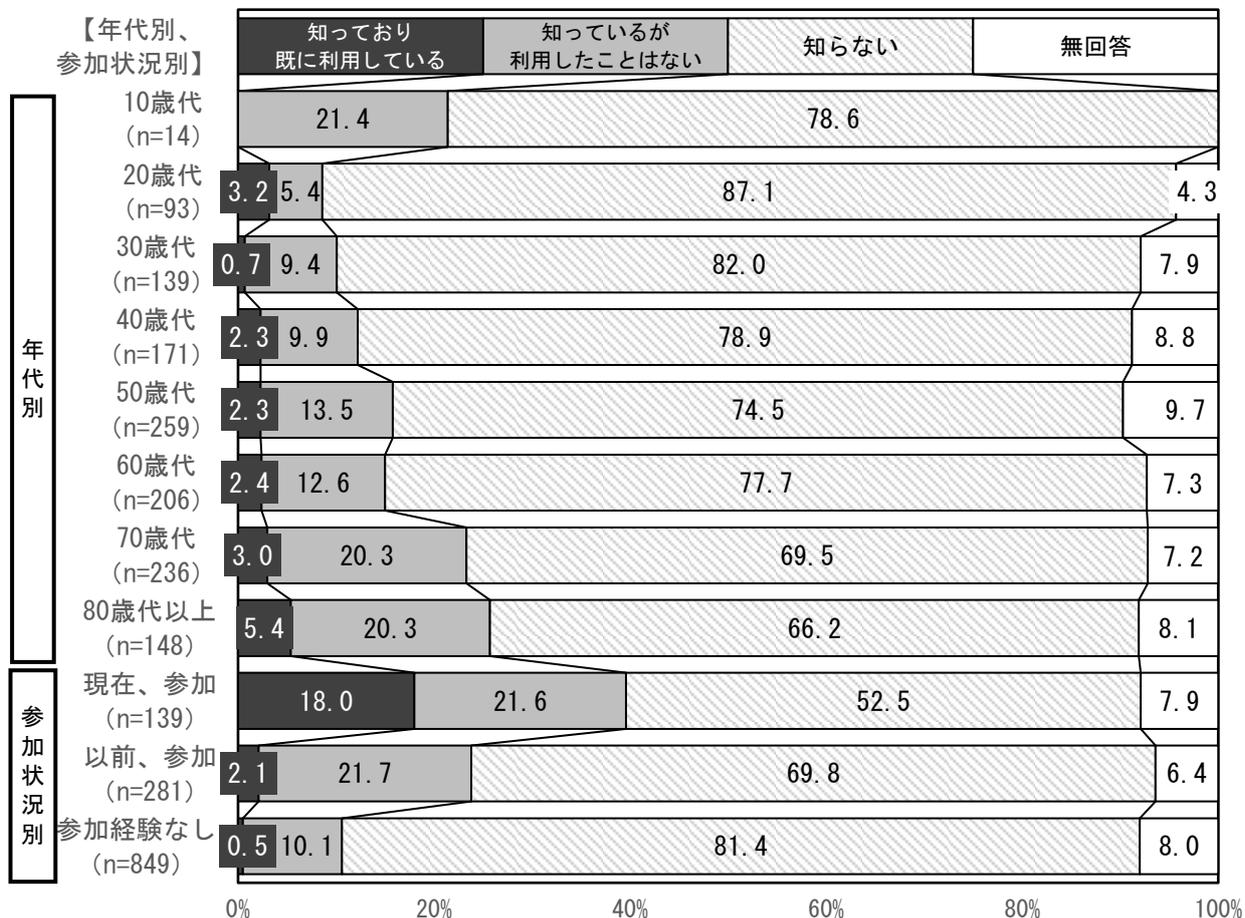


図1-45 まつど市民活動サポートセンターの認知状況（【下】年代別、参加状況別）

市民の居住地域別では、「矢切」においての認知度が4割を超え最も高い。一方、「東部」では認知度が約1割で最も低い(図1-46)。

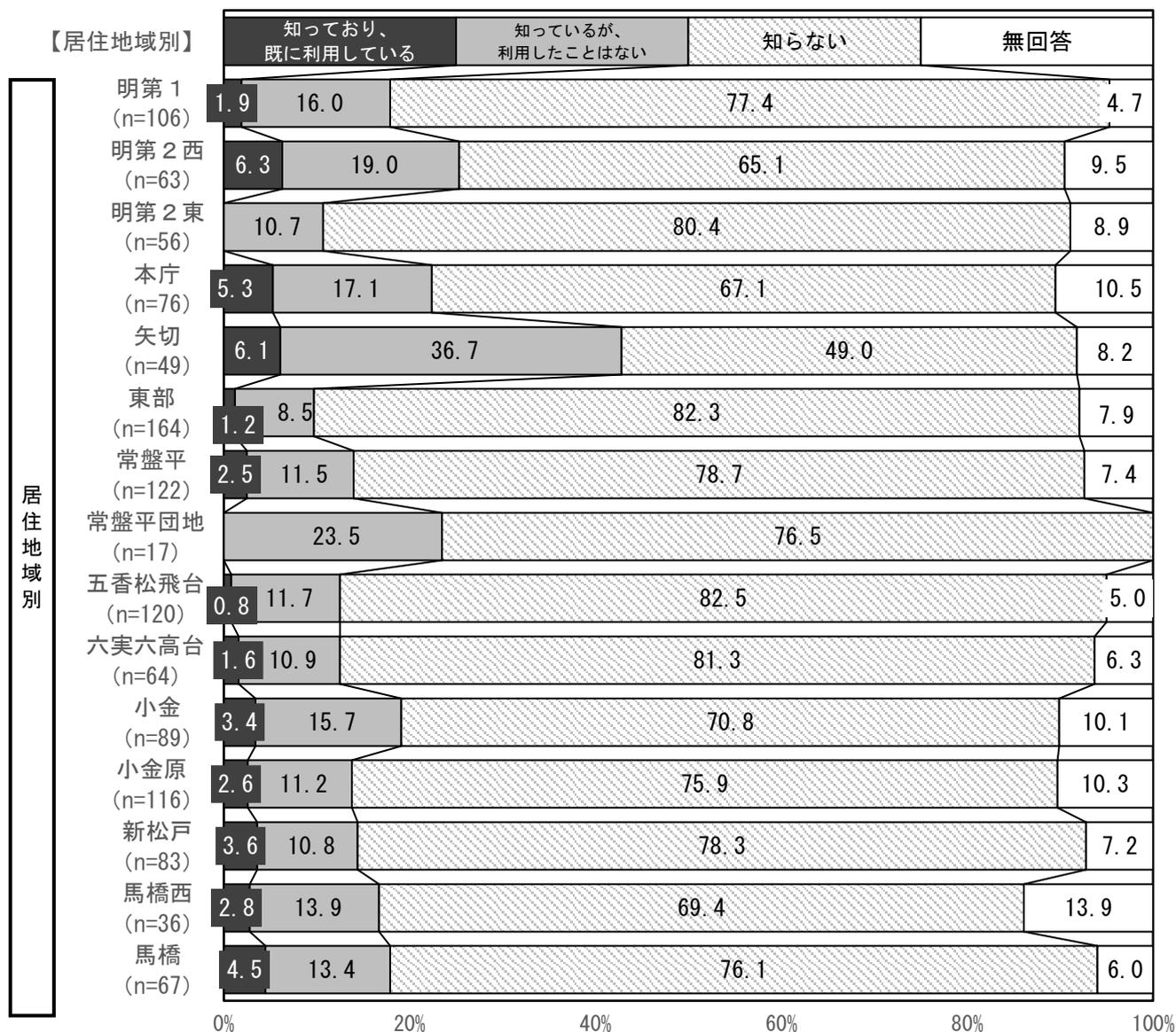


図1-46 まつど市民活動サポートセンターの認知状況(居住地域別)

②サポートセンターの事業の認知状況

問14-1 あなたは、まつど市民活動サポートセンターの事業についてどの程度ご存知ですか。  
（ア～キのあてはまる番号1つに○）

まつど市民活動サポートセンターを「知っており、既に利用している」または「知っているが、利用したことはない」と回答した 214 人に同センターの事業について聞いたところ、「知っている」では「イベント講座を実施していること」（71.5%）が最も高く、次いで「ホームページや情報紙での情報発信を行っていること」（56.1%）、「ボランティア市民活動の相談を行っていること」（53.7%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている（図1-47）。

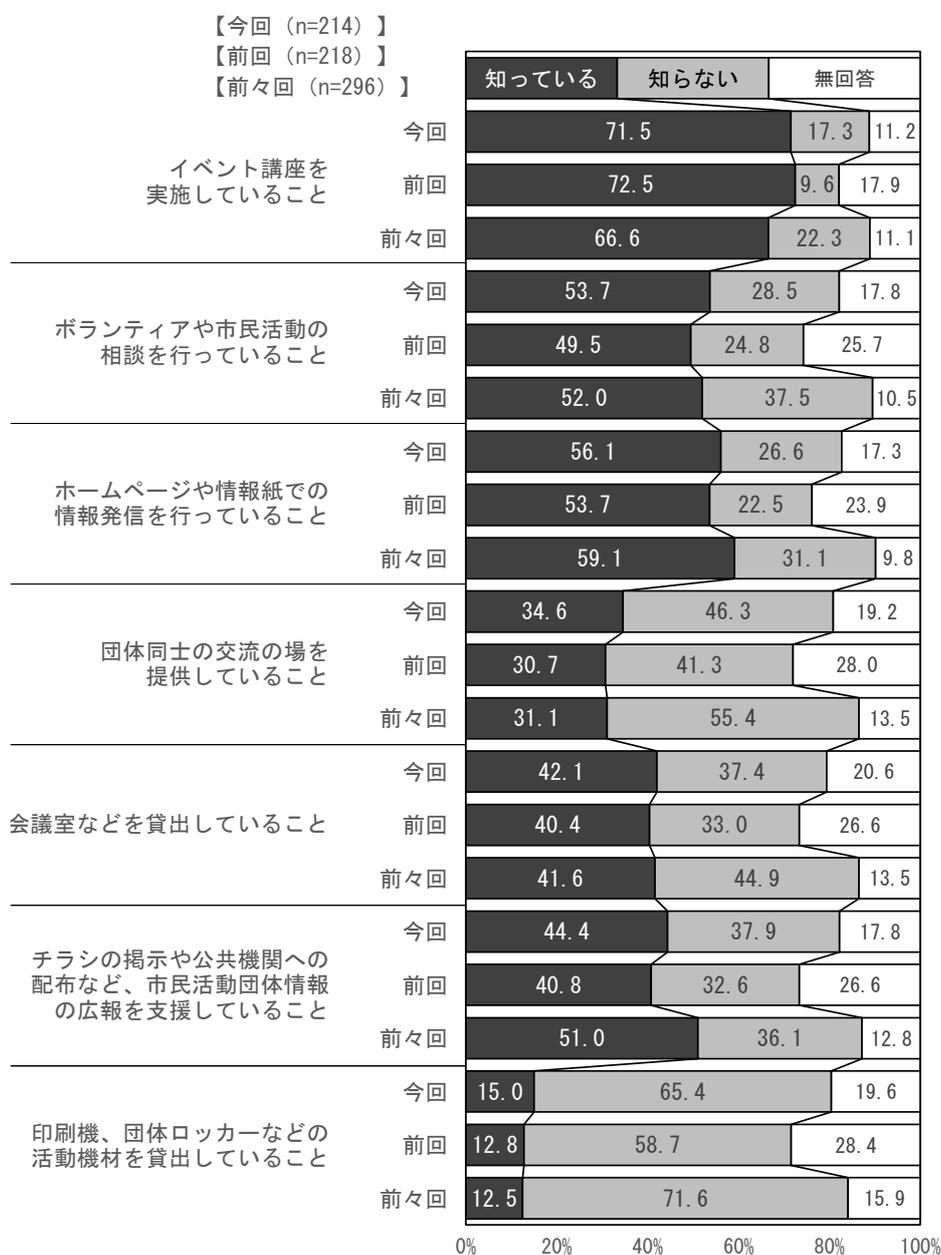


図1-47 まつど市民活動サポートセンターの認知状況（前回・前々回調査比較）

（2）協働のまちづくりへの賛成度

問19 本市が「協働のまちづくり」を推進することについて、あなたはどのように思いますか。  
（○は1つだけ）

本市が「協働のまちづくり」を推進することについては、「大いに推進すべきである」「ある程度推進すべきである」を合わせた「肯定的評価」が約7割で最も高いが、前々回調査と比較すると、減少傾向にある。一方、「どちらともいえない」が27.2%であり、前々回調査から10ポイント以上、前回調査からは微増傾向にある。

性別では、「男性」の「肯定的評価」が「女性」よりも若干高い（図1-48）。

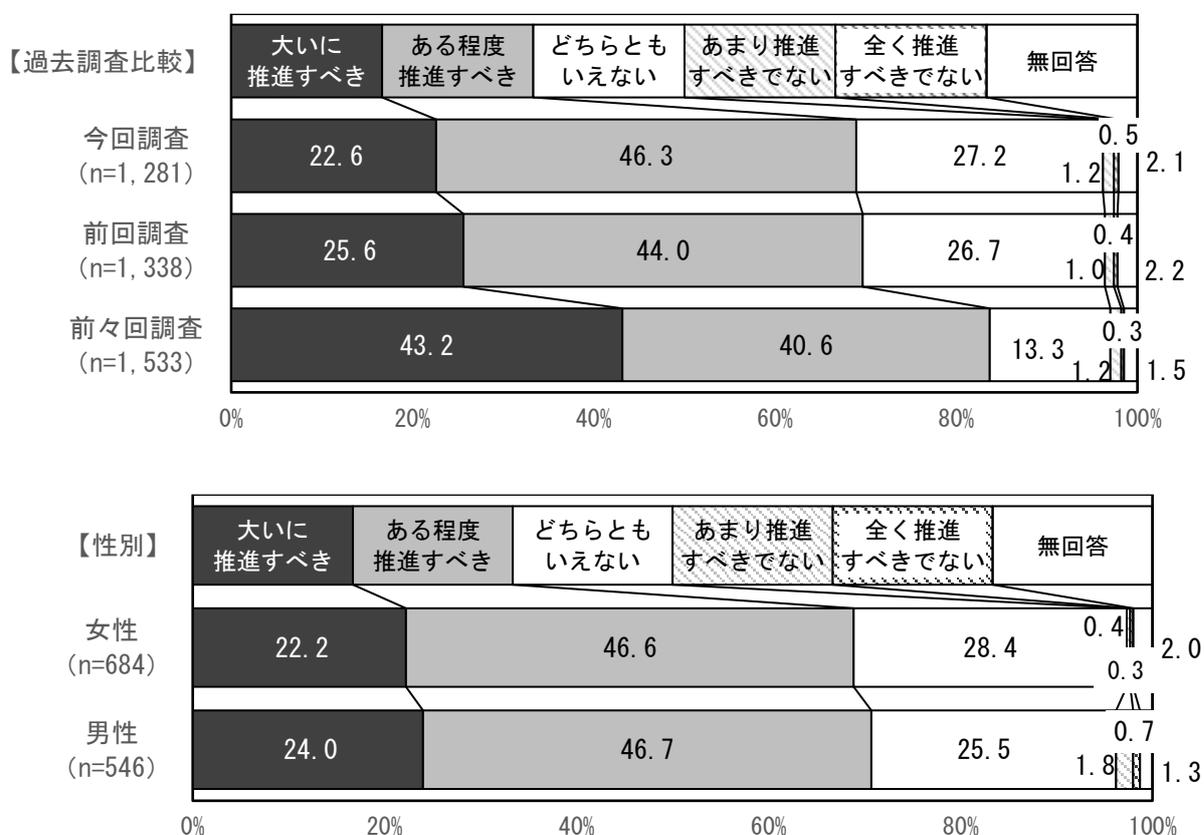


図1-48 協働のまちづくりへの賛成度（【上】前回・前々回調査比較、【下】性別）

第2章 調査結果（I 市民）

年代別では、「肯定的評価」が「80歳代以上」で7割台半ば、「10歳代」「60歳代」「70歳代」で7割を超える。

市民活動の有効度別では、市民活動が社会貢献につながっているかについて「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価層」において、「協働のまちづくり」を推進することに賛成な「肯定的評価」が8割を超える。

協働のまちづくりへの関心度別では、「関心層」において「肯定的評価」が9割を超える（図1-49）。

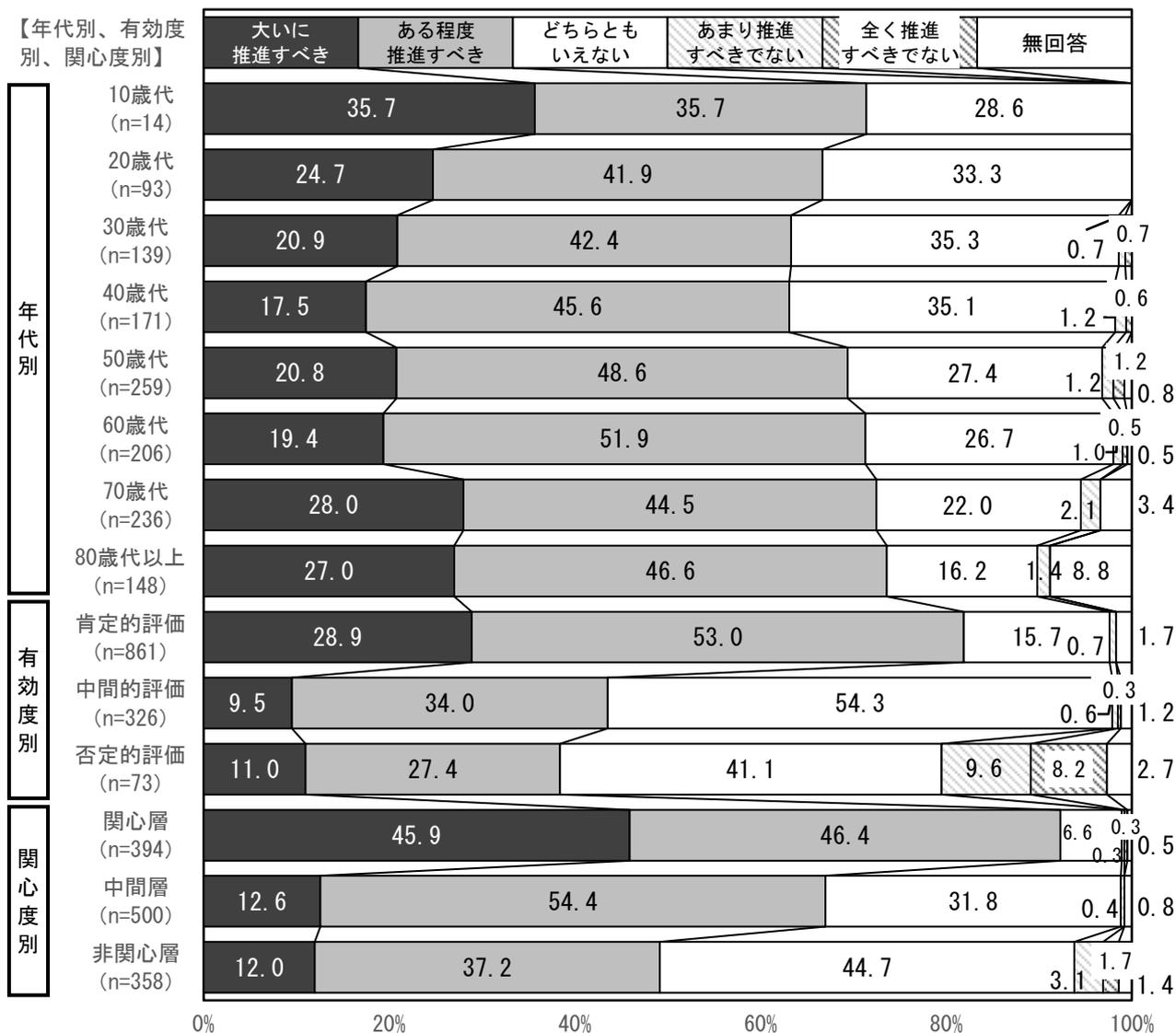


図1-49 協働のまちづくりへの賛成度  
(年代別、市民活動の有効度別、協働のまちづくりへの関心度別)

（3）施策の認知状況

問21 あなたは、市が取り組む施策について知っていますか。（あてはまる番号1つに○）

市が取り組む施策の認知状況については、「知らない」が「協働のまちづくり基金」「協働事業提案制度」で約9割、「協働推進計画」「協働のまちづくり条例」で8割台半ば、「市民活動助成制度」で8割を超えており、全ての施策において、「知っている」が1割未満となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、ほぼ同様の結果である。（図1-50）。

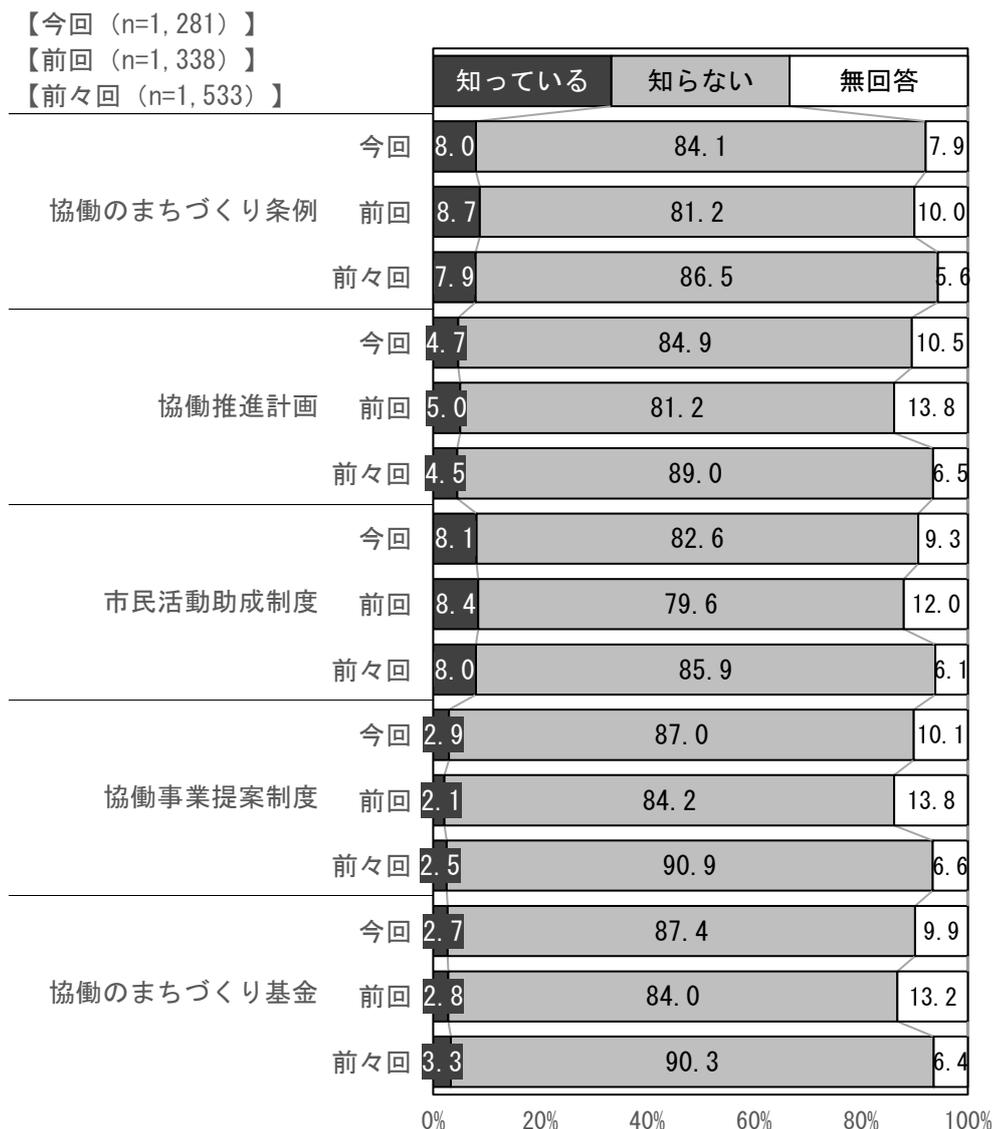


図1-50 施策の認知状況（前回・前々回調査比較）

（4）施策へのニーズ

問22 あなたは、「協働のまちづくり」を推進するために市が行うものとして、どのような取り組みが有効だと思いますか。（〇はいくつでも）

「協働のまちづくり」を推進するために「広報まつどやホームページ等でボランティア情報や協働に関する情報の発信」（53.9%）が最も高く、次いで「市の現状や課題などの情報の積極的な公開」（41.0%）、「協働に関する市民向けイベント、シンポジウム等の実施」（29.1%）、「協働のまちづくりの市内の好事例集の配布や公開」（28.5%）となっている。

また、前回調査と比較すると、若干の増減と順位の入替えはあるものの、上位5項目は概ね同様の結果となっている（図1-51）。

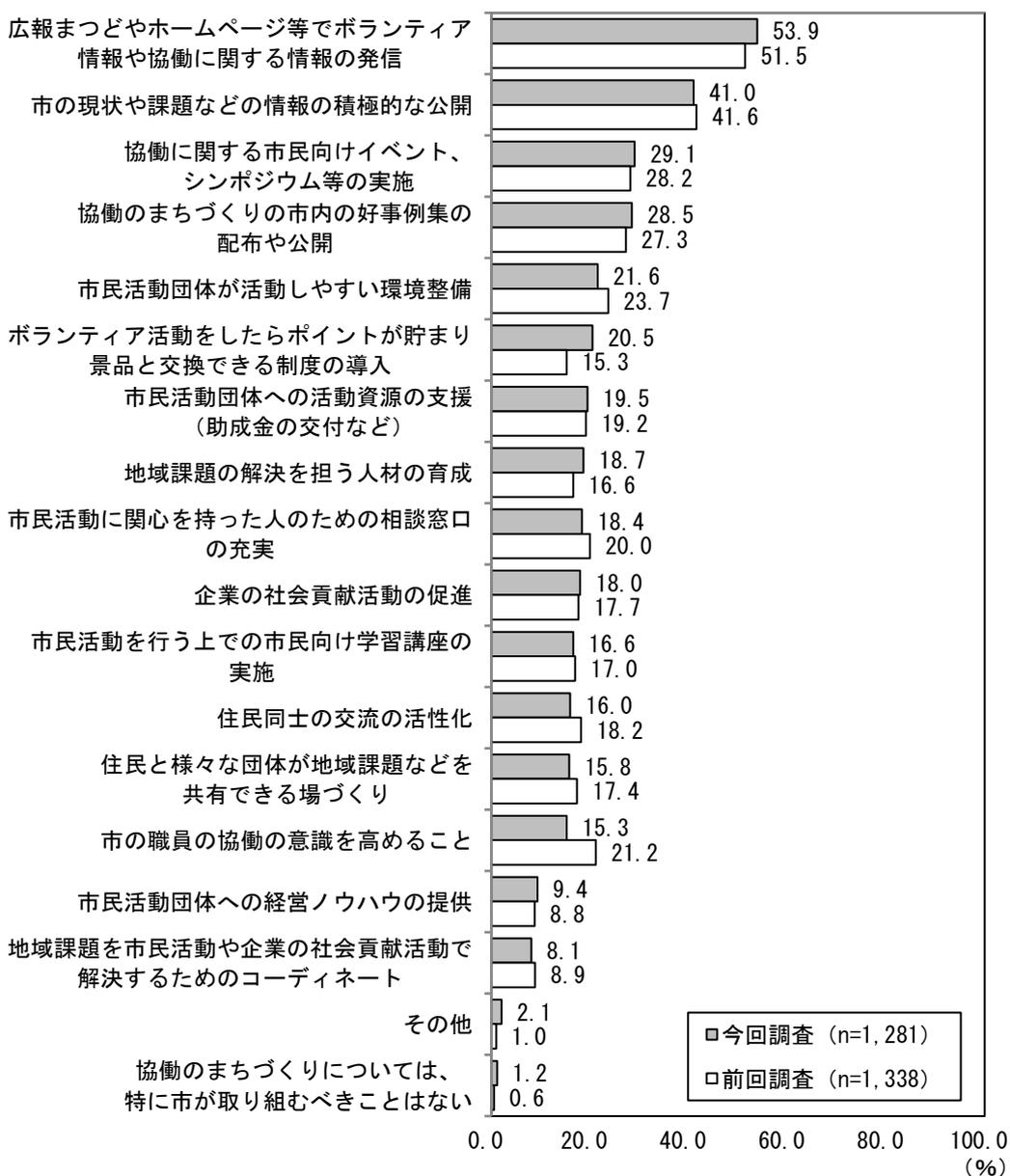


図1-51 施策へのニーズ（前回調査比較）

性別では、「女性」「男性」とともに「広報まつどやホームページ等でボランティア情報や協働に関する情報の発信」が最も高い。

年代別では、「40歳代」「50歳代」「60歳代」「70歳代」「80歳代以上」において「広報まつどやホームページ等でボランティア情報や協働に関する情報の発信」が最も高く、「20歳代」「30歳代」では「市の現状や課題などの情報の積極的な公開」が最も高い（表1-8）。

表1-8 施策へのニーズ（性別、年代別：上位10項目）

|     |        | n   | 広報まつどやホームページ等でボランティア情報や協働に関する情報の発信 | 市の現状や課題などの情報の積極的な公開 | 協働に関する市民向けイベント、シンポジウム等の実施 | 協働のまちづくりの市内の好事例集の配布や公開  | 市民活動団体が活動しやすい環境整備 |
|-----|--------|-----|------------------------------------|---------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------|
| 性別  | 女性     | 684 | 58.8                               | 37.9                | 29.8                      | 27.3                    | 22.7              |
|     | 男性     | 546 | 49.6                               | 46.3                | 29.7                      | 30.6                    | 21.4              |
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 35.7                               | 35.7                | 35.7                      | 42.9                    | 0.0               |
|     | 20歳代   | 93  | 34.4                               | 48.4                | 30.1                      | 19.4                    | 16.1              |
|     | 30歳代   | 139 | 41.7                               | 42.4                | 25.2                      | 27.3                    | 18.7              |
|     | 40歳代   | 171 | 54.4                               | 44.4                | 29.8                      | 29.8                    | 19.3              |
|     | 50歳代□  | 259 | 56.0                               | 41.7                | 27.8                      | 27.8                    | 23.2              |
|     | 60歳代   | 206 | 61.7                               | 46.6                | 39.3                      | 31.6                    | 25.2              |
|     | 70歳代   | 236 | 63.6                               | 36.0                | 28.0                      | 33.1                    | 23.3              |
|     | 80歳代以上 | 148 | 54.1                               | 33.8                | 23.6                      | 24.3                    | 24.3              |
|     |        | n   | ボランティア活動をしたポイントが貯まり景品と交換できる制度の導入   | 市民活動団体への活動資源の支援     | 地域課題の解決を担う人材の育成           | 市民活動に関心を持った人のための相談窓口の充実 | 企業の社会貢献活動の促進      |
| 性別  | 女性     | 684 | 21.1                               | 17.5                | 19.3                      | 18.4                    | 13.2              |
|     | 男性     | 546 | 20.0                               | 22.5                | 18.1                      | 19.6                    | 24.5              |
| 年代別 | 10歳代   | 14  | 50.0                               | 7.1                 | 21.4                      | 7.1                     | 35.7              |
|     | 20歳代   | 93  | 25.8                               | 14.0                | 15.1                      | 15.1                    | 17.2              |
|     | 30歳代   | 139 | 24.5                               | 20.9                | 12.2                      | 17.3                    | 20.9              |
|     | 40歳代   | 171 | 28.1                               | 21.6                | 20.5                      | 15.2                    | 21.1              |
|     | 50歳代□  | 259 | 22.0                               | 20.5                | 20.5                      | 21.6                    | 21.6              |
|     | 60歳代   | 206 | 16.5                               | 19.4                | 22.3                      | 21.8                    | 19.4              |
|     | 70歳代   | 236 | 15.3                               | 21.2                | 17.8                      | 19.9                    | 12.3              |
|     | 80歳代以上 | 148 | 15.5                               | 18.2                | 20.3                      | 15.5                    | 13.5              |

## 6. 市民活動の活性化、市民と行政の協働の推進、施策への提案や意見（自由回答）

最後に、今までお伺いしたことの他に、「協働のまちづくり」についてご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。（ご自由にお書きください）

市民活動の活性化や市民と行政の協働の推進、施策への提案や意見等について自由に記入してもらったところ、256人からの意見が寄せられた。それらの意見を分類し、主な意見を掲載した。なお、複数の意見が記入されているため、意見数の合計は256を超えている。

### ◇地域活動、市民活動、協働のまちづくり全般について（111件）

| 性別 | 年代     | 内容  |
|----|--------|---|
| —  | —      | 今後も市民活動に力を入れて頂きたいです。  |
| 女性 | 60歳代   | アンケートを進めて行くにあたり、松戸市、協働、参加等の再認識をさせて頂きました。無関心は良くありませんね。   |
| 男性 | 70歳代   | 協働との表現が、いいのか悪いのか、わかるようで、協働って何？明るい豊かなまちづくりは必要です。町内のそうじ、皆でやれる時間、工夫をつくりましょう。参加したい人だけでも良いが、子供を中心に参加しやすい町づくり。活気あふれる町づくりとしましょう。   |
| 女性 | 50歳代   | アンケート調査票が届くまで「協働のまちづくり条例」が施行されていることを知りませんでした。早速、松戸市HPを拝見し、活動、支援の内容がわかりました。豊かで活力のある地域社会の実現には「協働のまちづくり条例」を市民に周知する必要があると思いました。   |
| 男性 | 60歳代   | 建築分野を専門としており、まちづくりのワークショップがあれば参加してみたいと思います。   |
| 男性 | 80歳代以上 | 若い時期は勤務地が他県でもあり、市のまちづくり市政について広報まつどを見るぐらいでした。町内の活動についても地区の班長の順番が有るぐらいで市民活動の経験は有りませんでした。今後増々社会の内容も変化する中、地域の課題が多様化する為協働のまちづくりへの個々の活動が市民生活を送るのに重要だと考えます。  |
| 女性 | 60歳代   | バス旅行に2回参加した事により、話をするキッカケとなったので、活用されると良いと思います。そこから、発展していくかも！！  |
| 男性 | 70歳代   | 協働のまちづくりの条例など知らない方が多いようです。もう少し広報活動を拡大してほしいと思います。  |
| 女性 | 60歳代   | 孤立しやすい世の中になってきているとつくづく感じています。助け合いの気持ちで普段から進めていこうと思っておりますが、周りの年配者ほど口が悪く一方的すぎるあまり意見もまとまらず、身勝手な人が多いなあと感じて見えてしまうこの頃です。協力したい気持ちはありますが、体調面で無理のない程度であれば考えて見ても？と思ってます。ますます松戸市が明るく楽しい町に進めていけたらと願っています。 |
| 男性 | 30歳代   | 協働参加へのきっかけ作りがとても重要だと思います。   |
| 女性 | 50歳代   | PTAでの参加などでお世話になっていました。市民センターなど利用させて頂いたり、ありがとうございます。   |
| 女性 | 60歳代   | 自宅近くに大人食堂みたいな物が出来ると助かります。フードバンクも団体を通してからしか申し込みなくて、しかも1回限りと言われたので利用できていません。生活が本当に苦しいので助けて欲しいです。外国人との交流の場があるなら行ってみたいです。文化、学習、芸術の活動があるならその情報を知りたいです。   |
| 女性 | 40歳代   | 活動に参加する側もやりがいや楽しさ・地域の絆など、得るものがあり、なおかつその活動が社会貢献・地域の方々の喜びにつながるといった、Win-Winの協働まちづくりの構築を期待しています。  |
| 女性 | 60歳代   | 今まで仕事をしていて忙しかったため町内の事にも市のことにもあまり関心がなかったというのが正直なところですが、今後はもう少し関心をもっていこうかと思っております。長く住んでいる場所なので。   |

|    |      |  |
|----|------|--|
| 男性 | 40歳代 | 市民の皆様が行っている活動を知る機会がとてま少なく感じています。情報をもっとSNSなどで発信いただけると良いと思います。若者に届くと親世代にも広がるのでは。知っている人しか知らないから、知らない人にも目にするきっかけが多ければ多いほど、より良い活動につながるし、やってみようという動機にもつながると思います。期待しています。 |
| 女性 | 50歳代 | 行政や民間企業だけでは、解決できない課題は多い。人生100年時代で高齢者が増える中、健康寿命を伸ばし、生きがいを持って生きられるよう、高齢者が市民活動に参加する取組を推進していくとよいのではないかな。   |
| 男性 | 40歳代 | 人口が増え、これまでより住みやすい環境が求められると思います。交流の機会をつくるのもいいと思いますが、協働することでその先に何があるのか見えやすくわかりやすくする必要がありそうです。予算も限られてると思いますので、市民にできる限り有効に使用していただきたいです。宜しくお願いいたします。                    |
| 男性 | 30歳代 | 必要性は分かりましたが、自身がそこに関わるきっかけが分かりにくい、今の自分自身には関わるきっかけがない活動としました。  |
| 男性 | 50歳代 | 地域のお祭りや神輿等の運営が廃れていっている気がします。お祭りや神輿は、地域交流を図る絶好の機会だと思います。それらの運営に、助成金等があれば良いと思います。  |

## ◇生活環境の整備について (28件)

| 性別 | 年代     | 内容   |
|----|--------|--|
| 女性 | 70歳代   | 街路樹の落葉がすごい、家の前の人で掃除する人、しない人、強制的ではないものの皆で協力してほしいと思います。広報で呼び掛けをしてほしい。  |
| 女性 | 60歳代   | 漠然ですが…街での日常生活において、スムーズに活動出来る街全体の環境作り(移動、子育て、商業・医療の連携)、ほんの少しの余裕が生まれると助かるし、助け合えるゆとりも生まれる。  |
| 女性 | 60歳代   | 空き家が多く、雑草や木が生い茂っていて、危険な場所があり気になります。  |
| 男性 | 80歳代以上 | 雨が降ると道路に水がたまる為(一部)修理をお願いしたいです。   |
| 男性 | 50歳代   | 松戸と一駅違いの金町駅周辺の開発を見ると、松戸にも可能性を感じずにはいられません。地盤や権利等の問題があるとは思いますが、松戸、金町間の新駅を誘致し、駅周辺の開発を進めれば、おたかの森や柏の葉以上に魅力的な街になると思います。都心から最も近い場所にある広大な土地の有効活用は、松戸市民だけに限らず多くの方々の悲願と感じております。また、好立地の広大な土地の有効活用は、現在の松戸駅周辺の大規模開発を可能にする要因となります。 |

## ◇情報提供、広報活動について (24件)

| 性別 | 年代   | 内容   |
|----|------|--|
| 女性 | 50歳代 | 広報などに活動の様子などの写真を多めに掲載するのいいと思います。紙面に載ることで、活動している人の実績として残るので、達成感を得られると思います。  |
| 男性 | 40歳代 | 具体的にまちづくりに参加され、活躍している方の紹介(年齢層や活動内容など)をまつどの広報紙などで掲載していただけると、具体例がわかり参考になるかと思います。   |
| 女性 | 50歳代 | 広報まつどが、新聞を取っていないと、目にする機会が無くなる。わざわざ市民センターなどに行くことがないので、市の情報がわからない。有益なこともあると思うので、手軽に手にすることが出来るの良いのではと思います。  |
| 女性 | 20歳代 | 通学の際に通る掲示板はよく覚えています。今はデジタル化が進み、いずれはなくなってしまうかもしれませんが、私にとっては情報源となっています。デジタルとアナログのどちらからも情報が得られたら一番広まるのかと考えています。今回のアンケートのおかげで協働のまちづくりを初めて知ったので調べてみたいと思います。   |
| 女性 | 30歳代 | アンケートを見るまで知らなかったことが多すぎました。そして、同じような方がきっとたくさんいるのだらうと思います。広報の仕方には、残念ながら限りはあるかと存じますが、紙媒体だけでなく、YouTubeやTikTokなどでも手軽に、なんとなく見ていれば分かるような発信があると現代向けでよいのではと感じました。 |

## 第2章 調査結果（I 市民）

### ◇衛生面について（5件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 女性 | 40歳代 | 駅に向かう通り沿いでは、季節の街路樹の落ち葉等が敷地内に入ってくるだけでなくゴミも入ってきます。仕方なく自宅付近のゴミをゴミの日について拾って捨てる様にした所タバコの吸い殻がまだに多く驚きました。他にも考えられないようなゴミがよく落ちています。ゴミは個人の認識の違いがあるかもしれませんが、市民放送等のアナウンスや掲示板等で何か一言でも耳にしたり目にしたりしてもらう方法がないのでしょうか？松戸市はゴミの分別も細かい割に分類表には載っていない品目も多い様に思います。子供達は目にする物に興味を示してしまいます。ゴミの落ちてる町を歩いてもらいたくないです。 |

### ◇市政全般について（18件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 女性 | 40歳代 | 他の土地に住んでみると松戸市の良さが改めて分かります。行政の丁寧さは今後も続けて頂きたいですし、地元の祭りには個人のキッチンカーが並ぶのもとても良いと思います。もっと地元の事業、特に若い人の挑戦を支えて頂きたいです。若い事業がもっと元気になりますように。   |
| 女性 | 40歳代 | 新松戸の開発の方針が全く見る事ができない。ネガティブ情報ばかり目につきますが、住人としては、本当に早く開発を進めてほしいです。反対意見は出しやすいですが、賛成意見を言える機会はありません。地域の安全を進めているのであれば、自信を持って開発をアピールしていただきたいです。流山市は南流山開発について計画段階からとても詳細に公表されています。そのような形をとってもらえると住民も安心できると思います。また、信号のタイミングが悪く、渋滞の原因になっているように思います。そういった住民の意見が出せる企画には大いに参加したいです。 |
| 女性 | 40歳代 | 小金原商店街の中にあるいこの場のような人がふと立ち寄って集まれる場所を増やしてほしい。人が集まりやすいように飲食店の出店やキッチンカーなどが来る日があったら、イベントに関係なく人が集まったり外に出るきっかけになる。高齢者や子供の交流の場になることなども期待できると思う。（健全な）外に出る楽しみを増やしてほしいです。  |
| 女性 | 50歳代 | 協働のまちづくりに該当するかわからないが、ゴミの仕分けが他地域に比べて難解な為、当市に住みたくない又はもどりたくないと言う話を聞くことが多い この問題が、解決出来たら住民も増えて住みやすい市と感じてもらえると思う。   |

### ◇子育て・若者支援について（5件）

| 性別 | 年代   | 内容   |
|----|------|--|
| 男性 | 20歳代 | 子供への支援は手厚く感じているが多胎児への支援も手厚くしていただけるとありがたいと思う。   |
| 女性 | 40歳代 | 制服リサイクル、学習支援にニーズがあると感じます。制服リサイクルは鎌ヶ谷市、学習支援は野田市で実施されていると聞きますが、大変助かっているとの声があります。塾に通えない受験生（中3）、部活動にかかる経費等で困っている生徒のために学習の場の提供や学用品等のリサイクルなど支援をお願いします。これらを地域の問題ととらえ、支える必要性の重要性を市から発信して下さい。 |

### ◇防犯・防災について（6件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 女性 | 50歳代 | 松戸市は治安が悪いイメージがあると言われます。実際毎日のように犯罪情報が届きます。安心して暮らせるまちづくりができるとよいなと思います。                                      |
| 男性 | 50歳代 | 住宅の耐震の助成が見つけられず、市内の防災について、第三者が相談にのってくれる相談窓口などがあれば安心して生活出来ると思いました。交通安全対策や歩道などインフラ全般を確認してくれる団体があると良いと思いました。 |

## ◇市役所・職員について（4件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 男性 | 50歳代 | まず市の職員が率先して活動して、その成果を市の職員にプレゼンしてほしい。市長や市議会での成果でなく、職員の成果がわかりやすく、具体的に発表する場があると良いと思う。ちゃんと数値で表せればなお良しかな |

## ◇高齢者福祉について（6件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 女性 | 40歳代 | こちら辺の地域は、お年寄りの人が多いので、介護支援にも力を入れていただきたいと思います。介護はとても大変です。介護している人が、少しでも楽になるような地域作りをしてほしいと思います。 |
| 女性 | 50歳代 | 高齢者が公共の場（市街、駅等）で迷ったり、困ったりしている場面を多く見るようになりました。目の前の困っている人に声をかける、という行動を促すような啓蒙活動を推進して頂きたいです。   |

## ◇障害者福祉について（2件）

| 性別 | 年代   | 内容   |
|----|------|--|
| 男性 | 40歳代 | 身体障害者をもっと安全に活動できる街づくりをしてほしい。特に駅等のバリアフリー化に力を入れてほしい。 |

## ◇スポーツについて（2件）

| 性別 | 年代     | 内容  |
|----|--------|---|
| 男性 | 80歳代以上 | 市立松戸高校のスポーツ強化。松戸市には私立高校が少なくスポーツが弱い。市立船橋高校はスポーツ全体に力を入れている様子。 |

## ◇今回のアンケートについて（13件）

| 性別 | 年代   | 内容  |
|----|------|---|
| 女性 | 50歳代 | 「協働のまちづくり」を知らなかったので知る(キッカケ)になりました。                          |
| 女性 | 50歳代 | このアンケートを回答するに当たり、どのような活動が「協働」といえるのか、具体的な例がないので分かりにくいと思いました。 |
| 男性 | 70歳代 | このようなアンケート調査は市民の声を聞く為にこれからも続けて下さい。                          |

## ◇その他（36件）

| 性別 | 年代     | 内容  |
|----|--------|---|
| 女性 | 70歳代   | 今の場所に住まいを持って50年を迎えました。近くの皆様に大変感謝しております。これからまだ元気で何事もなく暮らすことを目標にしております。1日1日を大切に頑張っ生きていきたいと思っています。   |
| 女性 | 80歳代以上 | 図書館をもう少し年寄りが過ごしやすいようにしてもらえれば…と思っています。立って読むのは足腰が少々つらいです。またもう少し新しい本も入れてもらえれば…こんな勝手な事を考えながら利用させてもらっています。   |
| 女性 | 70歳代   | 若い人のアルバイト先を闇バイトより増やして下さい。昔は大学生がスーパー等の品出しをおばさん達と仲よく働いていました。ジェネレーションギャップが進み高齢者を金銭を奪うターゲットにするなんて考えられません。真面目に働けばいい人生が送れるという時代は、気持ちもゆったりしていたと思います。収入がない人は追いつめられていくでしょうから…。 |

## Ⅱ 市民活動団体

### 1. 回答団体プロフィール

#### （1）活動分野・最も力を入れている活動分野

活動分野については、前回同率2位の「学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が最も高く、次いで「子どもの健全育成」、「保健、医療または福祉の増進」となっている。

また、最も力を入れている活動分野については、前回調査では「保健、医療または福祉の増進」が最も高いが、今回調査では「学術、文化、芸術またはスポーツの振興」が最も高くなっている（図2-1）。

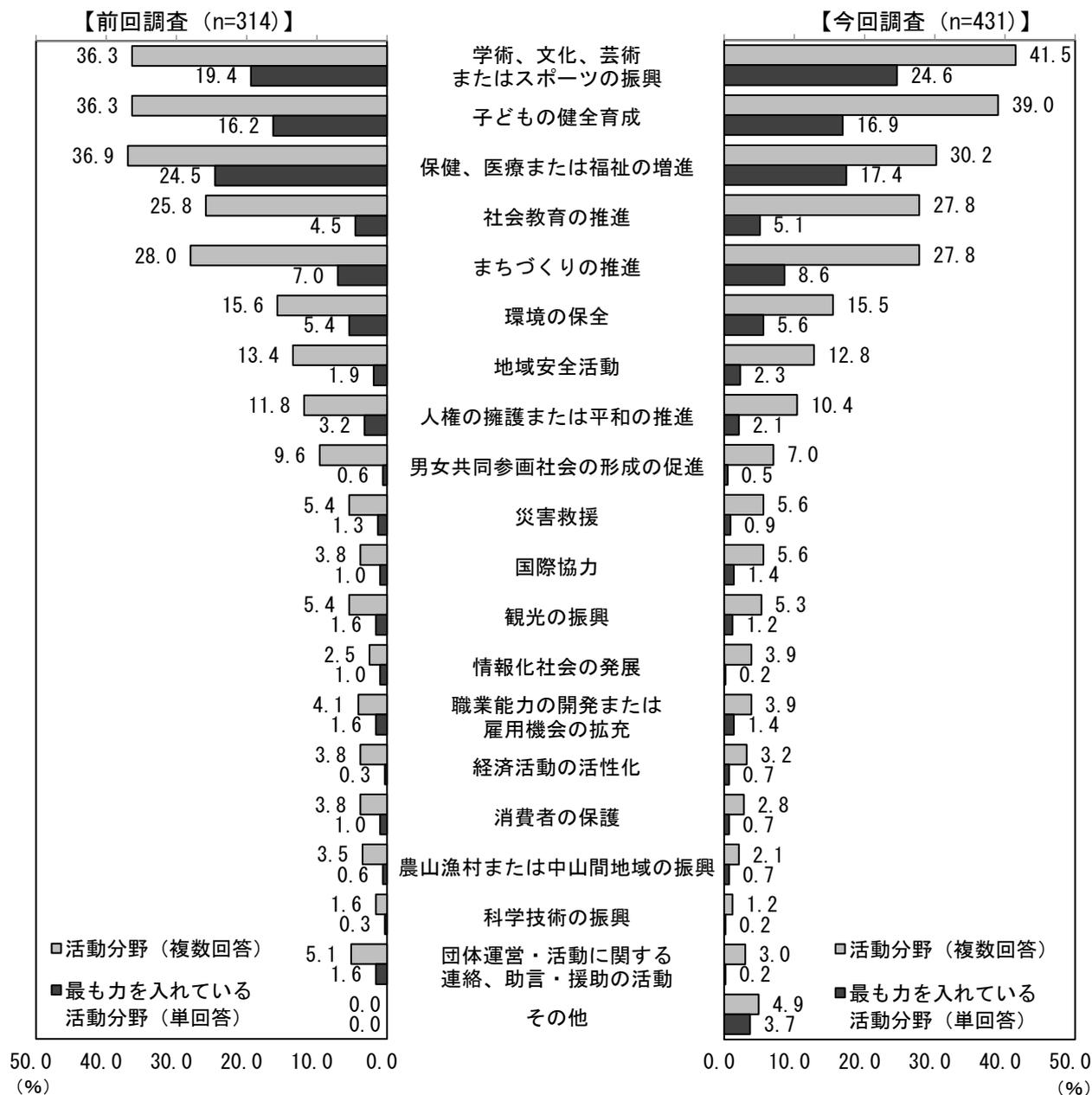


図2-1 活動分野・最も力を入れている活動分野（前回調査比較）

（2）団体属性と一番多い会員の年代

団体属性については、「法人格のない任意団体」が60.1%で最も高く、次いで「特定非営利活動法人（NPO法人）」が18.8%となっている。

一番多い会員の年代については、「70代」(31.3%)が最も高く、次いで「50代」「60代」(18.6%)となっており、「50代以上」が7割台半ばを占める（図2-2）。

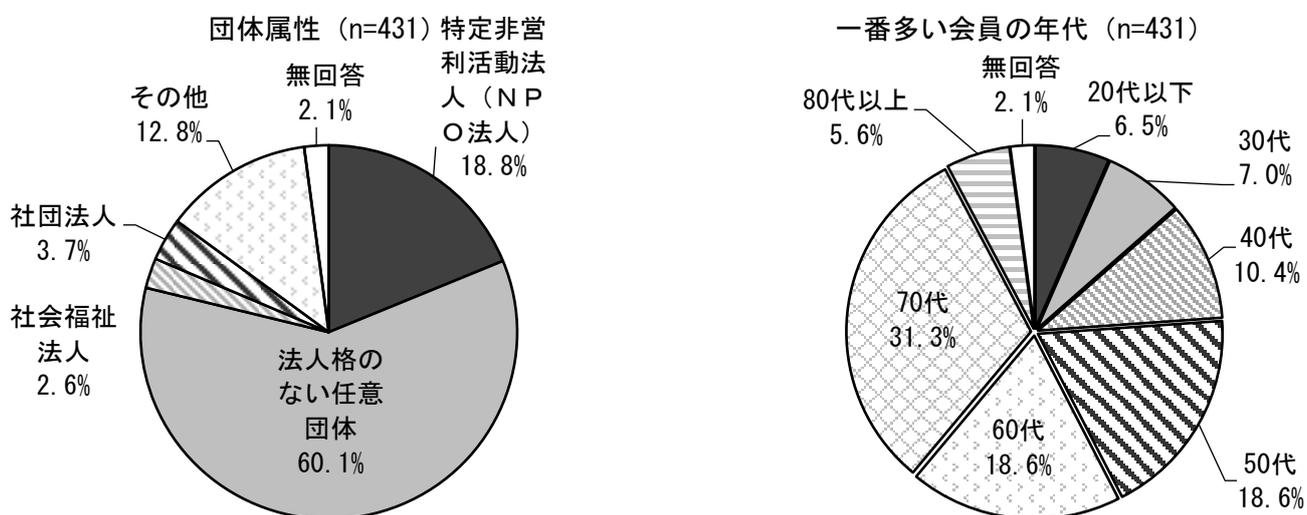


図2-2 【左】団体属性、【右】一番多い会員の年代

（3）個人会員（賛助会員含む）数、有給職員数

個人会員数については、「49人以下」が7割を占める。

有給職員数については、「0人」(80.5%)が最も高く、「1人以上」は1割台半ばにとどまっている（図2-3）。

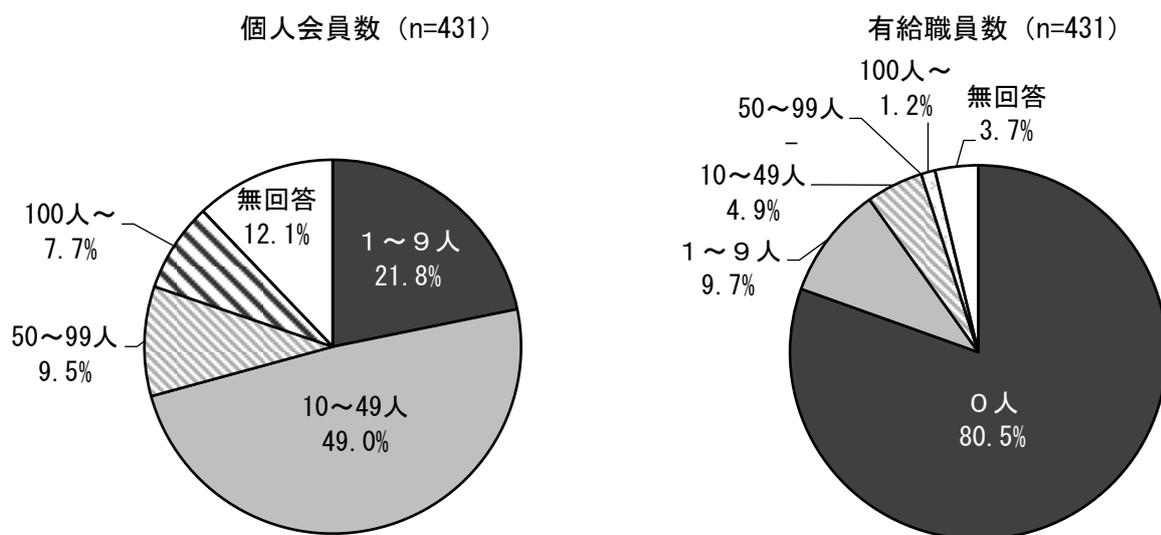


図2-3 【左】個人会員数【右】有給職員数

（4）活動頻度、活動年数

活動頻度については、「週に1, 2回程度」（27.4%）が最も高く、「週に5回以上」（13.9%）と「週に3, 4回程度」（6.7%）を合わせた週1回以上が約5割と高くなっている。

活動年数については、「20年以上」が約4割を占め最も高い（図2-4）。

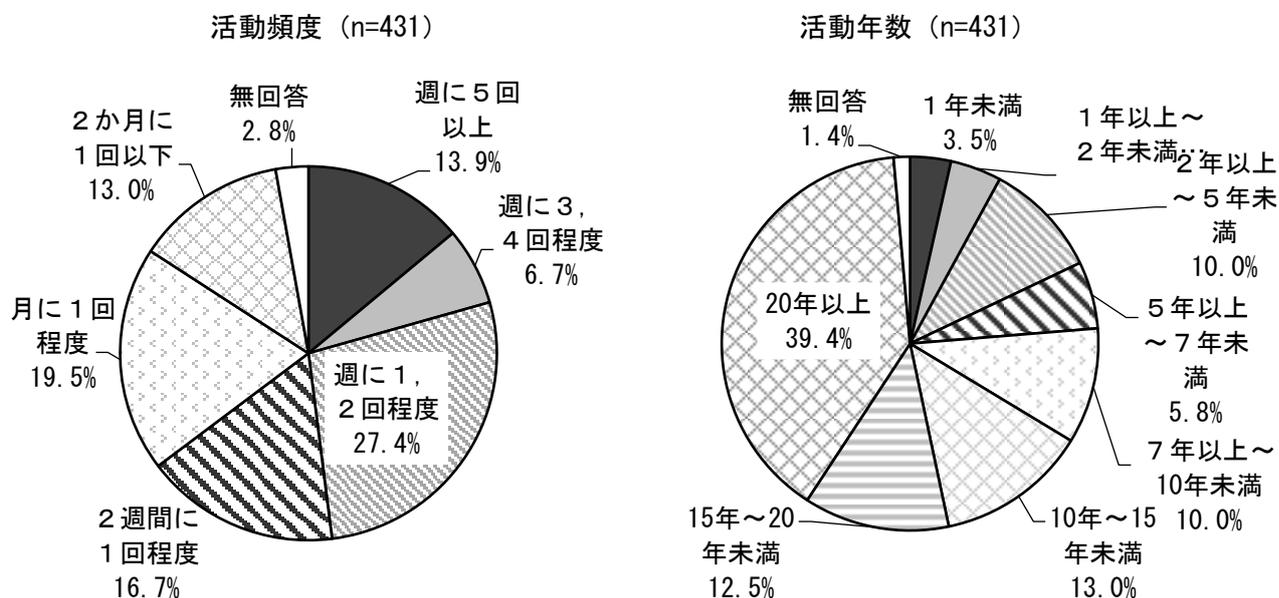


図2-4 【左】活動頻度、【右】活動年数

（5）日常的な活動場所

日常的な活動場所については、「団体の事務所（会員の自宅を含む）」（23.9%）が最も高く、次いで「松戸市内の市民センター」（15.1%）、「まつど市民活動サポートセンター」（11.1%）となっている（図2-5）。

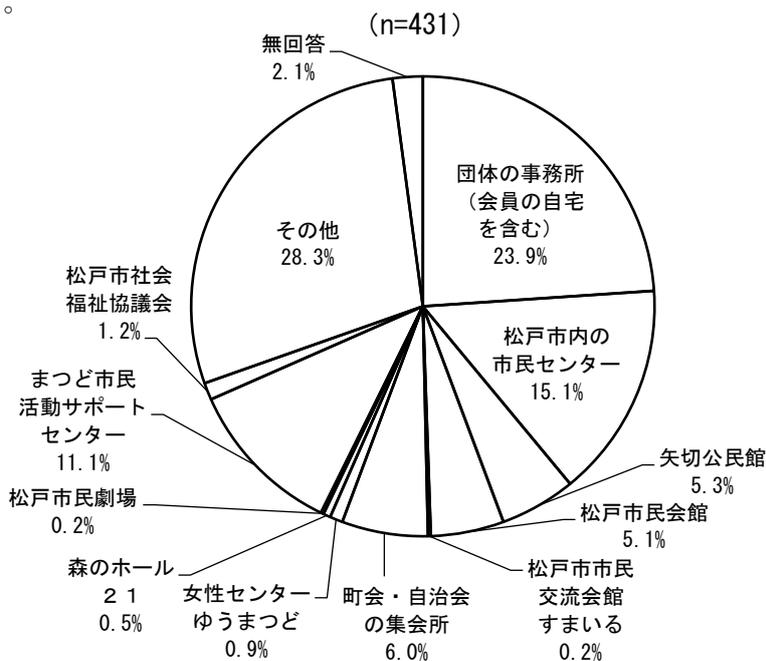


図2-5 日常的な活動場所

（6）主な活動エリア

主な活動エリアについては、「複数エリア」（16.8%）が最も高く、次いで「矢切地区」（16.7%）、  
「千葉県内」（10.9%）、「本庁地区」（10.0%）となっている（図2-6）。

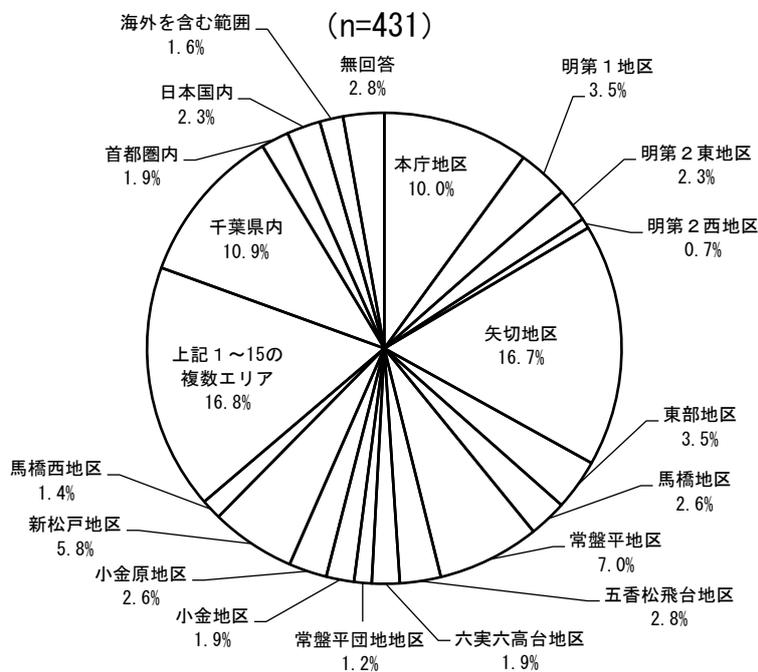


図2-6 主な活動エリア

## 2. 活動運営状況

### （1）最も大きな収入源

問1 貴団体の収入源のうち、最も大きなものは何ですか（○は1つだけ）

最も大きな収入源については、「会員からの会費」(53.8%)が最も高く、次いで「自主事業による収入」(13.0%)、「行政からの助成や補助による収入」(11.6%)となっている。

また、行政・企業を問わず「助成や補助による収入」は15.5%、行政・企業を問わず「委託事業による収入」は4.6%となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、若干の増減と順位の入替えはあるものの、上位3項目は概ね同様の結果となっている（図2-7）。

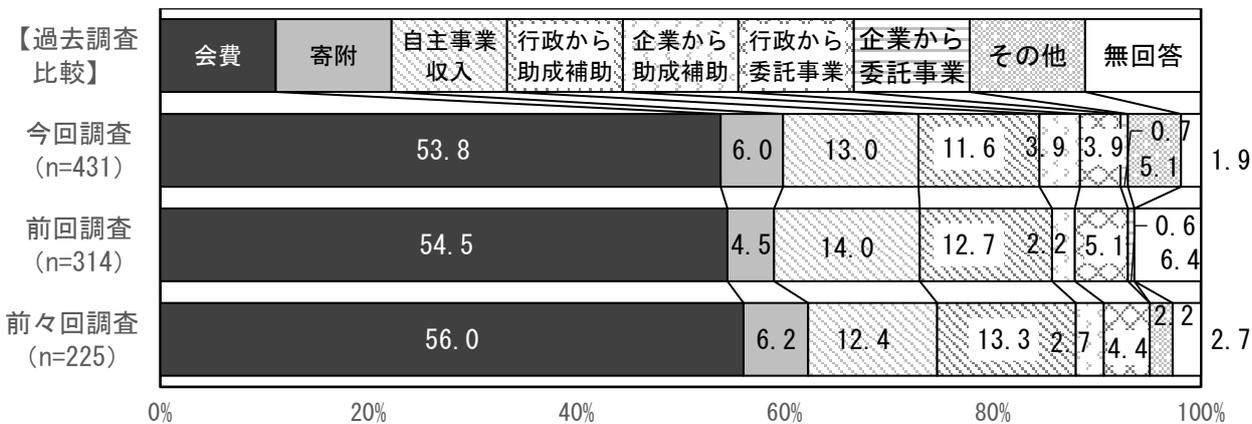


図2-7 最も大きな収入源（前回・前々回調査比較）

### （2）直近の総支出額

F7 貴団体の、直近の事業年度の総支出額（財政規模）は、およそどのくらいでしたか。（○は1つだけ）

直近の事業年度の総支出額については、「10万円未満」(39.4%)が最も高く、次いで「10万円以上50万円未満」(23.4%)であり、「50万円未満」が6割を超える。

また、前回調査と比較すると、「10万円未満」が約8ポイント上昇し、「50万円未満」が約7ポイント低下している（図2-8）。

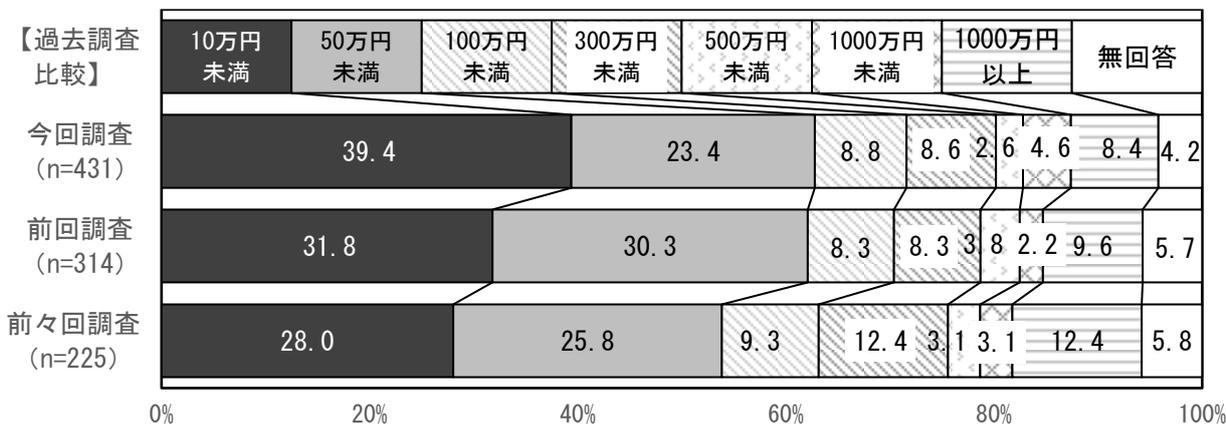


図2-8 直近の事業年度の総支出額（前回・前々回調査比較）

（3）活動方針のとおり活動できたかどうか

問2 貴団体の活動は、貴団体の活動方針のとおりに活動できていますか。（○は1つだけ）

活動方針のとおり活動できたかどうかについては、「大いにできた」「どちらかといえばできた」を合わせた「肯定的評価」が83.1%、「どちらかといえばできなかった」「全くできなかった」を合わせた「否定的評価」が7.7%となっている。

また、前回調査と比較してみると、「大いにできた」「どちらかといえばできた」を合わせた「肯定的評価」が微増している（図2-9）。

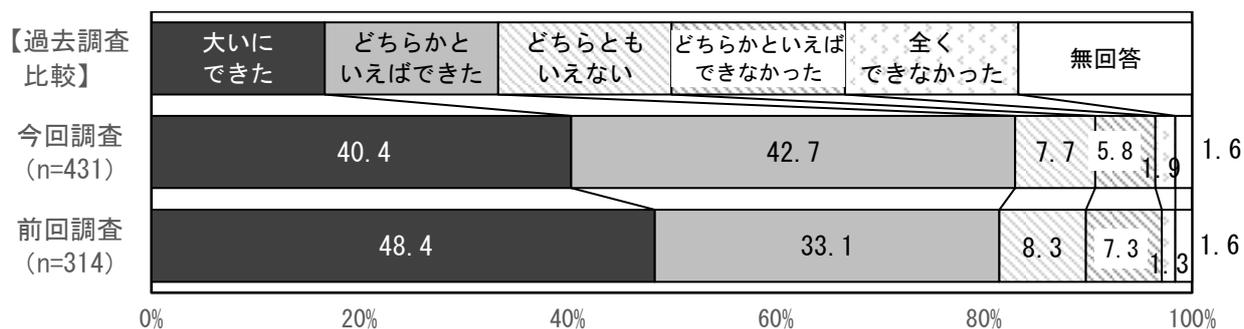


図2-9 活動方針のとおりに活動できたかどうか（前回調査比較）

（4）団体の活動上の課題

問3 貴団体の活動上の課題は何ですか。（○はいくつでも）

団体の活動上の課題については、「団体内全体が高齢化している」（42.7%）が最も高く、次いで「特定の個人に責任や作業が集中する」（32.3%）、「役員や職員が不足している」（25.8%）、「活動資金が不足している」（24.8%）、「リーダーや後継者が育たない」（22.5%）、「参加してくれるボランティアが不足している」（21.1%）となっている（図2-10）。

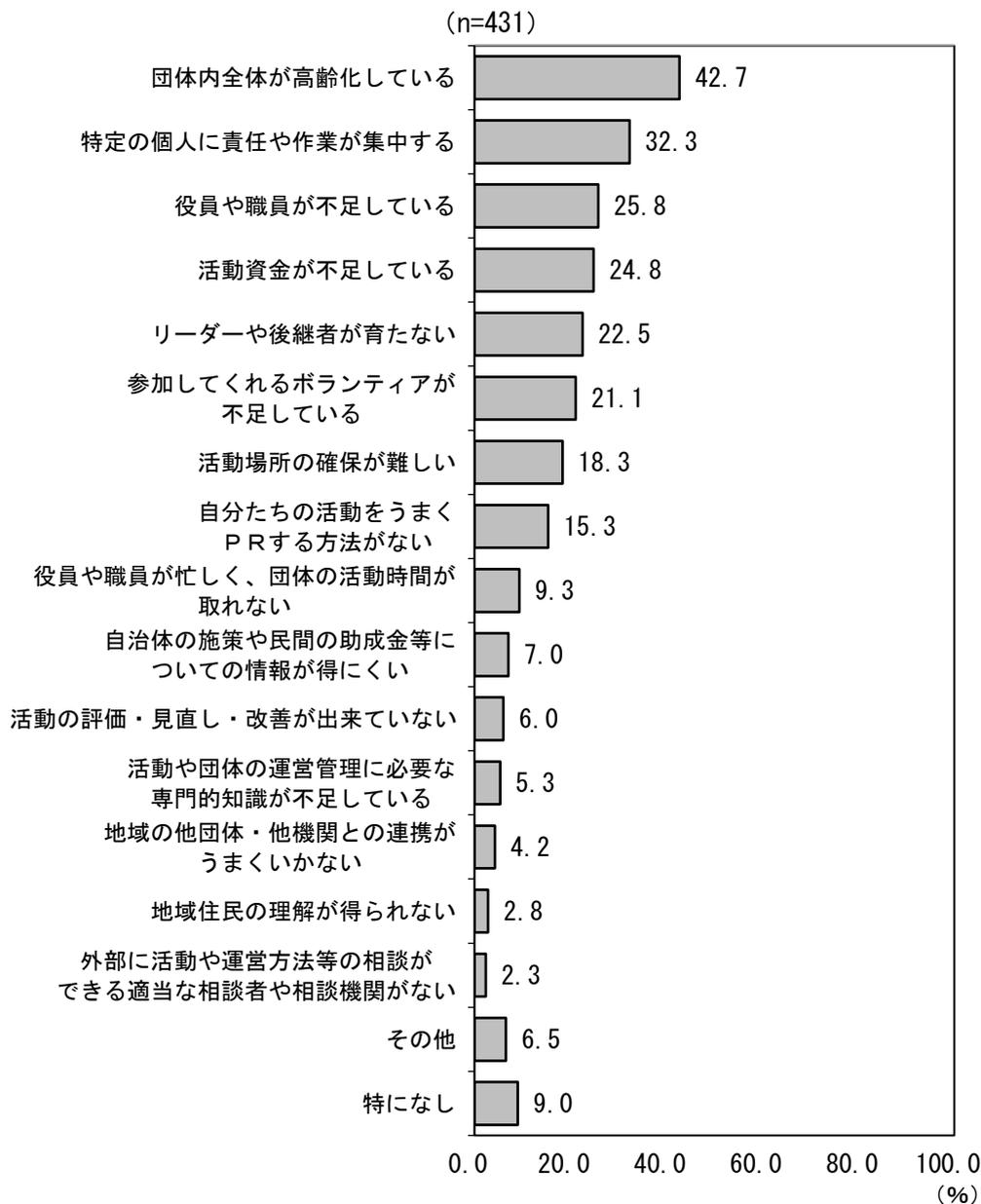


図2-10 団体の活動上の課題

（5）新型コロナウイルス感染症を踏まえた活動状況

問4 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類から5類に移行しましたが、現在貴団体の活動はどのような状況にありますか。（○は1つだけ）

新型コロナウイルス感染症の5類へ移行後の団体の活動状況については、「活動への影響はほとんどなく、感染拡大前と変わらず活動している」（40.6%）が最も高く、次いで「活動が休止又は低下していたが、感染拡大前の水準に戻りつつある」（29.5%）、「活動が休止又は低下していたが、徐々に再開している」（11.1%）となっている（図2-11）。

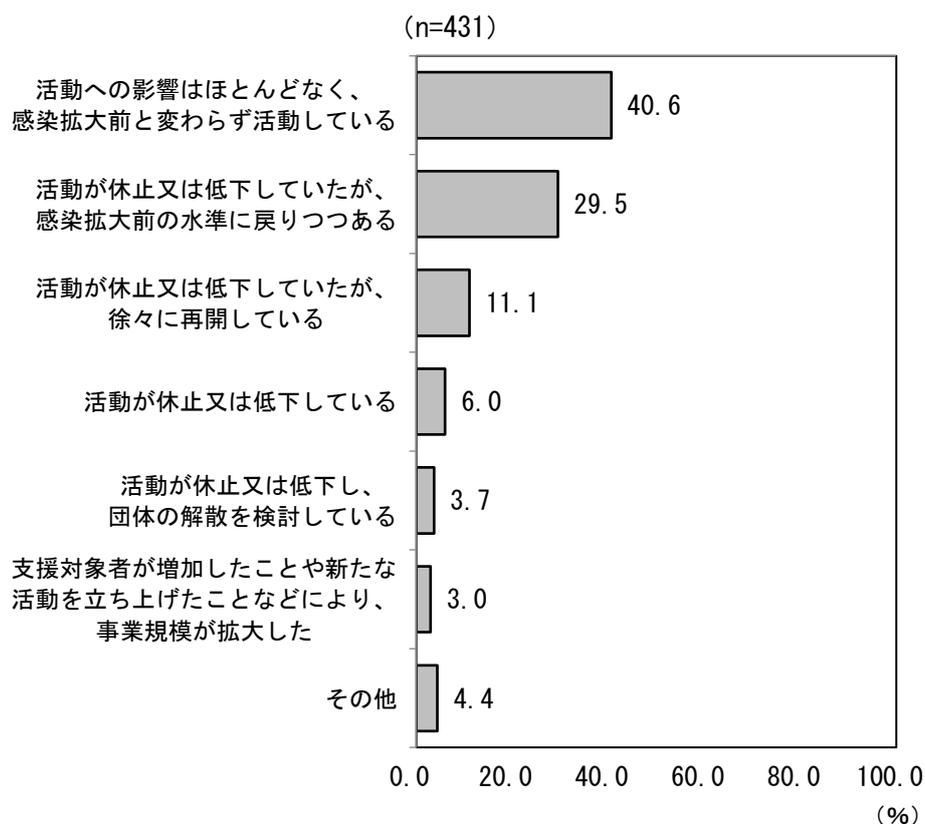


図2-11 新型コロナウイルス感染症を踏まえた活動状況

（6）団体運営でのスキルアップの必要性

問5 団体運営にあたり、スキルアップの必要を感じていることはありますか。  
（〇はいくつでも）

団体運営でのスキルアップの必要を感じていることについては、「会員や協力者の増やし方」（39.7%）が最も高く、次いで「効果的な広報」（29.7%）、「人材育成」（29.5%）、「資金調達」（22.0%）となっている（図2-12）。

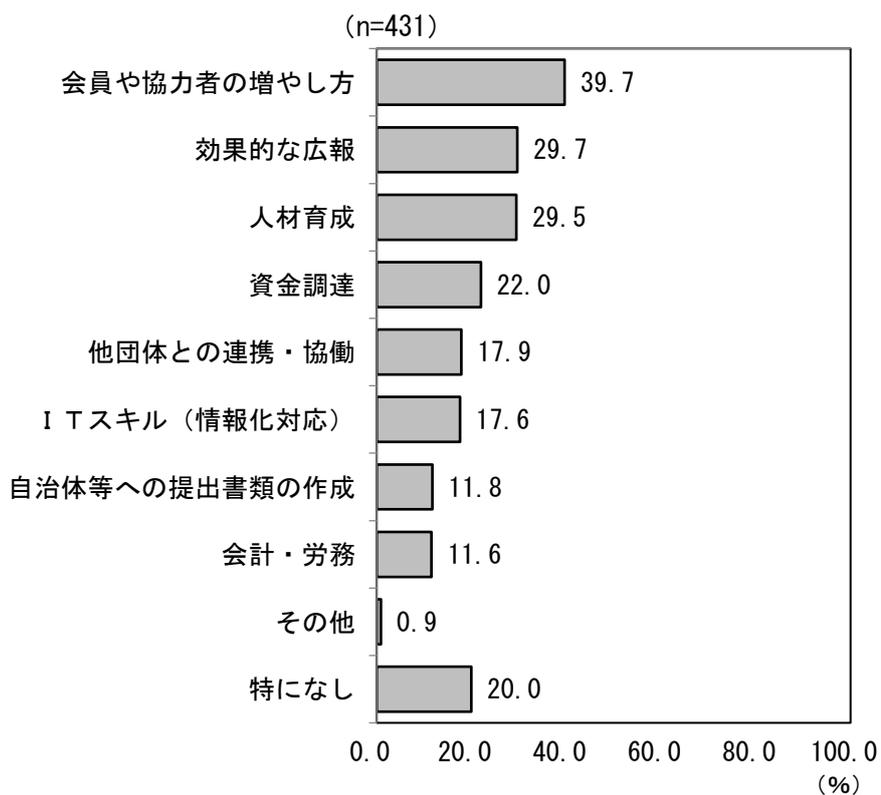


図2-12 団体運営でのスキルアップの必要性

（7）SDGsに関連した取組の実施状況

問6 国連が採択した「持続可能な開発目標」（SDGs）に関して、貴団体が取り組んでいるSDGsの分野はありますか。（〇はいくつでも）

SDGsに関連して団体が取り組んでいる分野については、「すべての人に健康と福祉を」（39.4%）が最も高く、次いで「住み続けられるまちづくりを」（29.5%）、「SDGsに関連した取組は行っていない」（17.2%）、「質の高い教育をみんなに」（16.9%）、「平和と公正をすべての人に」（13.5%）、「人や国の不平等をなくそう」（11.4%）となっている（図2-13）。

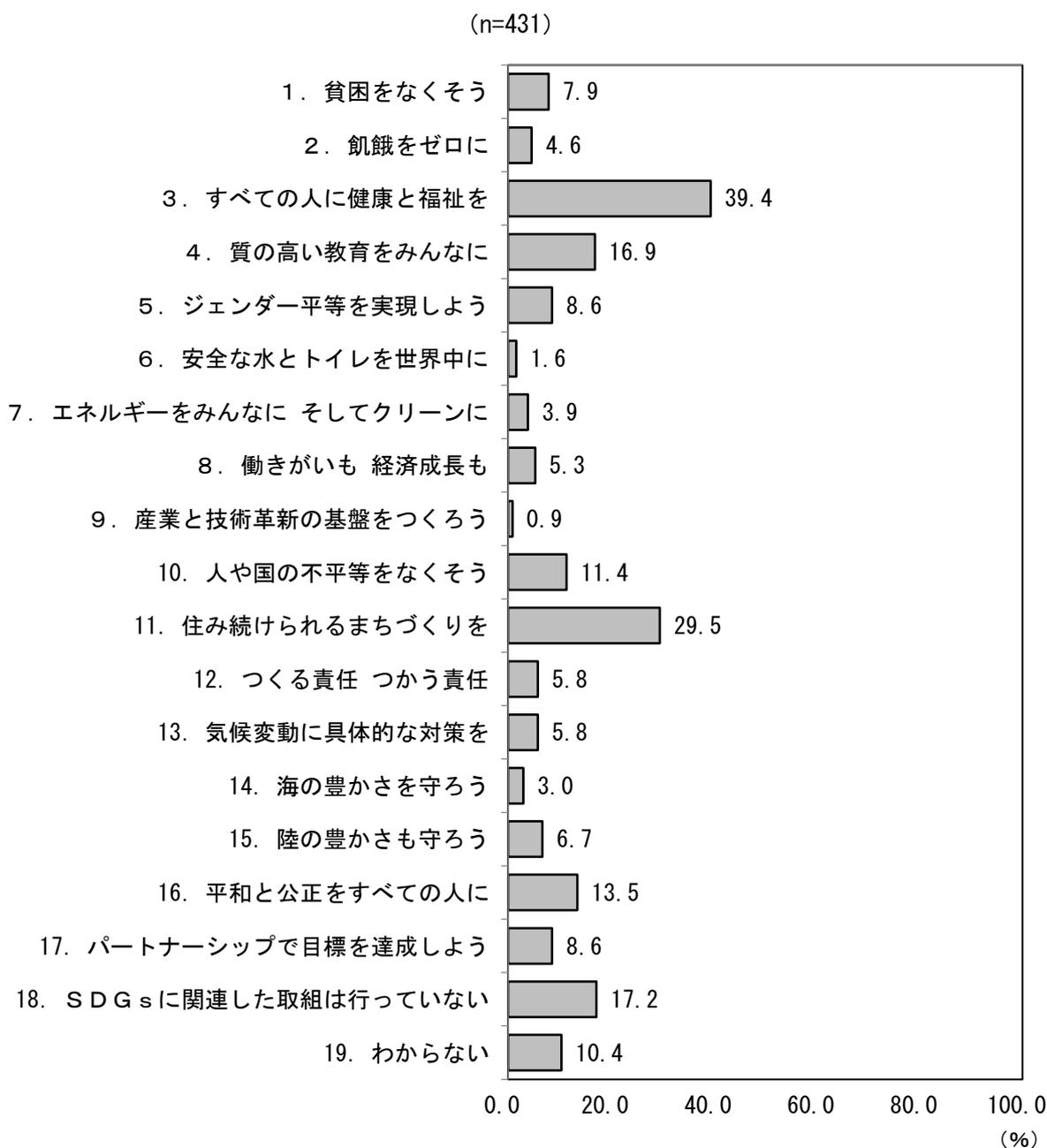


図2-13 SDGsに関連した取組の実施状況

### 3. 団体の情報発信

#### （1）情報発信手段

問7 貴団体の活動を地域や社会に伝えるため、どのように情報発信をしていますか。  
（〇はいくつでも）

団体の活動を伝えるための情報発信の手段としては、「チラシの作成」（49.4%）が最も高く、次いで「ホームページ」（42.7%）、「X（旧twitter）、Facebook等のSNS」（29.7%）、「松戸市の公共施設での情報の掲示」（27.6%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「松戸市の公共施設での情報の掲示」「ミニコミ誌への情報掲載」「松戸市の「広報まつど」への情報掲載」が10ポイント以上低下している（図2-14）。

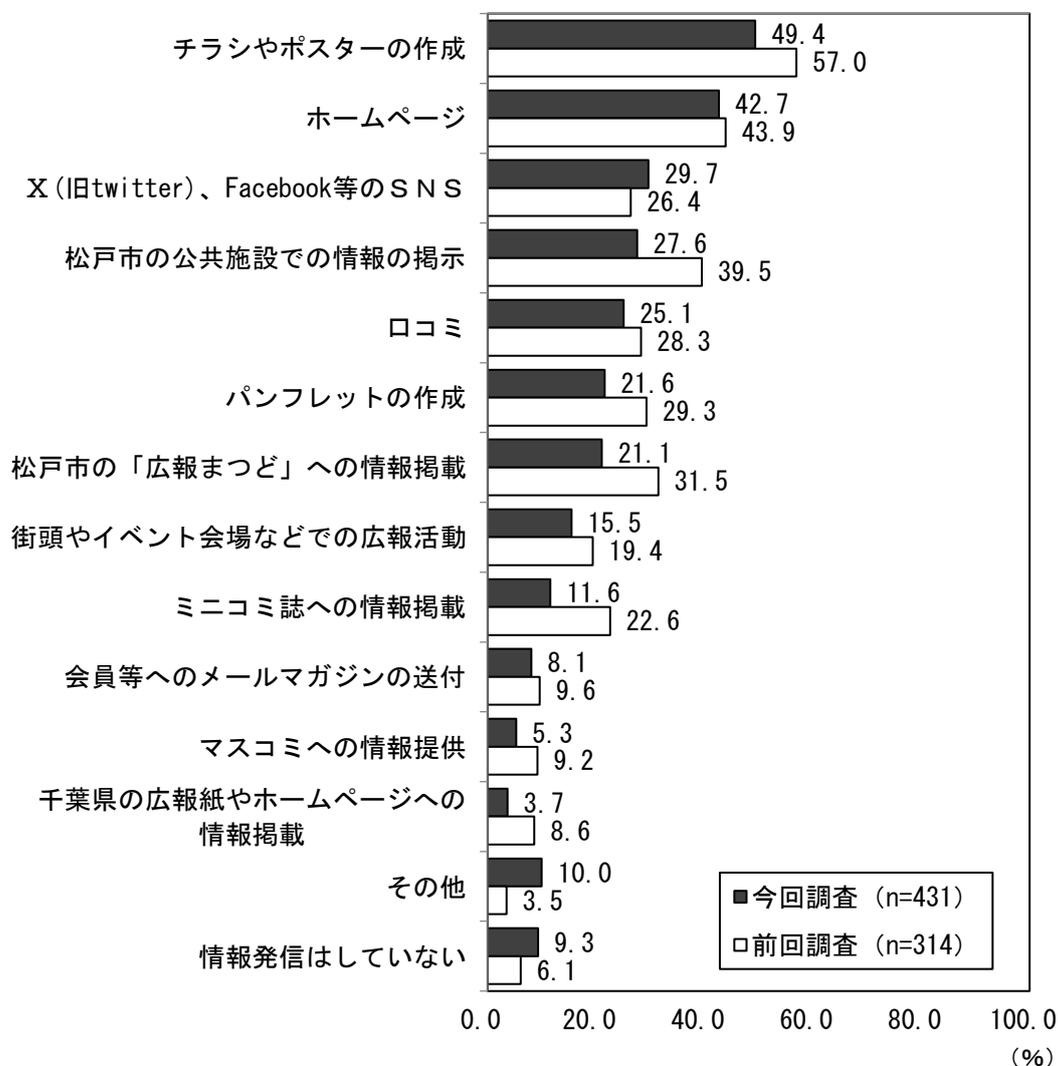


図2-14 情報発信手段（前回調査比較）

（2）発信情報の内容

問8 貴団体では、どのような内容の情報発信をしましたか。（〇はいくつでも）

情報発信した内容については、「活動の紹介あるいは報告」（61.5%）が最も高く、次いで「イベント（行事）の告知」（54.8%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「イベント（行事）の告知」が約9ポイント低下している（図2-15）。

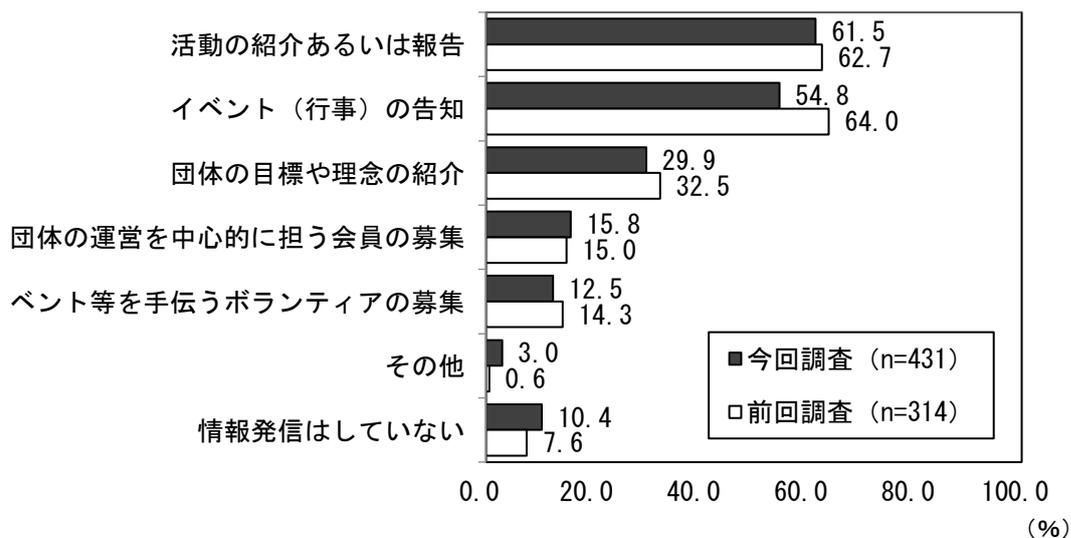


図2-15 発信情報の内容（前回調査比較）

（3）情報発信で困っていること

問9 貴団体では、情報発信にあたり、困っていることがありますか。（○はいくつでも）

情報発信で困っていることについては、「発信しても、市民からの反応に乏しいこと」（31.3%）が最も高く、次いで「情報発信の活動に関わることのできる人の数が限られていること」（28.3%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「特に困っていることはない」が約9ポイント上昇している。一方、「情報発信にかかる費用が負担になること」が約9ポイント、「発信しても、市民からの反応に乏しいこと」が約8ポイント、「情報発信の手段があまりないこと」が7ポイント、「情報発信に利用できる場所が限られてしまうこと」が約6ポイント低下している（図2-16）。

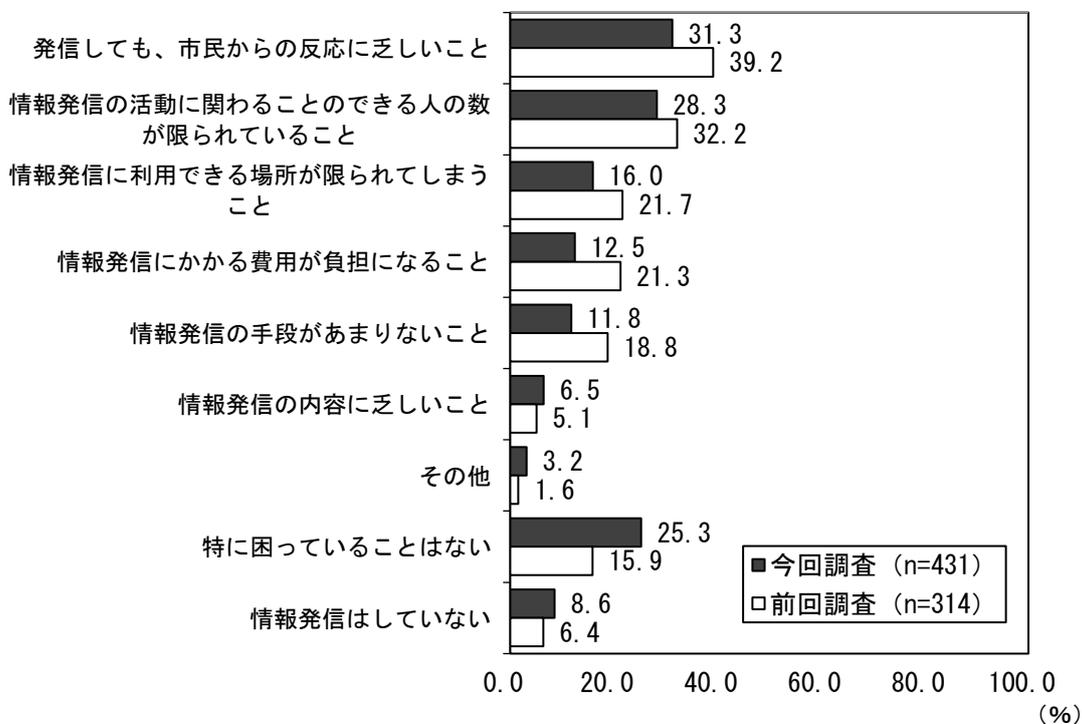


図2-16 情報発信で困っていること（前回調査比較）

## 4. 協働のまちづくりと市の施策

### （1）松戸市における協働のまちづくり

#### ①認知状況

問10 松戸市では「協働のまちづくり」を進めています。貴団体は、この取り組みをご存知ですか。（○は1つだけ）

市が協働のまちづくりを推進していることについては、「知っている」が57.3%、「知らない」が40.1%となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、前々回から「知っている」が約15ポイント低下しているが、前回とはほぼ同様の結果である。同様に、「知らない」は、前々回から約13ポイント上昇しているが、前回とはほぼ同様の結果である（図2-17）。

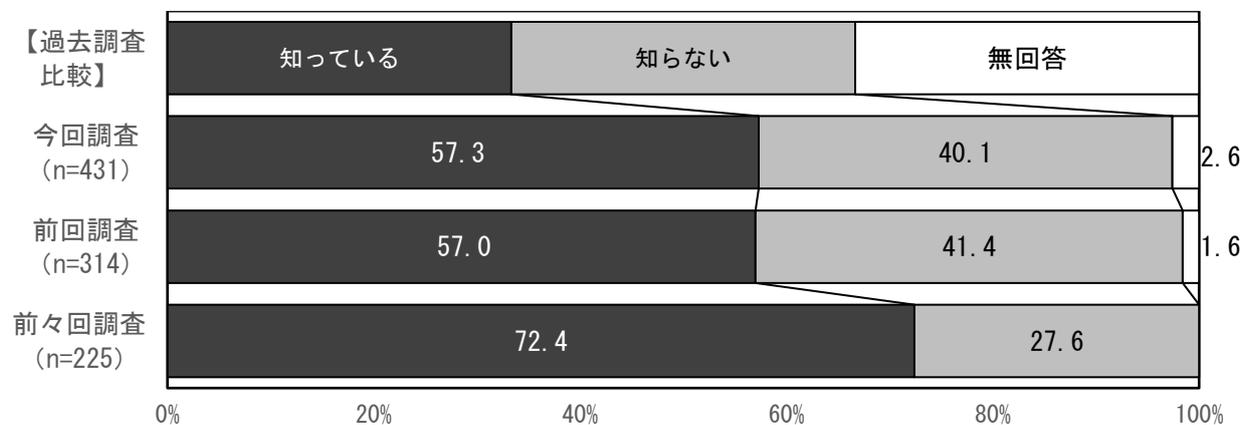


図2-17 協働のまちづくりの認知状況（前回調査比較）

②協働のまちづくりへの共感

問11 貴団体は、「協働のまちづくり」に共感できますか。（○は1つだけ）

協働のまちづくりに共感できるかについては、「大いに共感できる」「どちらかといえば共感できる」を合わせた「肯定的評価」が76.1%である一方、「どちらかといえば共感できない」「まったく共感できない」を合わせた「否定的評価」は2.1%にとどまっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「肯定的評価」が増加傾向にある（図2-18）。

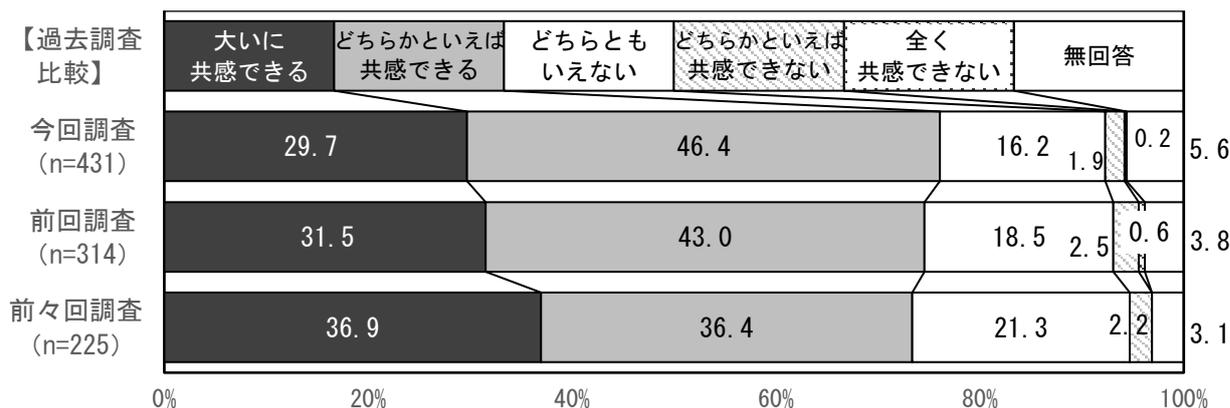


図2-18 協働のまちづくりへの共感（前回・前々回調査比較）

③進捗評価

問12 貴団体は、松戸市において市民、市民活動団体、民間事業者及び市の協力・連携が図られ、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

問12-1 貴団体が松戸市において協働のまちづくりが進んでいないと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

松戸市において協働のまちづくりが進んでいるかについては、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」が38.5%、「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた「否定的評価」が18.8%となっている。前回調査と比較すると、「肯定的評価」が約2ポイント上昇し、「否定的評価」が約8ポイント低下している。

また、「否定的評価」の81団体に進んでいないと思う理由を聞いたところ、「松戸市全体に協働のまちづくりの意識が浸透していないから」（56.8%）が最も高く、次いで「協働のまちづくりの事例がどのようなものか分からないから」（50.6%）となっている。また、前回調査と比較すると、「時間や労力がかかるから」が約8ポイント、「協働のまちづくりの事例がどのようなものか分からないから」が約7ポイント上昇している。一方、「松戸市全体に協働のまちづくりの意識が浸透していないから」が約11ポイント低下している（図2-19）。

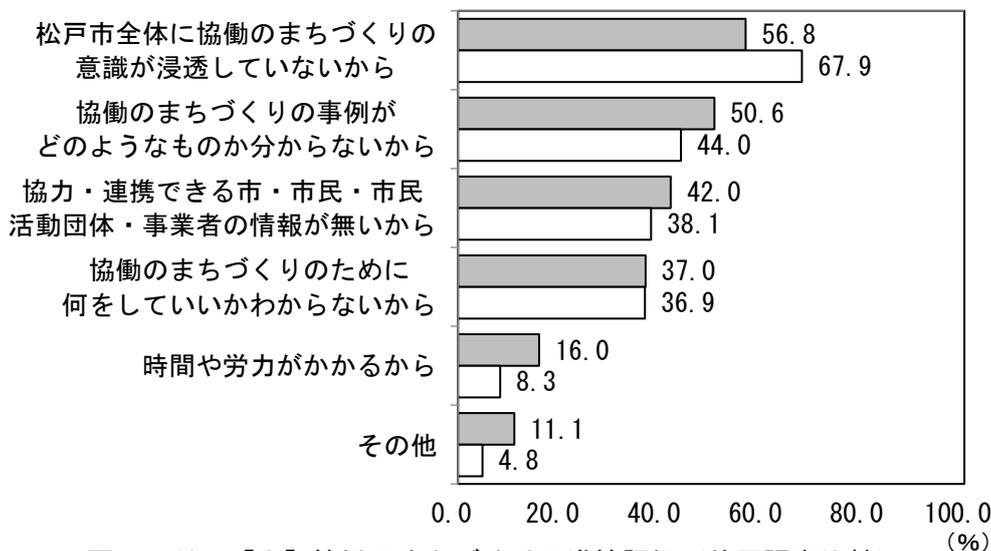
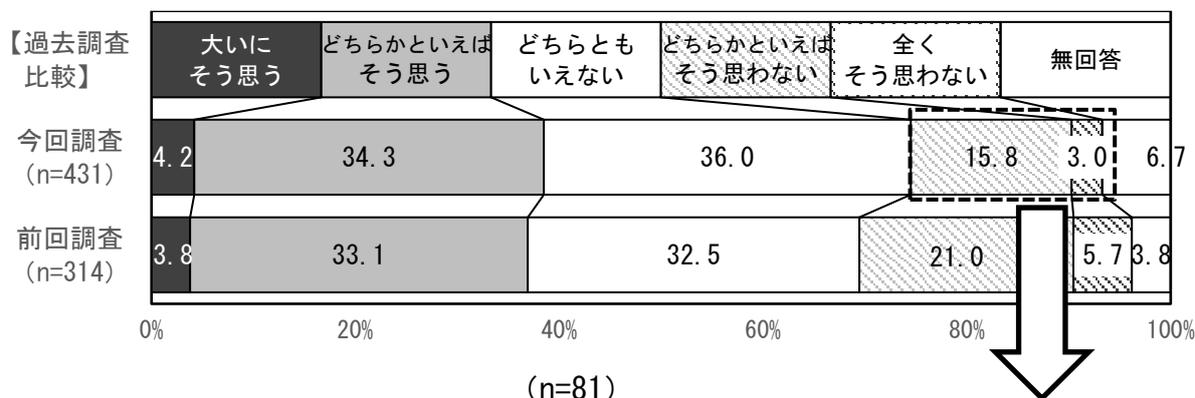


図2-19 【上】協働のまちづくりの進捗評価（前回調査比較）、  
【下】進んでいない理由（前回調査比較）

（2）松戸市「協働事業提案制度」

①活用状況

問13 貴団体で、協働事業提案制度を使ったことがありますか。（○は1つだけ）  
 問14 協働事業提案制度を使わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

松戸市「協働事業提案制度」の活用状況については、「現在又は過去に使ったことがある」が6.3%、「ない」が91.4%となっている。

また、「ない」と回答した394団体に使わない理由を聞いたところ、「『協働事業』制度を知らなかったから」、「手続きが面倒だと思うから」（29.4%）が最も高く、次いで「申請する余裕がないから（構成員の不足など）」（25.1%）、「行政と協働しなくても、活動できるから」（21.8%）、「自分たちの活動テーマの場合、松戸市のどの担当課と組めばよいのか分からないから」（20.3%）となっている（図2-20）。

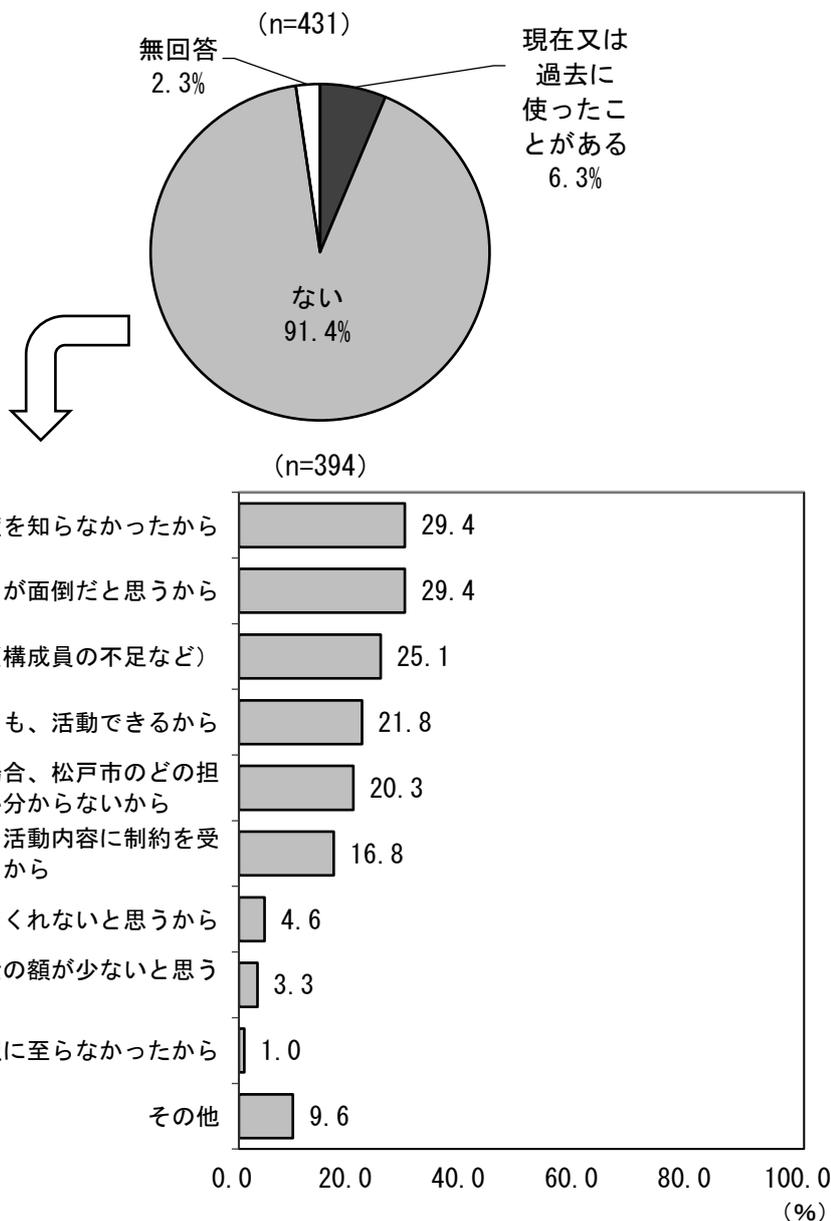


図2-20 【上】松戸市「協働事業提案制度」の活用状況、【下】使わない理由

②良かったこと、課題に感じたこと

問13-1 協働事業提案制度を使ってみて、貴団体にとって良かったこと、課題に感じたことは何ですか。（〇はいくつでも）

松戸市「協働事業提案制度」について「現在又は過去に使ったことがある」と回答した27団体に良かったことを聞いたところ、「市の職員と知り合う機会ができた」（77.8%）が最も高く、次いで「団体の社会的な信用度が上がった」（48.1%）、「事業に必要な資金を確保できた」（40.7%）となっている。

また、課題に感じたことは、「書類（申請書、報告書）の作成が煩雑だった」（37.0%）が最も高く、次いで「補助率があり、自己資金の確保が大変だった」（18.5%）となっている（図2-21）。

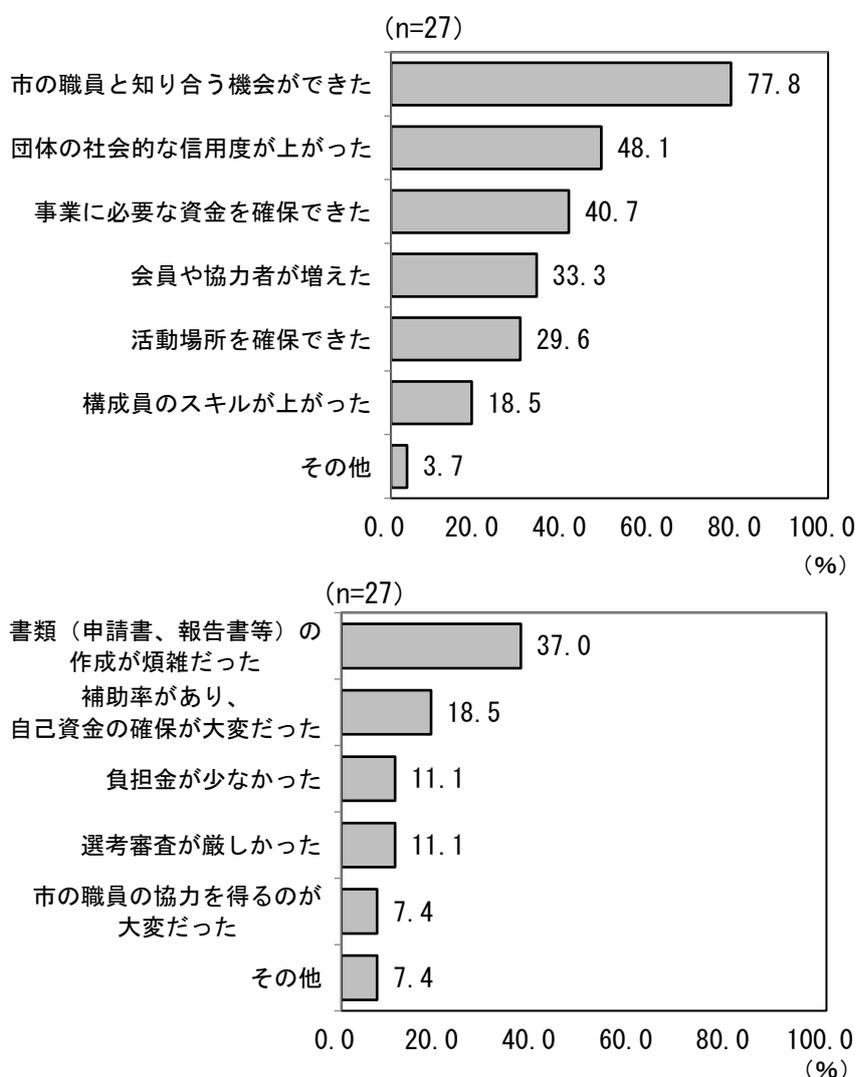


図2-21 松戸市「協働事業提案制度」の評価  
 【上】良かったこと、【下】課題に感じたこと

（3）松戸市「市民活動助成金」

問15 貴団体で、松戸市市民活動助成金を受けたことがありますか。（○は1つだけ）  
 問17 松戸市市民活動助成金を受けない理由は何ですか。（○はいくつでも）

松戸市「市民活動助成金」の活用状況については、「現在又は過去に受けたことがある」が12.8%、「ない」が85.2%となっている。

また、「ない」と回答した367団体に受けない理由を聞いたところ、「『市民活動助成制度』を知らなかったから」（36.2%）が最も高く、次いで「手続きが面倒だと思うから」（30.2%）、「申請する余裕がないから（構成員の不足など）」（24.3%）となっている（図2-22）。

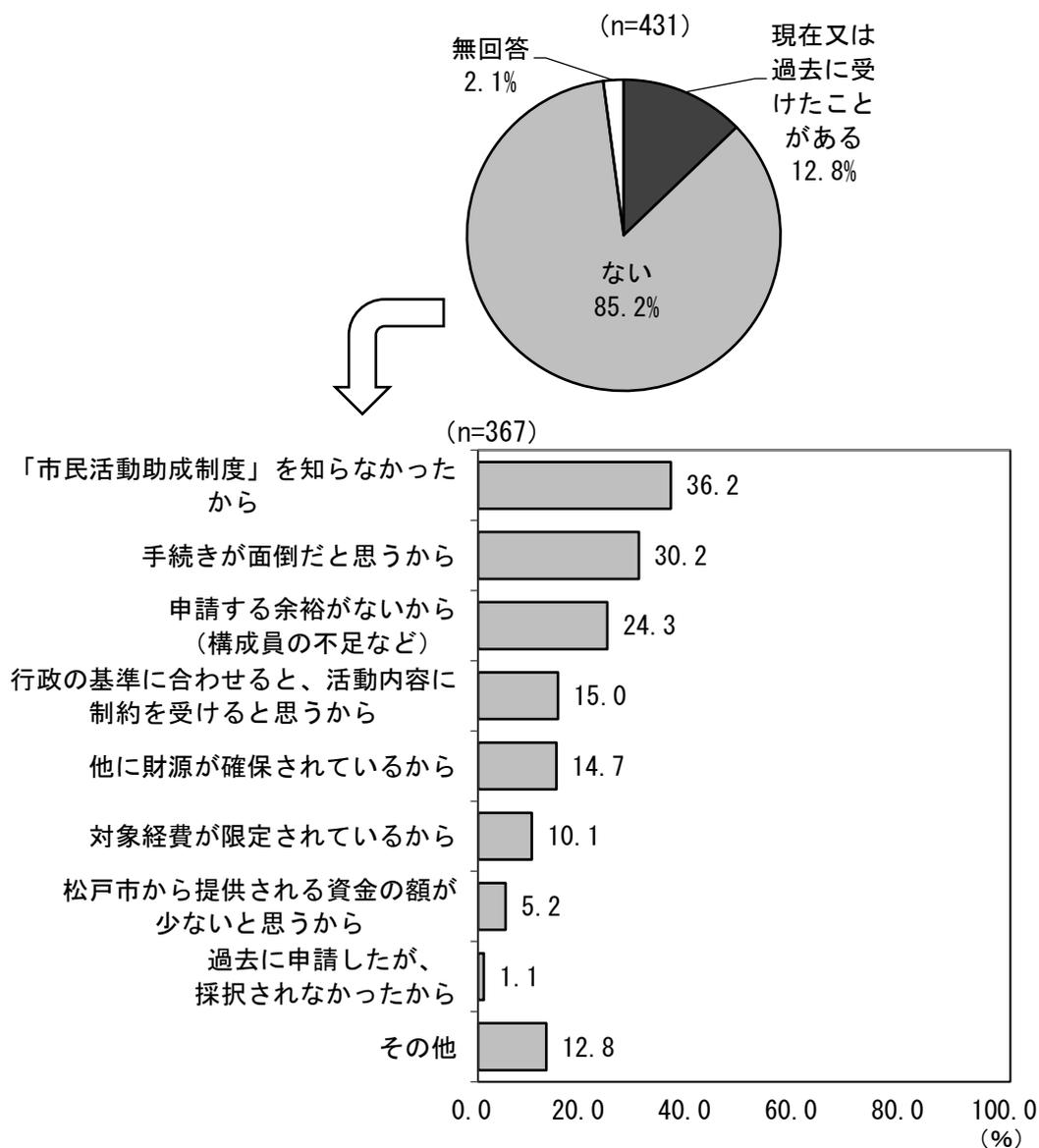


図2-22 【上】松戸市「市民活動助成金」の活用状況、【下】受けない理由

②良かったこと、課題に感じたこと

問15-1 助成金を受けて、貴団体にとって良かったこと、課題に感じたことは何ですか。  
 (〇はいくつでも)

松戸市「市民活動助成金」について「現在又は過去に受けたことがある」と回答した55団体に良かったことを聞いたところ、「事業に必要な資金を確保できた」(60.0%)が最も高く、次いで「事業の立ち上げに役立った」(34.5%)、「事業の質が向上した」(32.7%)、「公共施設を無料で使用できた」(30.9%)となっている。

また、課題に感じたことは、「書類（申請書、報告書等）の作成が煩雑だった」(40.0%)が最も高く、次いで「対象経費が限定されている」(34.5%)となっている（図2-23）。

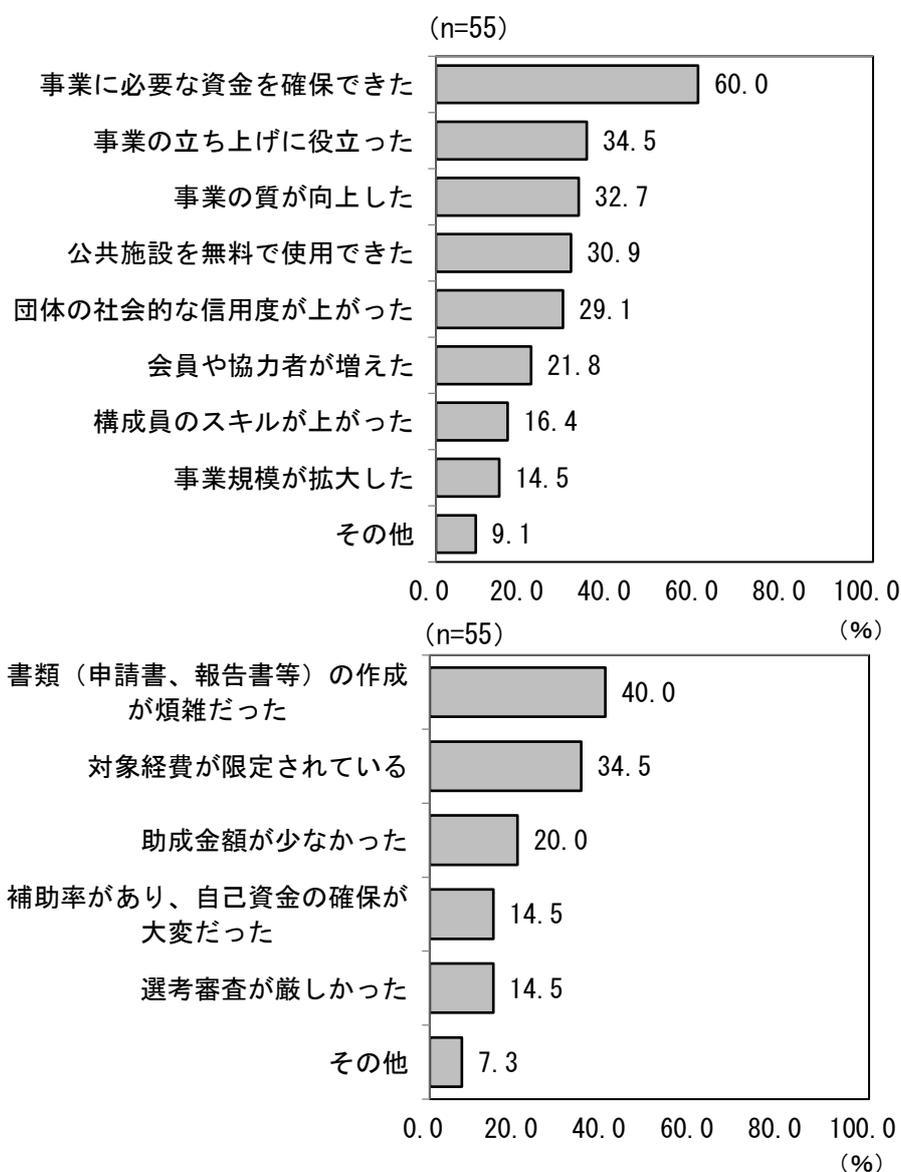


図2-23 松戸市「市民活動助成金」の評価  
 (【上】良かったこと、【下】課題に感じたこと)

③「市民活動助成制度」活用後の事業展開

問16 「市民活動助成制度」を活用した事業はどのような展開がありましたか。（○は1つだけ）  
 問16-1 事業が縮小または中止となった理由は何ですか。（○はいくつでも）

「市民活動助成制度」を活用した事業でどのような展開があったかについては、「拡大して事業を行っている」「継続して事業を行っている」を合わせた「肯定的評価」が76.4%、「事業を中止した」「縮小して事業を行っている」を合わせた「否定的評価」が21.8%となっている。

事業が縮小または中止となった理由は、「人手が足りないため」（58.3%）が最も高く、次いで「事業費が足りないため」（41.7%）となっている（図2-24）。

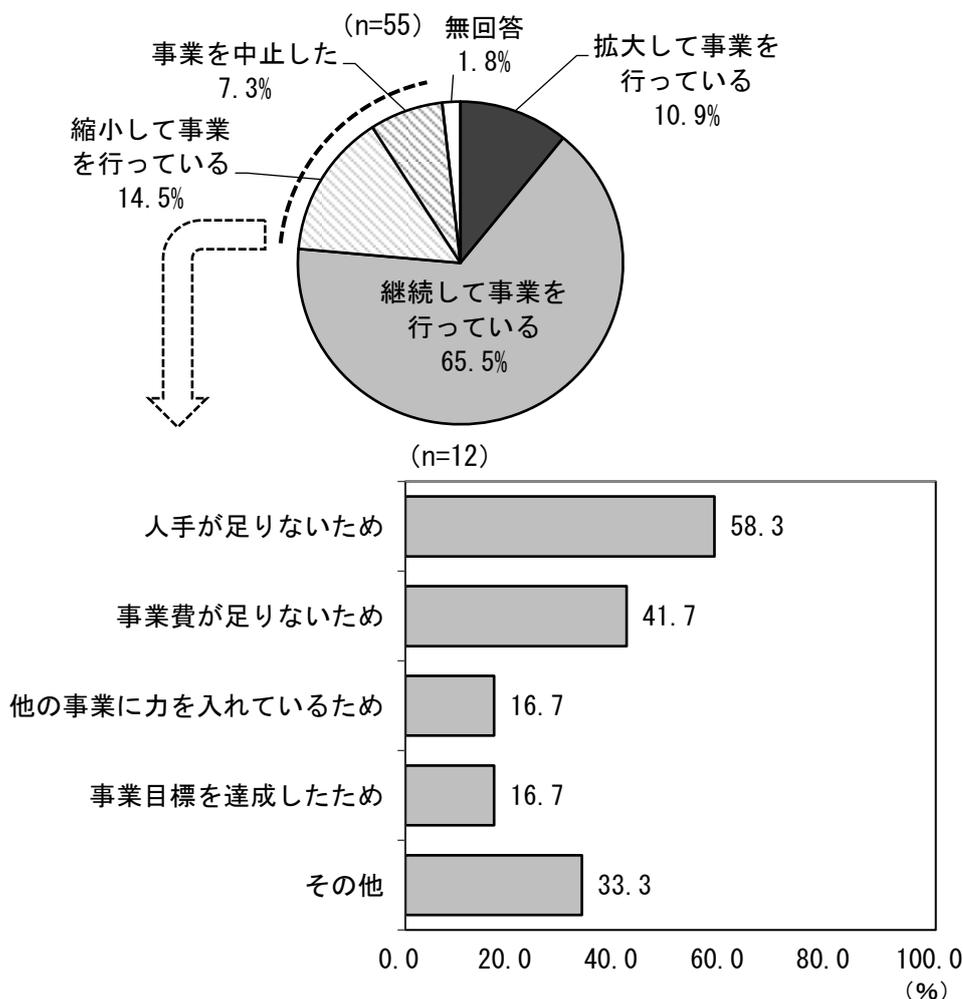


図2-24 【上】「市民活動助成制度」活用後の事業展開、【下】縮小または中止となった理由

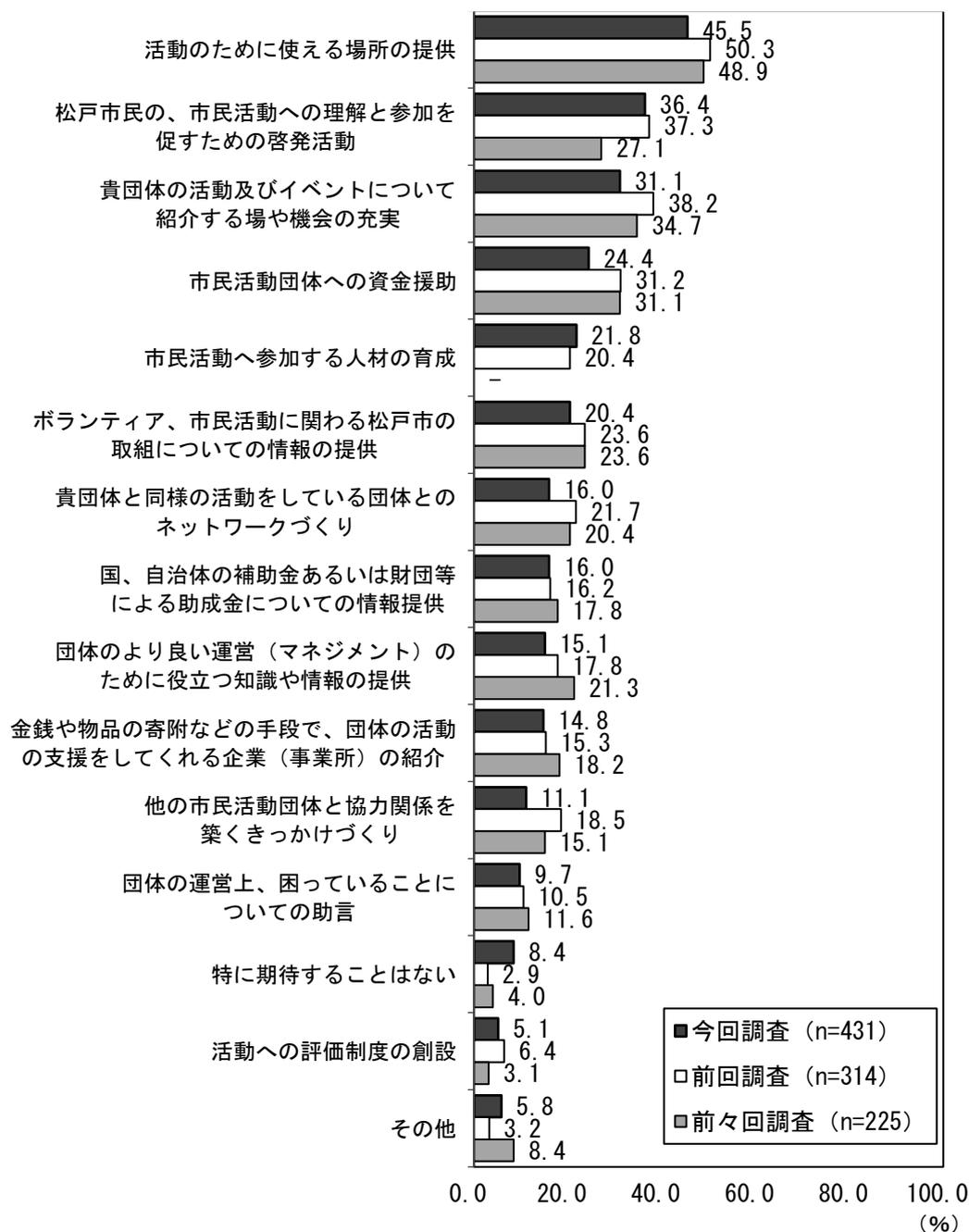
（4）市からの支援（市への期待）

①松戸市に期待すること

問18 貴団体は、松戸市に対して、どのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

松戸市に期待することについては、「活動のために使える場所の提供」（45.5%）が最も高く、次いで「松戸市民の、市民活動への理解と参加を促すための啓発活動」（36.4%）、「貴団体の活動及びイベントについて紹介する場や機会の充実」（31.1%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、1位は前回・前々回調査と同様であり、2位から4位の順位の入替はあるものの、上位4項目に変動はない（図2-25）。



\* 前々回調査では「市民活動へ参加する人材の育成」はなし。

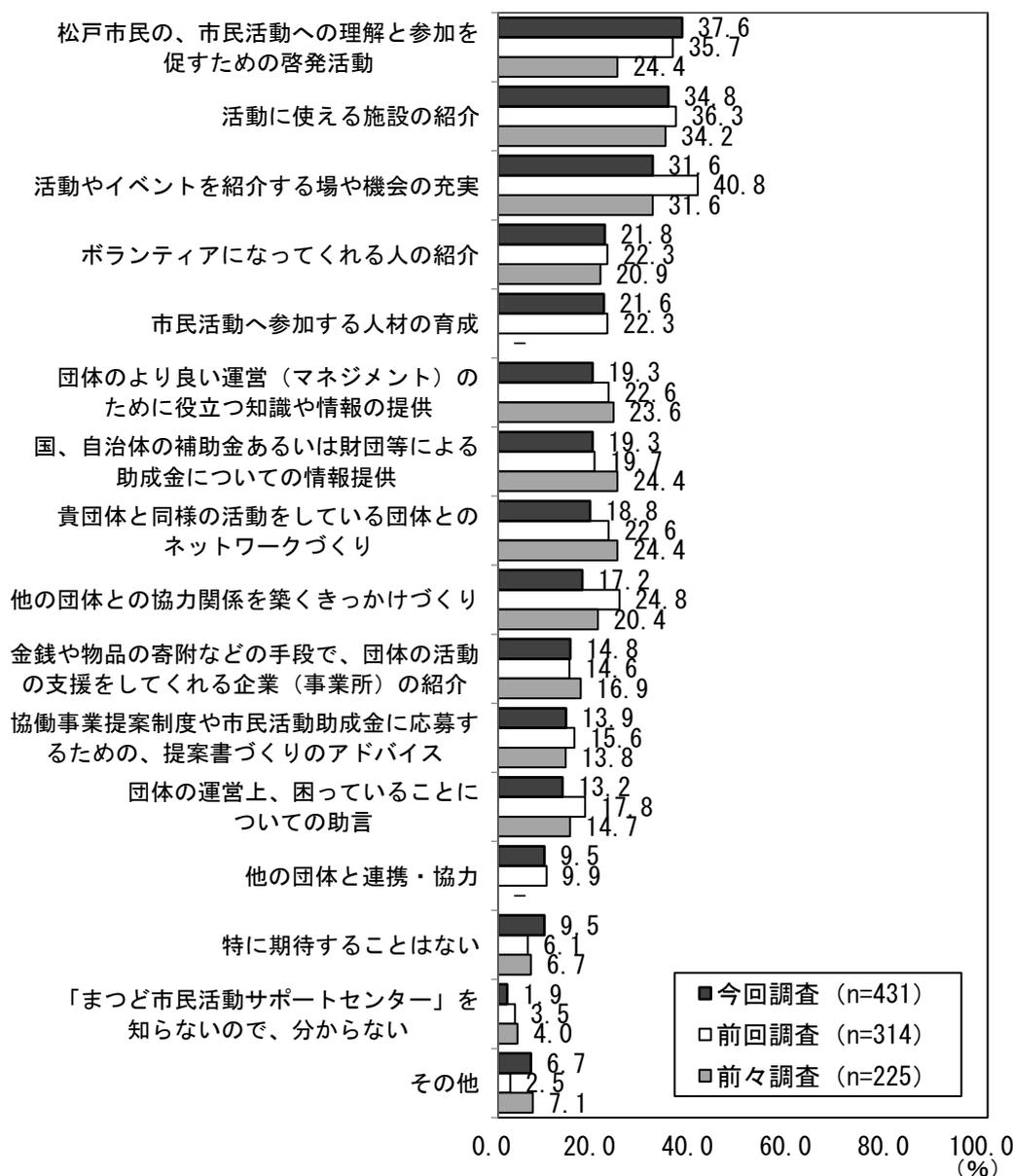
図2-25 松戸市に期待すること（前回・前々回調査比較）

②まつど市民活動サポートセンターに期待すること

問19 貴団体は、市民活動団体を支援する「まつど市民活動サポートセンター」に対して、どのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

まつど市民活動サポートセンターに期待することについては、「松戸市民の、市民活動への理解と参加を促すための啓発活動」（37.6%）が最も高く、次いで「活動に使える施設の紹介」（34.8%）、「活動やイベントを紹介する場や機会の充実」（31.6%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、1位から3位の順位に入替はあるものの、上位3項目に変動はない（図2-26）。



\* 前々回調査では「市民活動へ参加する人材の育成」「他の団体と連携・協力」はなし

図2-26 まつど市民活動サポートセンターに期待すること（前回・前々回調査比較）

## 5. 他団体との関わり

### （1）連携・協力の現状

問20 貴団体は、他の団体（民間事業者・町会・自治会・NPO・行政等）と連携・協力して活動をしていますか。（○は1つだけ）

他の団体（民間事業者・町会・自治会・NPO・行政等）との連携・協力については、「している」が50.6%、「今はしていないが、かつてはしていた」が5.6%であり、連携・協力経験がある団体が約5割台半ばを占める。

また、前回・前々回調査と比較すると、連携・協力経験がある割合は、前々回よりも低いが、前回よりは約3ポイント上昇している（図2-27）。

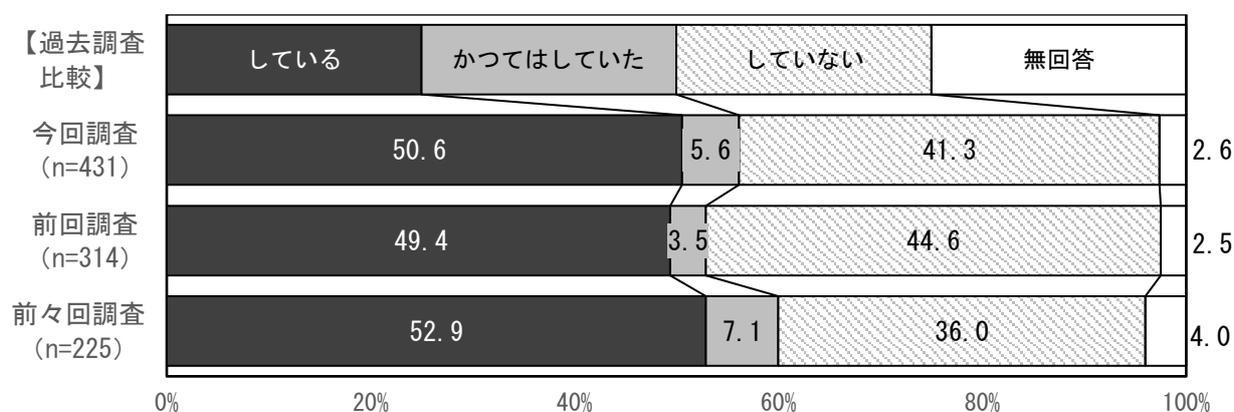


図2-27 連携・協力の現状（前回・前々回調査比較）

（2）内容、連携・協力先、良かったこと

問20-1 その活動の内容は、どのようなものですか。（〇はいくつでも）  
 問20-2 その活動の連携・協力先の団体は、どのような団体ですか。（〇はいくつでも）  
 問20-3 他団体と連携・協力して良かったと思うこと。（〇はいくつでも）

連携・協力関係があると回答した242団体に連携・協力の内容を聞いたところ、「連携して事業（イベント）を実施する」（74.4%）が最も高く、次いで「連携して事業（イベント）を企画する」（45.5%）となっている。また、前回・前々回調査と比較すると、上位4項目に変動はないが、「ネットワーク組織に入る」「連携して事業（イベント）を企画する」が減少傾向にある。

連携・協力先の団体については、「市民活動団体（NPO、ボランティア団体、任意団体など）」（61.6%）が最も高く、次いで「県・市等の行政」（33.1%）、「地縁組織（町会・自治会）」（32.6%）となっている。前回・前々回調査と比較すると、1位、2位は前回・前々回調査と同様であり、3位から5位の順位に入替はあるものの上位5項目に変動はない。また、前回調査と比較すると「地縁組織（町会・自治会）」が約7ポイント上昇している（図2-28）。

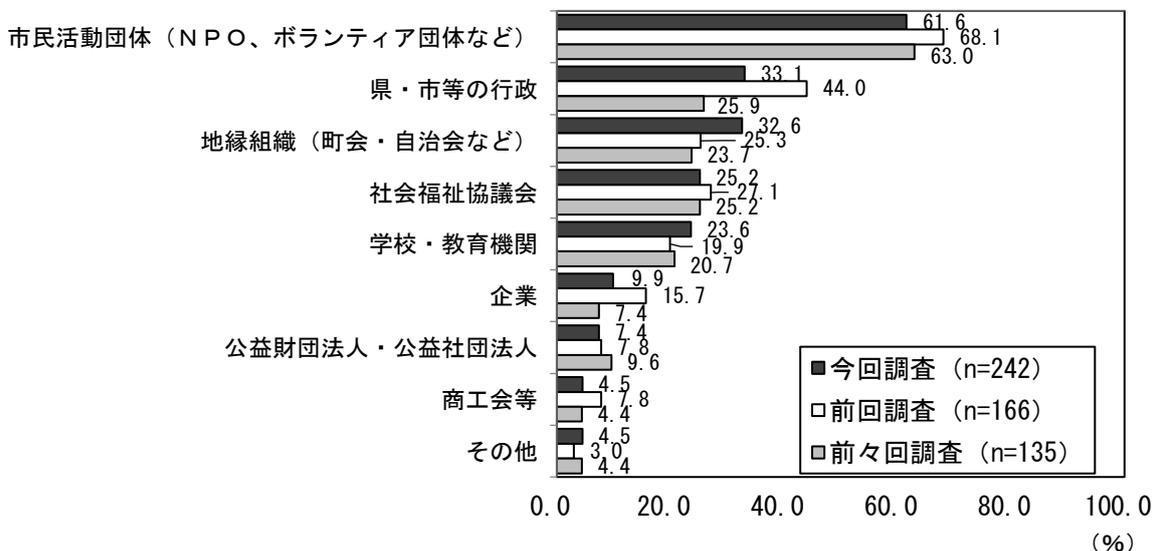
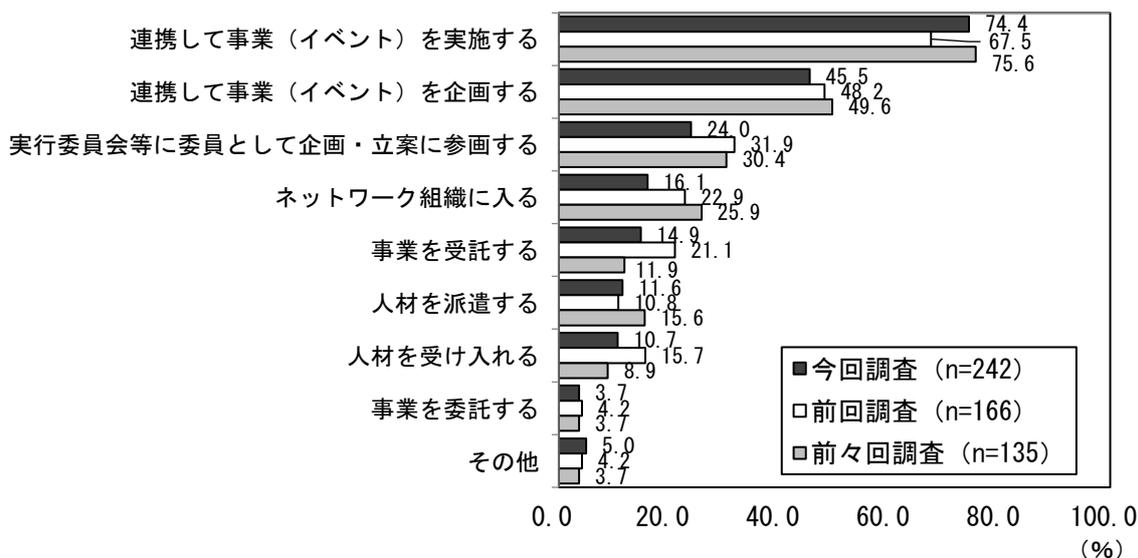


図2-28 【上】活動内容（前回調査比較）【下】連携・協力先団体（前回調査比較）

連携・協力して良かったことについては、「有益な情報を得ることができた」（45.0%）が最も高く、次いで「自団体のみで行うより事業規模が拡大できた」（43.0%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「他団体とのつながりを他の事業に活かせた」が約8ポイント、「会員や協力者が増えた」が約6ポイント低下している（図2-29）。

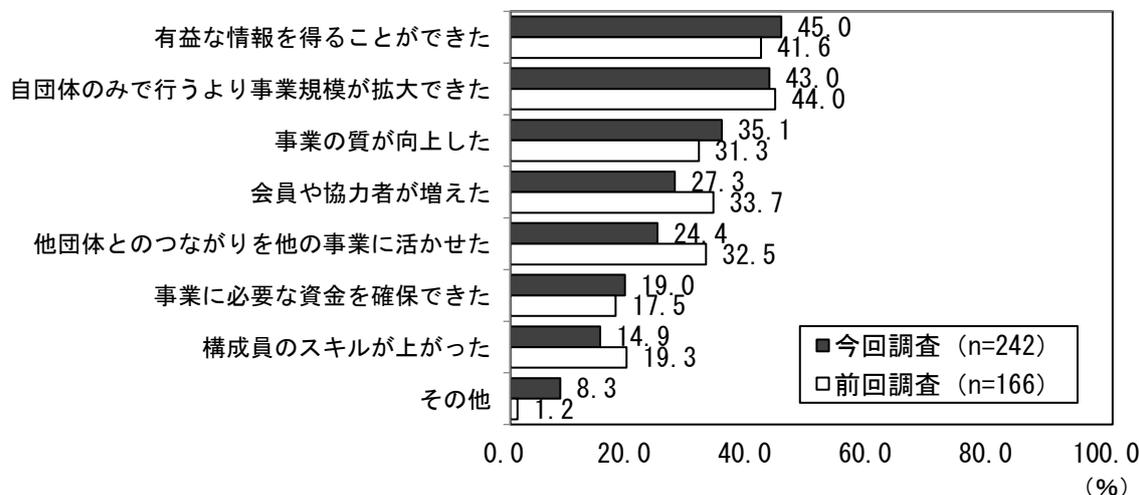


図2-29 連携・協力して良かったこと（前回調査比較）

### （3）連携・協力しない理由

問21 他団体と連携・協力しない理由はなんですか。（○はいくつでも）

連携・協力経験がない178団体に連携・協力しない理由を聞いたところ、「他団体のことを知らないから」（36.5%）が最も高く、次いで「どうやったら連携できるのかわからないから」（24.7%）、「連携・協力して事業を行う効果がわからないから」（18.5%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「他団体のことを知らないから」が約5ポイント上昇している。一方、「信頼できる団体がわからないから」、「連携・協力して事業を行う効果がわからないから」が約11ポイント低下している（図2-30）。

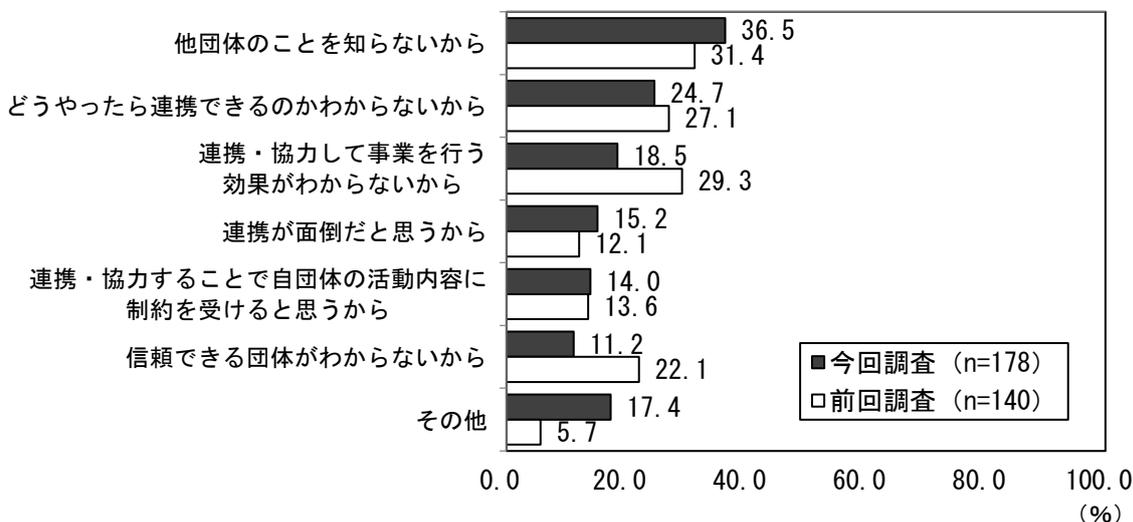


図2-30 連携・協力しない理由（前回調査比較）

## 6. 協働のまちづくりへの意見、アイデア等（自由意見）

最後に、今までお伺いしたことの他に、「協働のまちづくり」についてご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。（ご自由にお書きください）

「協働のまちづくり」について意見・要望・感想などを自由に記述してもらったところ、146団体からの意見が寄せられた。それらの意見を分類し、主な意見を掲載した。なお、複数の意見が記入されているため、意見数の合計は144を超えている。

### ■活動運営状況について（36件）

- 高齢者には各々の事情があって「協働」向きではないように見える。まず会員の若返りが必要かな？と思います。
- 大学、高校、中学校、小学校の俳句部等と合同活動が出来れば良いと思う。
- 協働事業、市民活動助成ともに制度として当団体へのメリットが少ないと感じています。申請手續の割に煩雑な資料作りが要求され、プレゼンを受けねばならない事を思うと尻込みしてしまう。SNS等を利用した、もっと簡便な手續があれば良いなと思っています。
- 国、県、市の助成事業は多くありますが、いずれも応募要件は複雑難解であり、応募から報告までの労力が過大で、一般のボランティア団体が安易に活用できるものではありません。
- 当団体は結成後の年数も未だ少なく知名度もない。これから発展してゆくであろう団体です。他団体からお声掛けして頂ければ更にスキルアップするものと信じて活動しています。
- 私たちは若い家庭に働きかけたいと願っていますが、会員の高齢化により、人材や活動時間に限界があることが悩みです。
- 地域町会は大方向のところはそうではと思いますが、中心となり活動する人材の高齢化が進んでいるため新たな活動が重荷となり、新しい活動が敬遠される傾向にあり硬直している。地域町会が自信を持って取り組めるための外部組織や情報の交流機会は一步を踏み出すために不可欠である。
- この会は2020年から始った新型コロナ、インフルエンザにより、壊滅状態にあります。新しい会員を集め、後継者を育てることから始める必要があります。

### ■協働のまちづくりについて（60件）

- 定年後の高齢者は、経験も能力も持っているので、もっと積極的に参加できる場、参加できる環境をつくと良いと思います。
- 日頃より活動場所の提供、チラシなどを置かせて頂きありがとうございます。多くの方に活動（ピアノ・キーボードサークル）を知って頂くため、文化祭など発表の場があると周知が広がります。矢切公民館の催しにも参加させて頂けると有難いです。
- マンション居住者のボランティア活動（助け合い活動）を20年以上続けて来たが、世代交代がこのご時勢、勤かに全会員が高齢化し、助け合い活動が難しくなり、コロナを契機に、助け合いから、居住者のコミュニケーションづくりにシフトチェンジして、ボランティアを継続している。高齢者の多い地域の「協働のまちづくり」の実践例を知りたい。
- 「協働のまちづくり」について知らなかったので、今後は可能な範囲で参加して行こうと思います。
- 協働のまちづくり施策によって、松戸市民の住み心地のよいまちづくりが出来ているのかどうかの検証はどのように行っているのでしょうか？協働のまちづくり施策は、どんな例があり、どんな「まちづくり」としての向上、目指す方向に進んでいるのか知りたいと思います。
- まちづくりは、若い人の育成には大事なことであり日本の福祉にもつながる。まちづくりが、しっかり出来れば国も、正しい道を築き、住みやすい社会をつくって下さい。
- 協働のまちづくり市民活動に対する市民自治課の取組みに敬意を表します。他の自治体に比べ充実した行動をされておられることを誇りに思います。よろしくお願い致します。
- 市民センターなどを使用していますが抽選で取れない時は活動が出来ません。使用しやすく出来ませんか。

- 活動場所の確保の競争が激しく取りにくい。みのり台市民センター、市民会館、ゆうまつどは特に競争が激しい。公用で使用されているのか申請時に利用不可の×印が最近多くなっている。市民の利用料が少なく競争が激しくなっている。×印を少なくして欲しい。切に望む。
- 軽いイベントなどをやろうと思っても、告知する場が無くて使用している市民センターなども掲示に制限があるので告知が難しい。今月のイベントみたいな感じで図書室などに来た人などがこんなのあるんだとサラッと見られる様な又は、イベント情報みたいな物があるといいなと思います。
- 当団体の方から連携できる団体を探すのが難しいので、行政側でマッチングの場を設けてもらうなど出来たら助かります。
- 活動を通して見えてきた市民が抱える課題などを、もっと市と団体とが気軽に連携して解決していける仕組みが欲しいと考えています。こういう課題はこの課に相談、などすぐにわかるロードマップ用なものと、あちこち窓口を渡り歩かなくてもよいので助かります。互いに協力関係を作りあげ、より良い松戸市にしていけることを願っています。よろしくをお願いします。
- 松戸市には人材や民間団体などの資源が沢山あるのに横の繋がりが乏しく感じます。例えば繋がるステーションも自治会ごとに区切っていますが、居住圏はそんなに区切れないのだから、横に繋がるステーションになるような資源マップ作りが出来たらいいなと思います。

#### ■行政の支援全般について（22件）

- 市民活動にかかわる行政職員の皆様が、市民活動について関心を持ち、理解を深め、共感を持ち、以てレベルの高い事務を行ってほしいと思います。
- いつもお世話になりありがとうございます。人と人がつながり人々が心豊かに暮らしていけるよう応援して頂けるイベント、意見交換の場があれば良いです
- 外国人が増えているが、それへの対応。特に日本語教育の推進を図る必要がある。
- 10年間ボランティア活動をしているが、他の団体のボランティア活動内容をほとんど知らない。どんな事をしているのか情報を共有できる仕組みがあると勉強になる。
- イベントの会場確保が難しい。会場が確保できないと、準備や広報活動ができない。年度始めから準備の必要性（様々な申請や告知など）がある。活動を理解し、協力してくれる課などの連携を希望する。
- この調査の結果がわかりましたらお知らせしていただきたい。また協働事業提案制度、また市民活動助成制度で具体的どのような事業に補助金が使われているか知りたい。
- 豊かで活力のある地域社会の実現のために！！高齢者が街に出て、買物や食事、友人との時間を気軽に出来るまであってほしいです。その為にはコミュニティバスの充実を切望します。低額で路線を拡大し、すぐ家の近くから利用できるのが理想です。高齢の私は自転車や車の運転もまだ続けていますが、不便な為に手離せないのです。
- 松戸市の各部署にて、活動についての相談や共催などの話をしても進まない。

#### ■まつど市民活動サポートセンターについて（6件）

- 現在のサポートセンターは遠いので、近隣にもあったらよいのに…と、いつも思っている。松戸市内に、数ヶ所あると助かる。
- いつも情報の提供ありがとうございます。私はいつもまつど市民活動サポートセンターで大変お世話になっています。サポートセンターの職員の方皆にサポートしてもらっています。松戸が誇る施設だと思っています。

#### ■アンケートについて（6件）

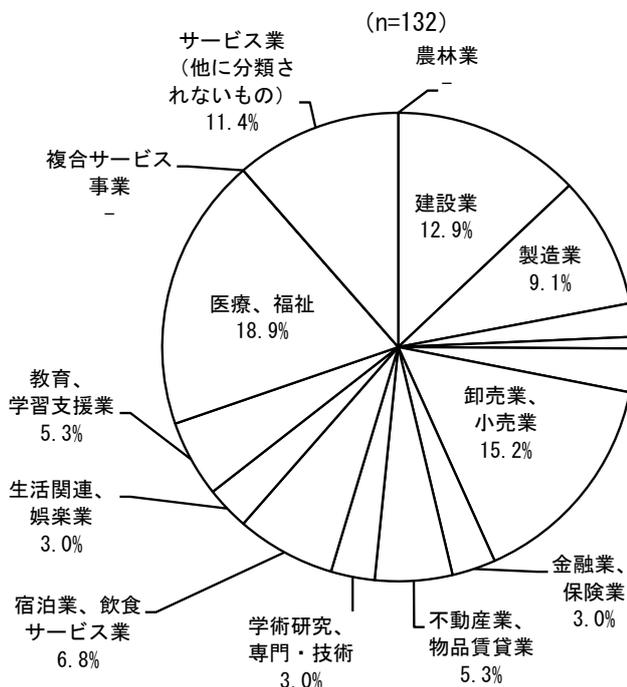
- 自活動の反省もなり、大変良かった。活動を一步一步進めて行きます。

#### ■その他について（14件）

- 申し訳ありません。「協働まちづくり」そのものが不勉強でよく分かりません。

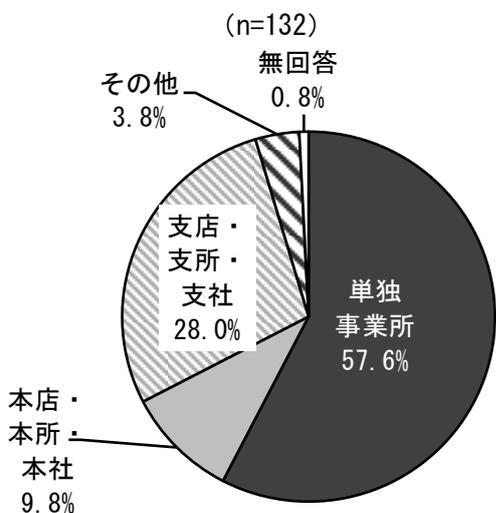
### Ⅲ 事業者

#### 1. 回答事業者プロフィール

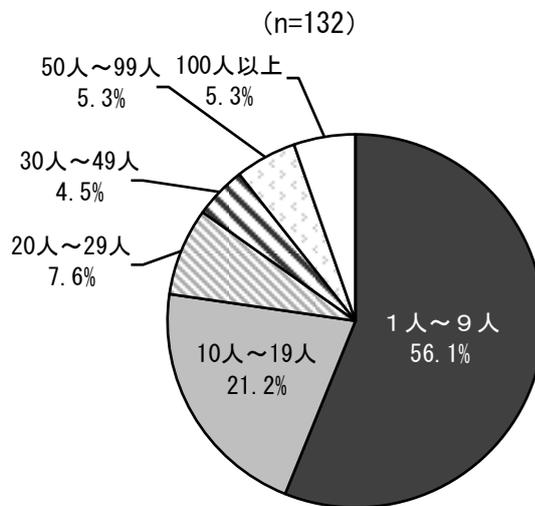


|                 | 発送数 | 回収数 | 回収 (%) |
|-----------------|-----|-----|--------|
| 農林業             | 1   | 0   | -      |
| 建設業             | 41  | 17  | 41.5   |
| 製造業             | 24  | 12  | 50.0   |
| 電気、ガス、熱供給、水道業   | 1   | 3   | 300.0  |
| 情報通信業           | 4   | 1   | 25.0   |
| 運輸業、郵便業         | 8   | 4   | 50.0   |
| 卸売業、小売業         | 95  | 20  | 21.1   |
| 金融業、保険業         | 6   | 4   | 66.7   |
| 不動産業、物品賃貸業      | 25  | 7   | 28.0   |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 17  | 4   | 23.5   |
| 宿泊業、飲食サービス業     | 46  | 9   | 19.6   |
| 生活関連サービス業、娯楽業   | 33  | 4   | 12.1   |
| 教育、学習支援業        | 17  | 7   | 41.2   |
| 医療、福祉           | 58  | 25  | 43.1   |
| 複合サービス事業        | 2   | 0   | -      |
| サービス業           | 22  | 15  | 68.2   |
| 合計              | 400 | 132 | 33.0   |

\* 「電気、ガス、熱供給、水道業」として1件の事業者に発送したものの、3件の事業者が「電気、ガス、熱供給、水道業」と回答した



事業所の形態



従業員数

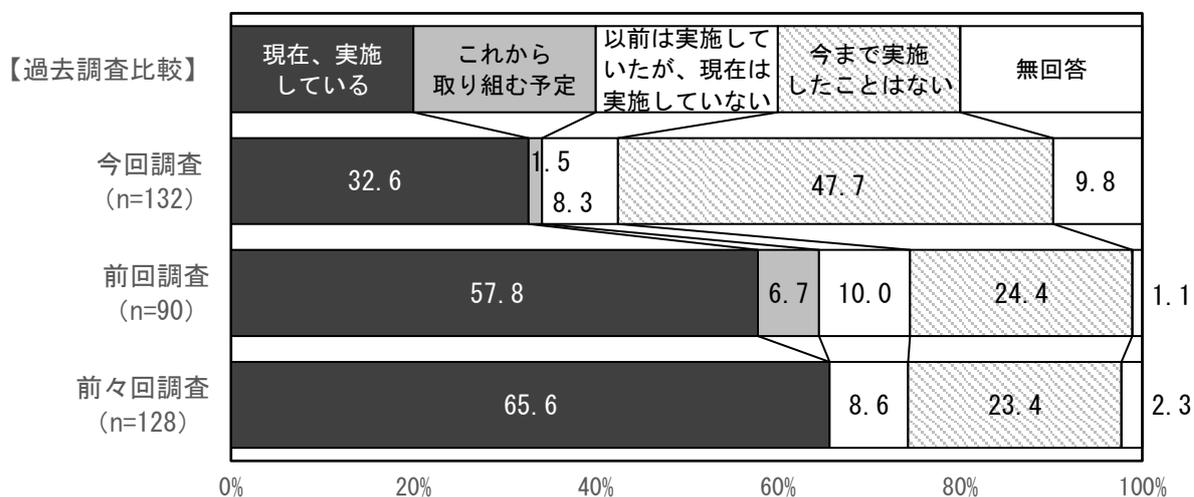
## 2. 社会貢献活動の現状と課題

### (1) 社会貢献活動の現状

問1 貴事業所は、社会貢献活動（地域の祭りやイベントへの参加協力、地域の清掃活動や環境美化活動、ボランティアやNPOへの物品提供など）を実施していますか。  
 (○は1つだけ)

社会貢献活動の実施状況については、「現在、実施している」が32.6%、「以前は実施していたが、現在は実施していない」が8.3%であり、実施経験率は40.9%となっている。

また、前々回・前回調査と比較すると、「今まで実施したことはない」が20ポイント以上上昇している。一方、「現在、実施している」は前々回・前回調査から約20～30ポイント以上低下している(図3-1)。



\* 前々回調査では「現在は取り組んでいないが、これから取り組む予定」はなし。

図3-1 社会貢献活動の現状 (前回・前々回調査比較)

問1-1 次の社会貢献活動について、状況をご記入ください。  
 （それぞれの該当する番号に○）

社会貢献活動について「現在、実施している」「現在は取り組んでいないが、これから取り組む予定」「以前は実施していたが、現在は実施していない」のいずれかに回答した56事業者に個別事業の実施状況について聞いたところ、「地域の祭りやイベントへの参加協力」（42.9%）が最も高く、次いで「地域の清掃活動や環境美化活動」（35.7%）、「町会・自治会など地域活動への寄附（資金や物品）」（33.9%）であり、この2項目は3割台半ばとなっている。

また、「ボランティアやNPOへの資金提供」「ボランティアやNPOへの物品提供」「従業員が行うボランティア活動の促進」「従業員が行うプロボノ活動の促進」においては、「現在、実施している」が約1割にとどまっている（図3-2）。

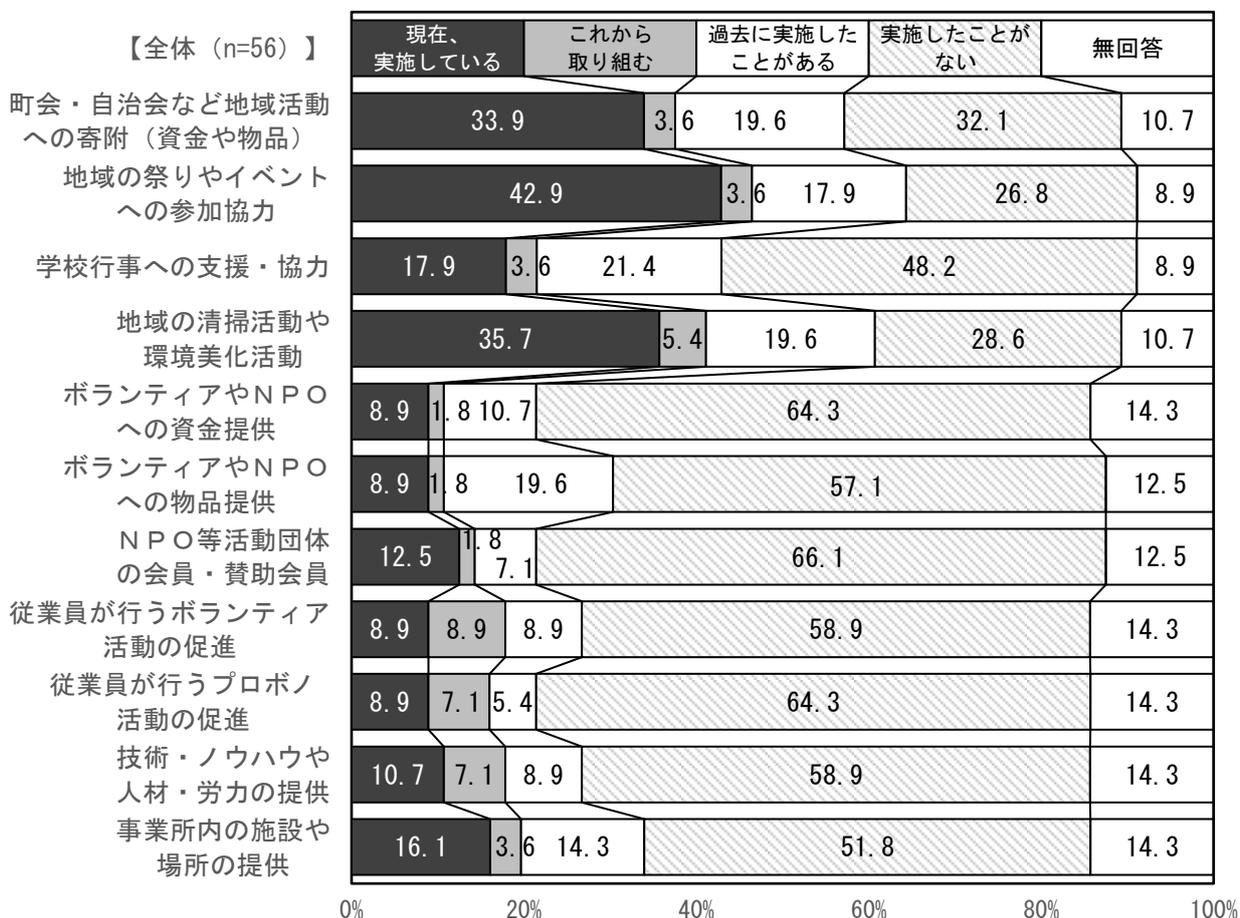


図3-2 社会貢献活動（個別事業）の実施状況

(2) 社会貢献活動の実施意向

問2 貴事業所は、今後まちづくりの一環として社会貢献活動を実施したいと思いますか。  
 現在社会貢献活動をされている事業者もされていない事業者もお答えください。  
 (○は1つだけ)

今後まちづくりの一環として社会貢献活動を実施したいかについては、「大いにそう思う」「ある程度そう思う」を合わせた「肯定的評価」が55.3%の一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた「否定的評価」は14.4%にとどまっている。

また、前回調査と比較すると、「大いにそう思う」「ある程度そう思う」を合わせた「肯定的評価」が20ポイント以上低下している。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた「否定的評価」は約7ポイント上昇している(図3-3)。

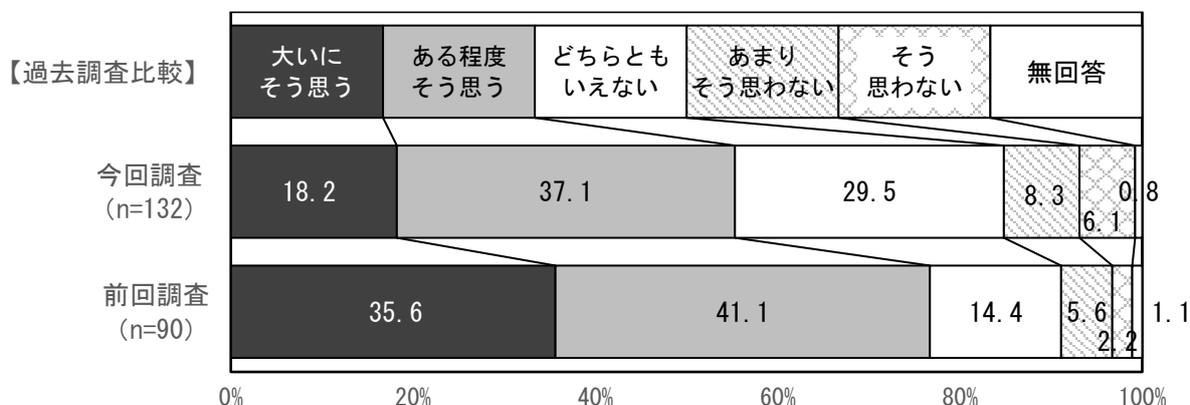


図3-3 社会貢献活動の実施意向

（3）社会貢献活動を進める上での課題

問3 社会貢献活動を進めるうえで、課題となることは何ですか。（あてはまるもの全てに○）

社会貢献活動を推進する上での課題については、「人的な余裕がない」（68.2%）が最も高く、次いで「きっかけや機会がない」（37.9%）「社会貢献活動についての情報が少ない」（35.6%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「きっかけや機会がない」が10ポイント上昇している。一方、「人的な余裕がない」が約10ポイント低下している（図3-4）。

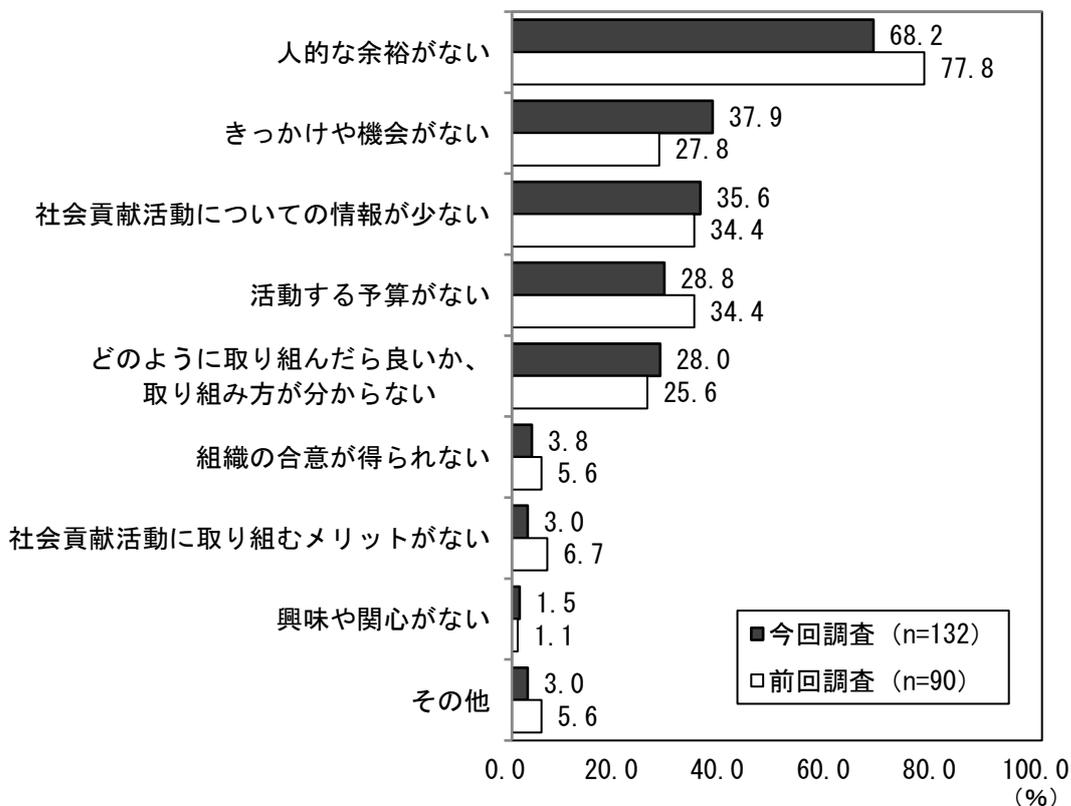


図3-4 社会貢献活動を推進する上での課題（前回調査比較）

社会貢献活動の実施意向別では、「肯定的評価層」「中間的評価・否定的評価層」ともに「人的な余裕がない」が最も高く、次いで「肯定的評価層」では「きっかけや機会がない」、「中間的評価・否定的評価層」では「活動する予算がない」が高くなっている。(表3-1)。

表3-1 社会貢献活動を推進する上での課題 (社会貢献活動の実施意向別：上位5項目)

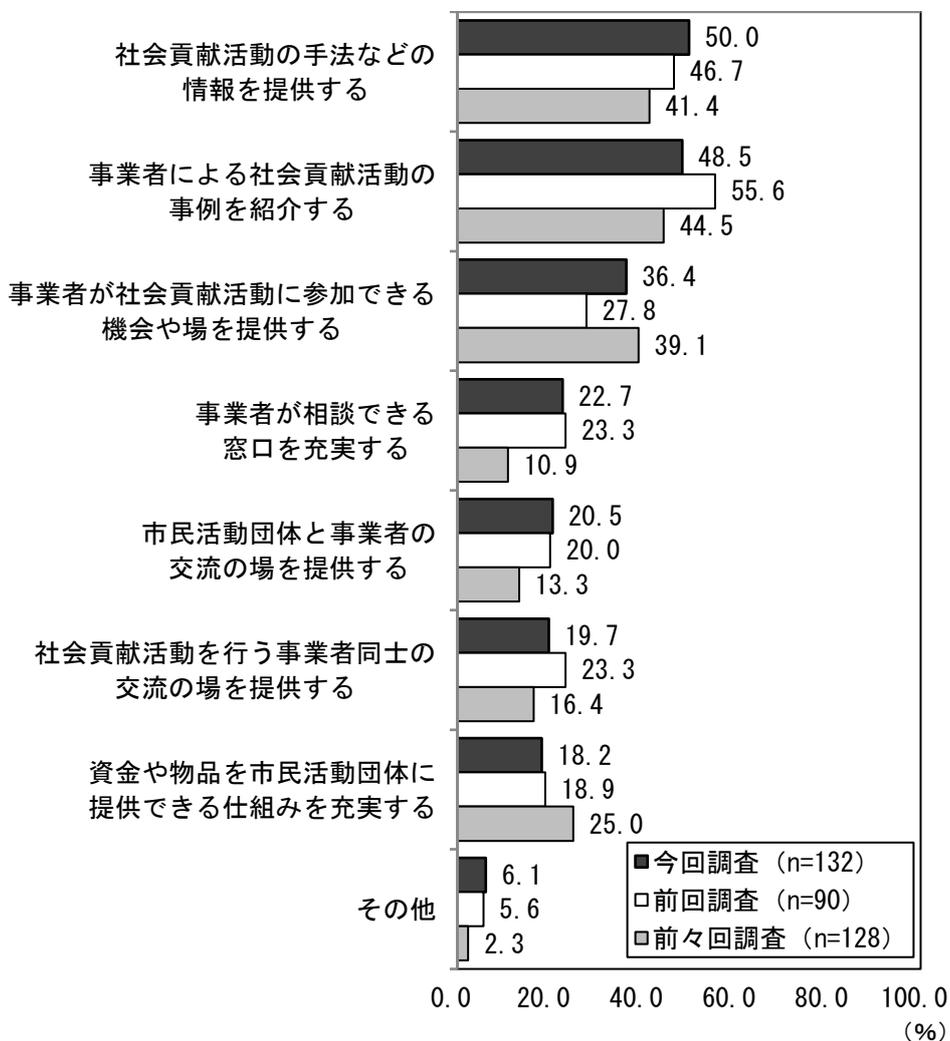
|             | n  | 人的な余裕がない | きっかけや機会がない | 社会貢献活動についての情報が少ない | 活動する予算がない | どのように取り組んだら良いか、取り組み方が分からない |
|-------------|----|----------|------------|-------------------|-----------|----------------------------|
| 肯定的評価       | 73 | 63.0     | 46.6       | 45.2              | 24.7      | 32.9                       |
| 中間的評価・否定的評価 | 58 | 75.9     | 27.6       | 24.1              | 34.5      | 22.4                       |

（4）社会貢献活動を促進させるための市の施策

問4 事業者による社会貢献活動が活発になるために、市はどのようなことに取り組みが良いと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

社会貢献活動を促進させるための市の施策については、「社会貢献活動の手法などの情報を提供する」（50.0%）が最も高く、次いで「事業者による社会貢献活動の事例を紹介する」（48.5%）、「事業者が社会貢献活動に参加できる機会や場を提供する」（36.4%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「社会貢献活動の手法などの情報を提供する」は増加傾向にある。前回調査から「事業者が社会貢献活動に参加できる機会や場を提供する」が約9ポイント上昇、「事業者による社会貢献活動の事例を紹介する」が約7ポイント低下している（図3-5）。



\* 複数回答の設問では、今回調査の割合が高い項目を基準に並び替え。以下、同様  
 図3-5 社会貢献活動を促進させるための市の施策（前回・前々回調査比較）

### 3. 市民活動団体との連携

#### (1) 市民活動団体に求めること

問5 今後、市民活動を行う団体と連携・協力して社会貢献活動を行うと仮定した場合、市民活動団体にどのようなことを求めますか。(あてはまるもの全てに○)

市民活動団体との連携・協力する場合に市民活動団体に求めることについては、「活動の目的や内容に賛同できること」(78.8%)が最も高く、次いで「活動理念が明確であること」(35.6%)、「情報公開していること」(34.1%)となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「活動の目的や内容に賛同できること」は増加傾向にある一方、「活動理念が明確であること」は減少傾向にある(図3-6)。

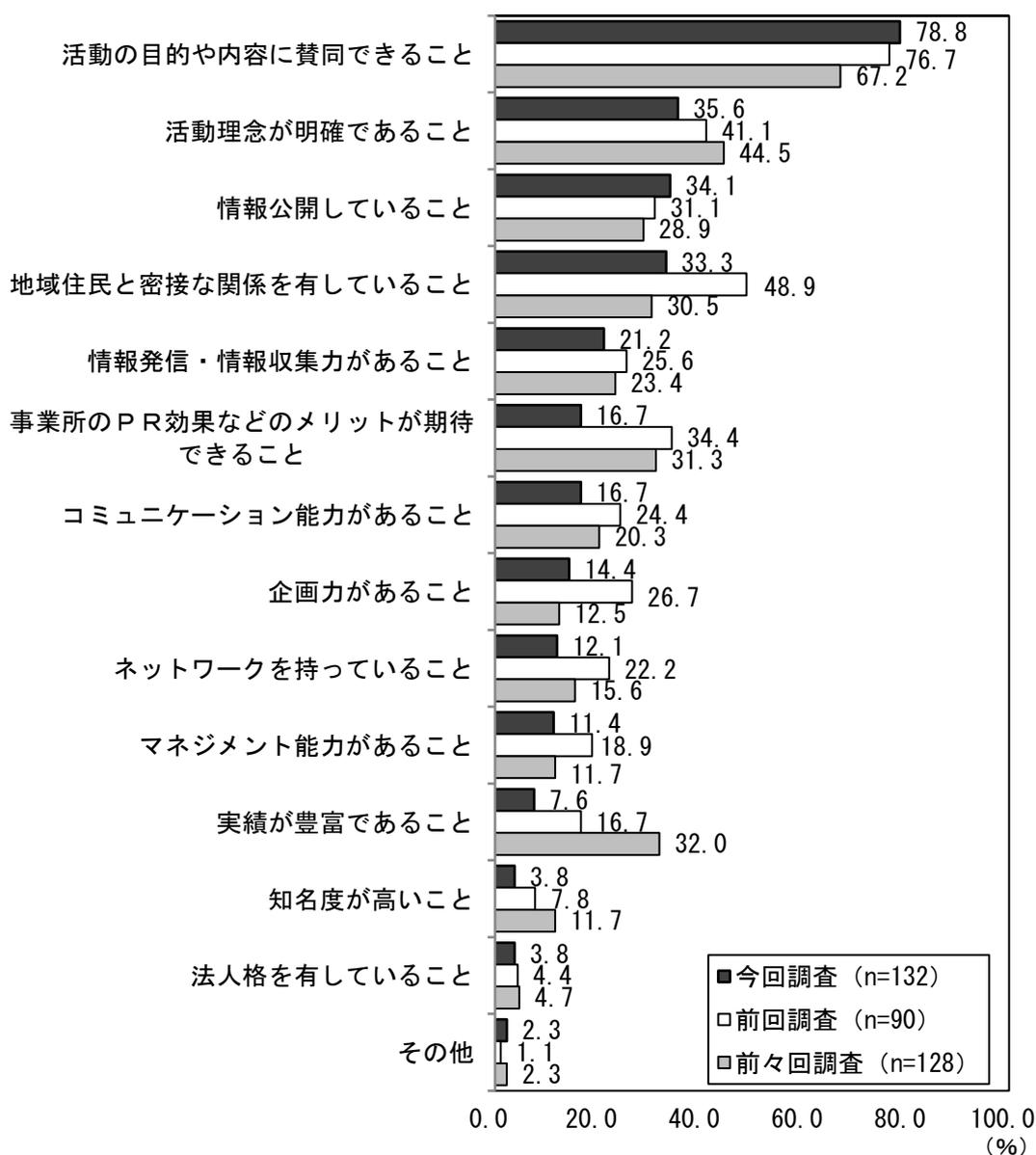


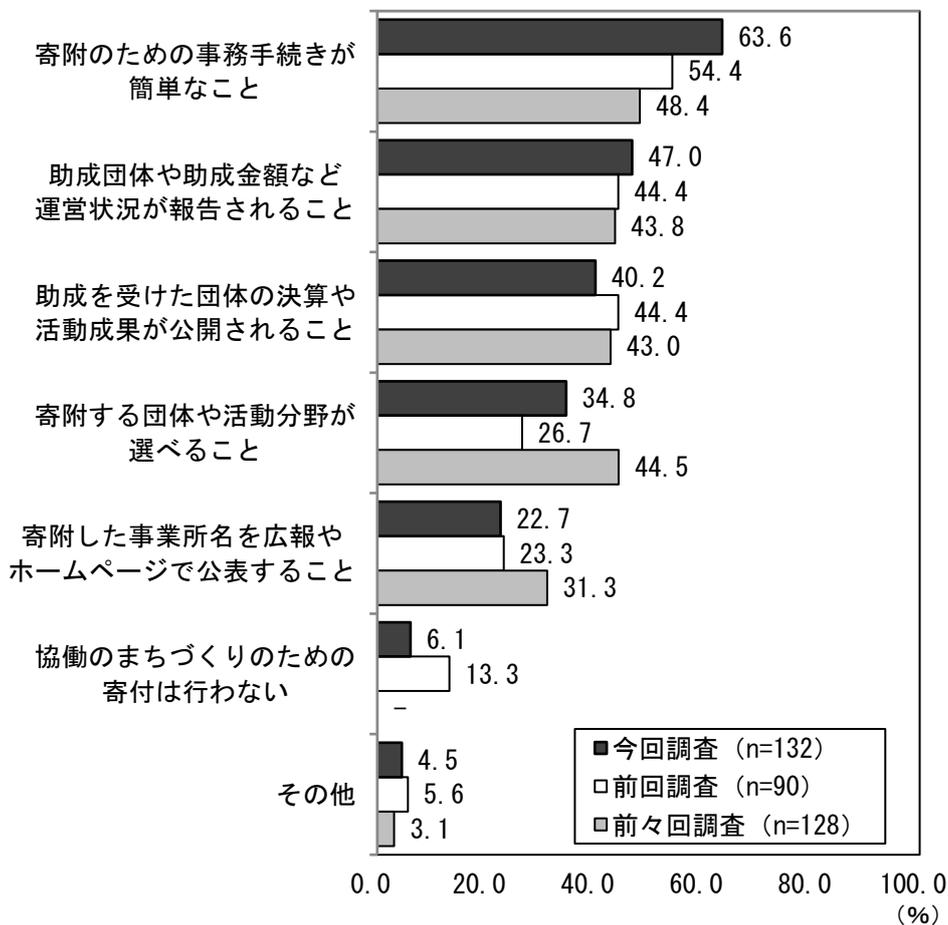
図3-6 市民活動団体に求めること(前回・前々回調査比較)

（2）寄附を検討する場合の条件

問6 市では事業者や市民からの寄附金（※協働のまちづくり基金）を、市民活動団体の行う社会貢献事業に助成する制度を実施しています。貴事業所で協働のまちづくりのための寄附を検討すると仮定した場合、どんな条件が必要だと思いますか。  
（あてはまるもの全てに○）

寄附を検討する場合の条件については、「寄附のための事務手続きが簡単なこと」（63.6%）が最も高く、次いで「助成団体や助成金額など運営状況が報告されること」（47.0%）「助成を受けた団体の決算や活動成果が公開されること」（40.2%）となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「寄附のための事務手続きが簡単なこと」は増加傾向にあり、前回調査から約9ポイント上昇している（図3-7）。



\* 前々回調査では「協働のまちづくりのための寄附は行わない」はなし。

図3-7 基金に寄付する場合の条件（前回・前々回調査比較）

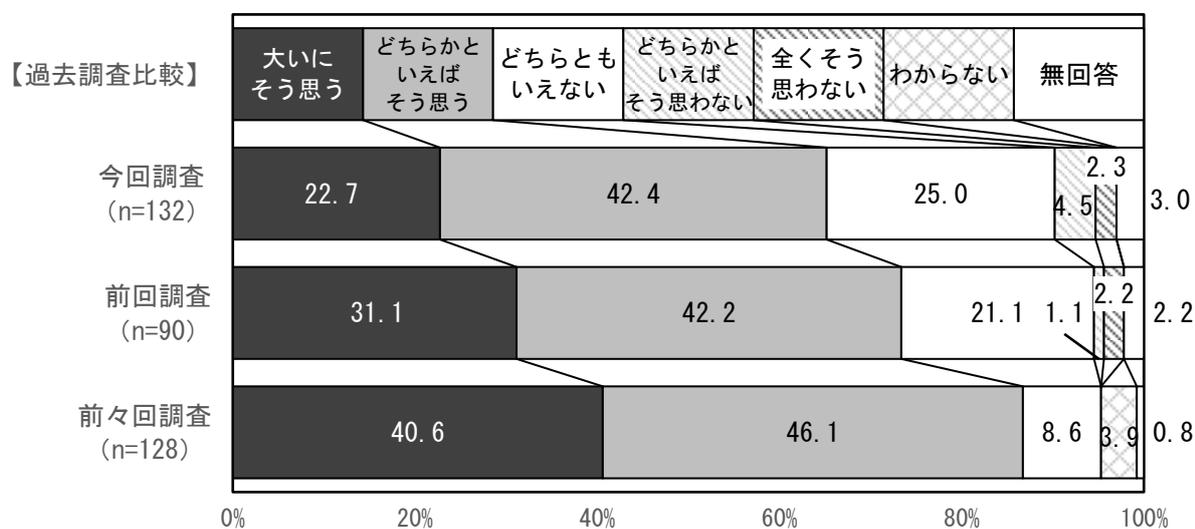
## 4. 協働のまちづくり

### (1) 協働のまちづくりへの積極性

問7 協働のまちづくりでは、自分たちのまちは自分たち自身で暮らしやすくする活動が求められますが、事業者もまちづくりに積極的に参加すべきだと思いますか。(○は1つだけ)

事業者もまちづくりに積極的に参加すべきかどうかについては、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」が65.1%を占め、「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」「全く思わない」の「否定的評価」は6.8%となっている。

また、前回・前々回調査と比較すると、「肯定的評価」は減少傾向にある(図3-8)。



\* 今回、前回調査では「わからない」はなし。

図3-8 協働のまちづくりへの積極性(前回・前々回調査比較)

（2）協働のまちづくりの進捗評価

問8 貴事業所は松戸市において、市民、市民活動団体、民間事業者及び市の協力・連携が図られ、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

問8-1 貴事業所が松戸市において協働のまちづくりが進んでいないと思う理由は何ですか。（○はいくつでも）

松戸市において協働のまちづくりが進んでいるかについては、「どちらともいえない」が43.2%、「どちらかといえばそう思わない」「全くそう思わない」を合わせた「否定的評価」が34.8%、「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定的評価」が18.2%となっている。また、前回調査と比較すると、「肯定的評価」が約6ポイント低下し、「どちらともいえない」が約7ポイント上昇している。

また、協働のまちづくりが進んでいない理由としては、「協働のまちづくりの事例がどのようなものかわからないから」（56.5%）が最も高く、次いで「協働のまちづくりのために何をしたいかわからないから」（47.8%）、「協力・連携できる市・市民・市民活動団体・事業者の情報がないから」（39.1%）、「松戸市全体に協働のまちづくりの意識が浸透していないから」（32.6%）となっている（図3-9）。

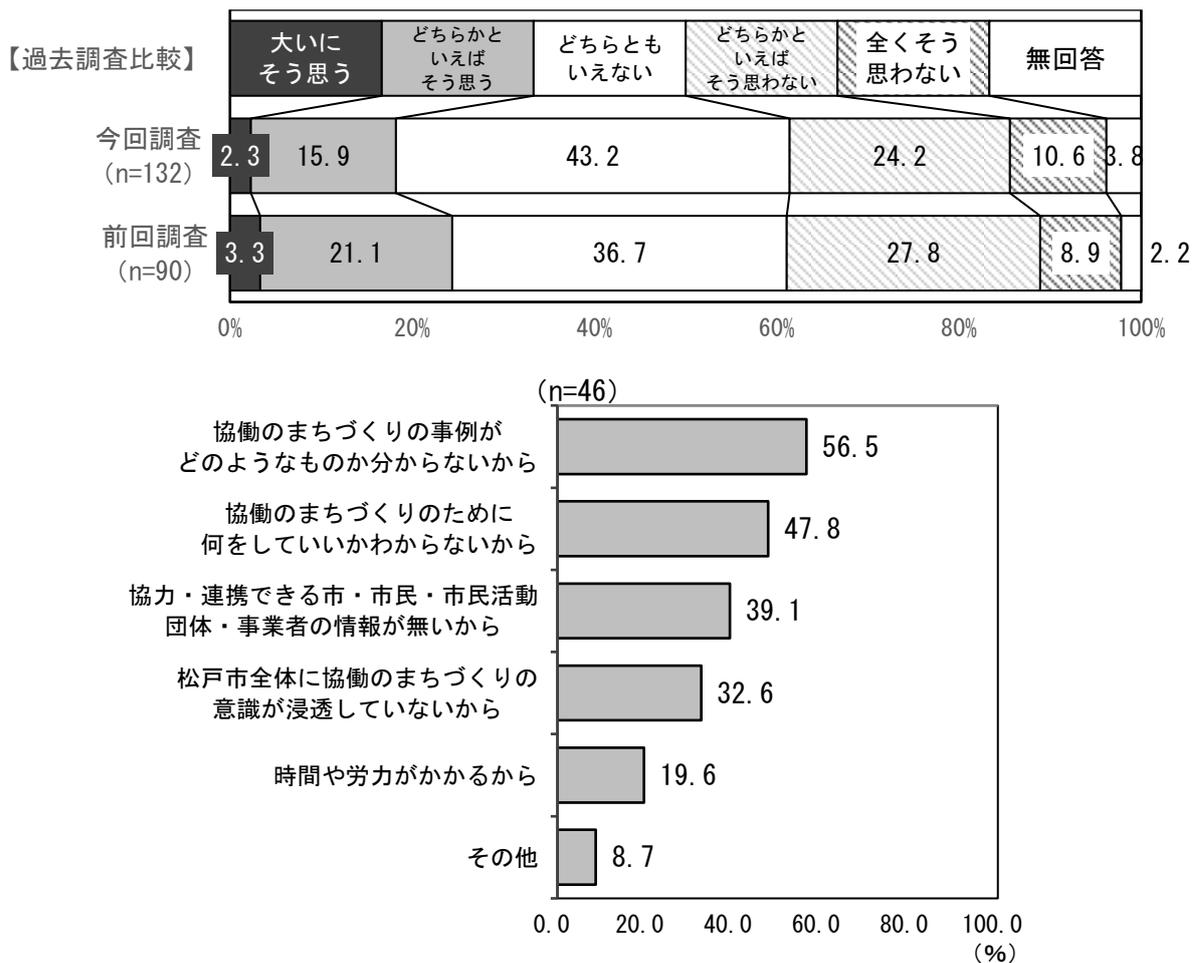


図3-9 【上】協働のまちづくりの進捗評価（前回調査比較）、【下】進んでいない理由

また、前回調査と比較すると、「協働のまちづくりのために何をしたいかわからないから」は約11ポイント上昇している一方、「松戸市全体に協働のまちづくりの意識が浸透していないから」は約13ポイント、「時間や労力がかかるから」が約8ポイント低下している(図3-10)。

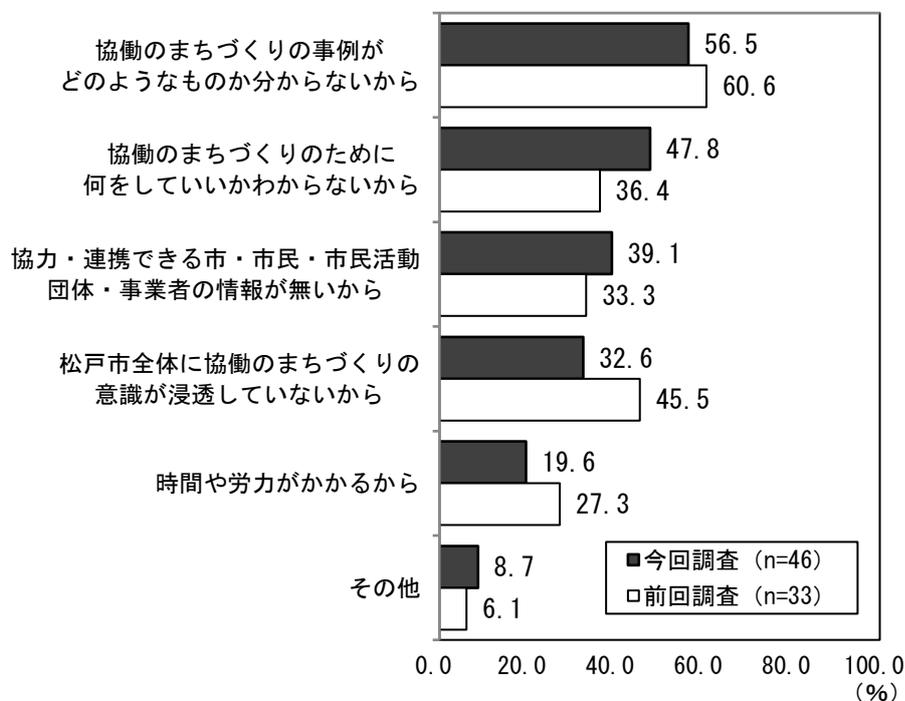


図3-10 協働のまちづくりが進んでいない理由(前回調査比較)

## 5. 協働のまちづくりの意見・要望・感想等（自由記述）

最後に、今までお伺いしたこと他に、「協働のまちづくり」についてご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。

「協働のまちづくり」への意見・アイデア等について自由に記入してもらったところ、13事業者からの意見が寄せられた。それらの主な意見は、以下のとおり。

- 地域での交流の場、学校や保育所、介護施設等が、一緒に参加できるような場を設けてもらえると互いへの協力性、地域への根つきも生まれると思います。多職種での交流を行ってみたいです。
- 単独営業所では、答えようのない設問ばかりです。本社では、全社員を代表し、全国的な、社会貢献活動を行っている所です。単独営業所では、人的な余裕がまったくなく、地域の活動には、参加は難しく心苦しく思います。
- 店、会社の仕事に影響が無いように、自治会などの協力をして行きたいと思います。
- 協働言うは易しやるは難しという感じですかね。求めるのであればアナウンスが絶対的に足りないし情報がなさすぎると思います。
- 資金や人員が潤沢でない事業者の立場としては、事業を営むことで地域に貢献しているともいえるので、そこからさらに無償で何かをするメリットがないように感じました。

## 資料編（調査票）

## 1. 市民

## 協働のまちづくり市民アンケート調査票

## ■■ ご協力をお願い ■■

日頃より、松戸市政にご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本市では、「松戸市協働のまちづくり条例」を施行し、市民、市民活動団体、事業者による市民活動を活性化するとともに、それらの活動と市が協力、連携する協働に取り組むことで、豊かで活力ある地域社会の実現を目指しています。そして、「松戸市協働推進計画」を策定し、協働を推進するための施策を展開しています。

本調査は、市民の皆様の市民活動や協働のまちづくりに対する意識等をお伺いし、令和4年度から実施している第4次協働推進計画の進捗評価及び計画見直しの参考とさせていただくために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。所要時間は10分程度です。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、現在の住民基本台帳から無作為に3,000人を抽出いたしました。アンケートの集計結果につきましては、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

また、この調査の実施につきましては、松戸市から世論調査の専門機関である「株式会社サーベイリサーチセンター」に委託しております。

令和6年11月 松戸市長 本郷谷 健次

## ■■ ご記入にあたって ■■

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、普段ご自身が考えていること、または行っていることをお聞かせください。
3. 記入は、鉛筆もしくはボールペンのどちらでも結構です。
4. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
5. 質問の中には、選択した番号により、次の質問が問われるものがありますので、ご注意ください。
6. お答えが「その他」の場合には、（ ）内に内容を具体的にお書きください。
7. ご記入いただいた本調査票は、**12月27日（金）までに**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
8. 本調査はインターネットを利用して回答することができます。インターネットで回答した方は、この調査票を返送する必要はございません。下記 URL もしくは二次元コードを読み取って、アンケート専用ホームページにアクセスし、アンケート ID を入力の上、回答してください。

URL：

アンケートID：

二次元コード→

アンケートIDは対象者以外の方が回答してしまうことを防止するため、また重複回答を防止するためのものであり、個人を特定するものではありません。

## &lt; 問い合わせ先 &gt;

この調査に関するご質問、ご意見などは、下記までお問い合わせください。

（調査について）

松戸市 市民部 市民自治課  
〒271-8588 松戸市根本387番地の5  
電話：047-366-7318 FAX：047-704-4009  
E-MAIL：mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp  
（土日・祝日を除く 8：30～17：00）

（調査票の配布・回収について）

株式会社サーベイリサーチセンター  
〒112-0004  
東京都文京区後楽1丁目1番3号  
電話：03-6826-4666  
（土日・祝日を除く 10：00～17：00）





問8 あなたは、これまで市民活動に参加したことがありますか。（○は1つだけ）

- 1 現在、参加している
- 2 以前は参加していたが、現在は参加していない
- 3 これまで参加したことはない

→ 問9へお進  
みください

→ 問8-1（問8で3を選択した人のみお答えください。）

あなたがこれまで、市民活動に参加したことがない理由は何ですか。  
（○はいくつでも）

- 1 きっかけや機会がない
- 2 活動に関する情報が得られない
- 3 一緒に活動する仲間がいない
- 4 活動場所がない
- 5 忙しくて時間がない
- 6 経済的にゆとりがない
- 7 健康上の理由から
- 8 家族など、周囲の理解が得られない
- 9 興味や関心がない
- 10 参加のための休暇がとりにくい
- 11 参加の手続きがわかりにくい
- 12 その他（ ）

→ 問13へお進みください。

問9 あなたはどの分野の市民活動に参加したことがありますか。

（○はいくつでも）

- 1 保健・医療・福祉
- 2 教育・研究
- 3 まちづくり・まちおこし
- 4 芸術・文化
- 5 スポーツ
- 6 自然・環境保全
- 7 災害救助支援
- 8 地域安全
- 9 人権・平和
- 10 国際協力・交流
- 11 子ども・青少年育成
- 12 その他（ ）

問10 あなたが市民活動に参加したきっかけは、主にどのようなことでしたか。

（○は1つだけ）

- 1 家族、友人の勧めで
- 2 身近に類似した問題を抱えていたので
- 3 学校の保護者会・PTA、町会・自治会などで役員になったので
- 4 市の広報誌・ポスター・ホームページ・SNSなどを見て
- 5 ボランティアに関する講座に参加して
- 6 自分や身近な人がボランティアのお世話になったので
- 7 ボランティア活動を体験する機会があつて
- 8 社会で大きな事故・事件が発生したので
- 9 所属団体が活動を始めたので立場上やむを得なく
- 10 その他（ ）

問11 あなたは、これまでどのような組織やルートを通じて、市民活動に参加しましたか。(〇はいくつでも)

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| 1 町会・自治会で                      | 5 市のイベントや講座で |
| 2 学校の保護者会・PTAで                 | 6 企業で        |
| 3 子ども会・シニアクラブ・商店会<br>などの地域の組織で | 7 有志・仲間との間で  |
| 4 NPOやボランティア団体で                | 8 その他( )     |

問12 あなたは市民活動に参加してどのようなことを感じましたか。  
(ア、イそれぞれ〇は3つまで)

- | ア. よかったと感じていること     | イ. 課題だと感じていること       |
|---------------------|----------------------|
| 1 友人を得ることができた       | 1 自分の都合のつく時間に活動できない  |
| 2 多世代、他職種の人と交流ができた  | 2 団体の事務など特定の人に負担がかかる |
| 3 充実感、満足感を得ることができた  | 3 新しく参加してくれる人が少ない    |
| 4 地域の課題を解決できた       | 4 活動のノウハウが無い         |
| 5 知識や技術が身についた       | 5 他の団体との連携がうまくいかない   |
| 6 人間性が豊かになった        | 6 金銭的に自己の持ち出しが多い     |
| 7 自分の経験を活かした        | 7 問題が起きた時に相談できる所がない  |
| 8 活動そのものが楽しかった      | 8 必要がないのにやめられない業務がある |
| 9 健康づくりに役に立った       | 9 他者に活動を理解してもらえない    |
| 10 松戸市に愛着が持てるようになった | 10 市に協力してもらえない       |
| 11 社会に対する視野、見方が広まった | 11 特にない              |
| 12 人の役に立つことに喜びを得た   | 12 その他( )            |
| 13 特にない             |                      |
| 14 その他( )           |                      |



問14-1（問14で1、2を選択した人のみお答えください。）

あなたは、まつど市民活動サポートセンターの事業についてどの程度ご存知ですか。（ア～キのあてはまる番号1つに○）

|   |  | 知っている | 知らない |
|---|--|-------|------|
| ア | イベントや講座を実施していること                       | 1     | 2    |
| イ | ボランティアや市民活動の相談を行っていること                 | 1     | 2    |
| ウ | ホームページや情報紙での情報発信を行っていること               | 1     | 2    |
| エ | 団体同士の交流の場を提供していること                     | 1     | 2    |
| オ | 会議室などを貸出していること                         | 1     | 2    |
| カ | チラシの掲示や公共機関への配布など、市民活動団体情報の広報を支援していること | 1     | 2    |
| キ | 印刷機、団体ロッカーなどの活動機材を貸出していること             | 1     | 2    |

→ 問15へお進みください。

問15 あなたは、市民活動が社会貢献につながっていると思いますか。

（○は1つだけ）

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 大いにそう思う      | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 全くそう思わない       |
| 3 どちらともいえない    |                  |



問18 あなたは、本市が推進する「協働のまちづくり」が地域の課題解決につながっていくと思いますか。（○は1つだけ）

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 大いにそう思う      | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 全くそう思わない       |
| 3 どちらともいえない    |                  |

問19 本市が「協働のまちづくり」を推進することについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つだけ）

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1 大いに推進すべきである  | 4 あまり推進すべきでない |
| 2 ある程度推進すべきである | 5 全く推進すべきでない  |
| 3 どちらともいえない    |               |

問20 あなたが市民活動を行うと仮定した場合、どのような分野の活動に参加したいと思いますか。また、どのような分野の活動で市民、市民活動団体、民間事業者、市の「協働（協力・連携）」が必要だと思いますか。

（ア～スのあてはまる番号全てに○）

| 分 野 |                        | 参加<br>したい | 協働が<br>必要だ |
|-----|------------------------|-----------|------------|
| ア   | 防犯・防災・交通安全活動           | 1         | 1          |
| イ   | ごみ減量やリサイクル活動           | 2         | 2          |
| ウ   | 地域の清掃や美化の活動            | 3         | 3          |
| エ   | 子育てに関する援助・相談、交流促進などの活動 | 4         | 4          |
| オ   | 高齢者や障害者への支援や福祉活動       | 5         | 5          |
| カ   | 地域交流や地域活性化などに関する活動     | 6         | 6          |
| キ   | 文化、学習、芸術等の活動           | 7         | 7          |
| ク   | 経済活動活性化や観光振興などの活動      | 8         | 8          |
| ケ   | スポーツや文化の普及活動           | 9         | 9          |
| コ   | 子ども・青少年に関する活動          | 10        | 10         |
| サ   | 消費者の安全・被害防止のための啓発活動    | 11        | 11         |
| シ   | 外国人との交流・支援などの活動        | 12        | 12         |
| ス   | その他（ ）                 | 13        | 13         |



問23 あなたは、日頃本市の取り組みやイベントなどの情報について、主にどのような形で入手していますか。（〇は1つだけ）

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 1 新聞・雑誌・ミニコミ誌                   | 7 町会・自治会の掲示版や回覧板   |
| 2 広報まつど                         | 8 町会・自治会などでの集会や会合  |
| 3 松戸市のホームページ                    | 9 近所の人や家族・親戚の人との会話 |
| 4 X(旧 twitter)、Facebook などの SNS |                    |
| 5 各種パンフレット                      | 10 その他（ ）          |
| 6 市が主催する説明会など                   | 11 特にない            |

★最後に、あなた自身についてお伺いします。

F1 あなたの性別をお聞かせください。（〇は1つだけ）

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

F2 あなたの年齢をお聞かせください。（〇は1つだけ）

- |        |          |
|--------|----------|
| 1 10歳代 | 5 50歳代   |
| 2 20歳代 | 6 60歳代   |
| 3 30歳代 | 7 70歳代   |
| 4 40歳代 | 8 80歳代以上 |

F3 あなたの職業をお聞かせください。（〇は1つだけ）

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1 会社員や公務員などの常勤職   | 5 無職      |
| 2 自営業             | 6 専業主婦・主夫 |
| 3 パート・アルバイト・フリーター | 7 その他     |
| 4 学生              | ( )       |

F4 あなたの松戸市在住年数をお聞かせください。（〇は1つだけ）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 5年未満    | 4 15年～19年 |
| 2 5年～9年   | 5 20年～24年 |
| 3 10年～14年 | 6 25年以上   |

F5 あなたの家族構成をお聞かせください。（〇は1つだけ）

- |                      |
|----------------------|
| 1 自分ひとりの世帯           |
| 2 自分と配偶者の夫婦のみの世帯     |
| 3 自分と配偶者と子どもの世帯      |
| 4 自分と配偶者と子どもと親世帯の3世代 |
| 5 自分と子どもの世帯          |
| 6 自分と子どもと親世帯の3世代     |
| 7 その他（ ）             |

F 6 あなたのお住まいの地域をお聞かせください。(○は1つだけ)

|             |            |            |           |
|-------------|------------|------------|-----------|
| ア行          | サ行         | 69. 西馬橋広手町 | 96. 緑ヶ丘   |
| 1. 秋山       | 35. 栄町     | 70. 二十世紀が丘 | 97. 南花島   |
| 2. 旭町       | 36. 栄町西    | 柿の木町       | 98. 稔台    |
| 3. 岩瀬       | 37. 七右衛門新田 | 71. 二十世紀が丘 | 99. 三矢小台  |
| 4. 大金平      | 38. 下矢切    | 戸山町        | 100. 六実   |
| 5. 大橋       | 39. 新作     | 72. 二十世紀が丘 | 101. 主水新田 |
| 6. 大谷口      | 40. 新松戸    | 中松町        | ヤ行        |
| 7. 大谷口新田    | 41. 新松戸北   | 73. 二十世紀が丘 | 102. 横須賀  |
| カ行          | 42. 新松戸東   | 梨元町        | 103. 吉井町  |
| 8. 上総内      | 43. 新松戸南   | 74. 二十世紀が丘 | ラ行        |
| 9. 金ヶ作      | 44. 千駄堀    | 萩町         | 104. 六高台  |
| 10. 紙敷      | 45. 外河原    | 75. 二十世紀が丘 | 105. 六高台西 |
| 11. 上本郷     | タ行         | 丸山町        | ワ行        |
| 12. 上矢切     | 46. 高塚新田   | 76. 二十世紀が丘 | 106. 和名ヶ谷 |
| 13. 河原塚     | 47. 高柳     | 美野里町       |           |
| 14. 北松戸     | 48. 高柳新田   | 77. 根木内    |           |
| 15. 串崎新田    | 49. 竹ヶ花    | 78. 根本     |           |
| 16. 串崎南町    | 50. 竹ヶ花西町  | 79. 野菊野    |           |
| 17. 久保平賀    | 51. 田中新田   | ハ行         |           |
| 18. 栗ヶ沢     | 52. 常盤平    | 80. 八ヶ崎    |           |
| 19. 栗山      | 53. 常盤平陣屋前 | 81. 八ヶ崎緑町  |           |
| 20. 幸田      | 54. 常盤平西窪町 | 82. 初富飛地   |           |
| 21. 幸谷      | 55. 常盤平双葉町 | 83. 東平賀    |           |
| 22. 古ヶ崎     | 56. 常盤平松葉町 | 84. 東松戸    |           |
| 23. 小金      | 57. 常盤平柳町  | 85. 日暮     |           |
| 24. 小金上総町   | 58. 殿平賀    | 86. 樋野口    |           |
| 25. 小金きよしヶ丘 | ナ行         | 87. 平賀     |           |
| 26. 小金清志町   | 59. 仲井町    | 88. ニツ木    |           |
| 27. 小金原     | 60. 中金杉    | 89. ニツ木二葉町 |           |
| 28. 小根本     | 61. 中根     | 90. 本町     |           |
| 29. 小山      | 62. 中根長津町  | マ行         |           |
| 30. 胡録台     | 63. 中矢切    | 90. 牧の原    |           |
| 31. 五香      | 64. 中和倉    | 91. 松戸     |           |
| 32. 五香西     | 65. 西馬橋    | 92. 松戸新田   |           |
| 33. 五香南     | 66. 西馬橋相川町 | 93. 松飛台    |           |
| 34. 五香六実    | 67. 西馬橋蔵元町 | 94. 馬橋     |           |
|             | 68. 西馬橋幸町  | 95. 三ヶ月    |           |

**【自由記入欄】**最後に、今までお伺いしたことの他に、「協働のまちづくり」についてご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。

（ご自由にお書きください）

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**ご協力ありがとうございました。**

※記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、12月27日（金）までに、投函してください。

## 2. 市民活動団体

### 協働のまちづくり市民活動団体アンケート調査票

#### ■■ ご協力をお願い ■■

日頃より、松戸市政にご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。  
本市では、「松戸市協働のまちづくり条例」を施行し、市民、市民活動団体、事業者による市民活動を活性化するとともに、それらの活動と市が協力、連携する協働に取り組むことで、豊かで活力ある地域社会の実現を目指しています。そして、「松戸市協働推進計画」を策定し、協働を推進するための施策を展開しています。

本調査は、市民活動団体の皆様の活動や協働のまちづくりに対する意識等をお伺いし、令和4年度から実施している第4次協働推進計画の進捗評価及び計画見直しの参考とさせていただきます。実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。所用時間は10分程度です。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、松戸市内に主たる事務所があるNPO法人、松戸市の市民活動登録団体及びまつど市民活動サポートセンター利用団体を対象にさせていただきました。アンケートの集計結果につきましては、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用いたしません。

また、この調査の実施につきましては、松戸市から世論調査の専門機関である「株式会社サーベイリサーチセンター」に委託しております。

令和6年11月 松戸市長 本郷谷 健次

#### ■■ ご記入にあたって ■■

1. この調査には団体名やお名前を記入する必要はありません。また、記入は、鉛筆もしくはボールペンのどちらでも結構です。
2. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
3. 質問の中には、選択した番号により、次の質問が問われるものがありますので、ご注意ください。
4. お答えが「その他」の場合には、( ) 内に内容を具体的にお書きください。
5. ご記入いただいた調査票は、**12月27日(金)までに**同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
6. 本調査はインターネットを利用して回答することができます。インターネットで回答した方は、この調査票を返送する必要はございません。下記 URL もしくは二次元コードを読み取って、アンケート専用ホームページにアクセスし、アンケート ID を入力の上回答してください。

URL :

アンケートID :

二次元コード→

アンケートIDは対象者以外の方が回答してしまうことを防止するため、また重複回答を防止するためのものであり、団体を特定するものではありません。

#### < 問い合わせ先 >

この調査に関するご質問、ご意見などは、下記までお問い合わせください。

(調査について)

松戸市 市民部 市民自治課  
〒271-8588 松戸市根本387番地の5  
電話：047-366-7318 FAX：047-704-4009  
E-MAIL：mshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp  
(土日・祝日を除く 8:30~17:00)

(調査票の配布・回収について)

株式会社サーベイリサーチセンター  
〒112-0004  
東京都文京区後楽1丁目1番3号  
電話：03-6826-4666  
(土日・祝日を除く 10:00~17:00)

### 1. 貴団体の基本的なことからについてお尋ねします。

F 1 貴団体では、次のうち、どのような分野の活動をしていますか。（○はいくつでも）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 保健、医療または福祉の増進を図る活動                          |
| 2  | 社会教育の推進を図る活動                                |
| 3  | まちづくりの推進を図る活動                               |
| 4  | 観光の振興を図る活動                                  |
| 5  | 農山漁村または中山間地域の振興を図る活動                        |
| 6  | 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動                     |
| 7  | 環境の保全を図る活動                                  |
| 8  | 災害救援活動                                      |
| 9  | 地域安全活動                                      |
| 10 | 人権の擁護または平和の推進を図る活動                          |
| 11 | 国際協力の活動                                     |
| 12 | 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動                         |
| 13 | 子どもの健全育成を図る活動                               |
| 14 | 情報化社会の発展を図る活動                               |
| 15 | 科学技術の振興を図る活動                                |
| 16 | 経済活動の活性化を図る活動                               |
| 17 | 職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動                    |
| 18 | 消費者の保護を図る活動                                 |
| 19 | 上記1から18に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動 |
| 20 | その他（ ）                                      |

F 2 上記の選択肢1～20までのうち、もっとも力を入れている活動分野は何番ですか。

（ ）番

F 3 貴団体は、次のうちどれに当たりますか。（○は1つだけ）

- |   |                  |   |        |
|---|------------------|---|--------|
| 1 | 特定非営利活動法人（NPO法人） | 4 | 社団法人   |
| 2 | 法人格のない任意団体       | 5 | その他（ ） |
| 3 | 社会福祉法人           |   |        |

F 4 貴団体には、個人会員（賛助会員も含む。）が何人いますか。

※本アンケートでいうところの「会員」は、「実際に団体の活動をする方」「継続的に団体の支援（寄附など）をする方（賛助会員など）」そして「NPO法人において議決権をもつ方（社員）」を想定しています。

（ ）人

F 5 貴団体の会員の中で、一番多い年代は、どの年代ですか。（○は1つだけ）

- |   |       |   |       |
|---|-------|---|-------|
| 1 | 20代以下 | 5 | 60代   |
| 2 | 30代   | 6 | 70代   |
| 3 | 40代   | 7 | 80代以上 |
| 4 | 50代   |   |       |

F 6 貴団体の働き、給料をもらっている有給職員は何人いますか。

※いない場合は、「0人」とお答えください。

( )人

F 7 貴団体の、直近の事業年度の総支出額（財政規模）は、おおよそどのくらいでしたか。

（○は1つだけ）

- |                  |                    |            |
|------------------|--------------------|------------|
| 1 10万円未満         | 4 100万円以上 300万円未満  | 7 1000万円以上 |
| 2 10万円以上 50万円未満  | 5 300万円以上 500万円未満  |            |
| 3 50万円以上 100万円未満 | 6 500万円以上 1000万円未満 |            |

F 8 貴団体は、おおよそ、どのくらいの頻度で活動をしていますか。（○は1つだけ）

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 週に5回以上    | 4 2週間に1回程度 |
| 2 週に3, 4回程度 | 5 月に1回程度   |
| 3 週に1, 2回程度 | 6 2か月に1回以下 |

F 9 貴団体での活動で日常的に利用する場所は、主にどこですか。（○は1つだけ）

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 団体の事務所（会員の自宅を含む） | 7 女性センターゆうまつど      |
| 2 松戸市内の市民センター      | 8 森のホール21          |
| 3 矢切公民館            | 9 松戸市民劇場           |
| 4 松戸市民会館           | 10 まつど市民活動サポートセンター |
| 5 松戸市市民交流会館すまいる    | 11 松戸市社会福祉協議会      |
| 6 町会・自治会の集会所       | 12 その他（ )          |

F 10 貴団体の主たる活動エリアは、次のうちどれに当たりますか。もっとも近いものの番号をお答えください。（○は1つだけ）

- |             |                 |            |
|-------------|-----------------|------------|
| 1 松戸市本庁地区   | 9 松戸市五香松飛台地区    | 17 千葉県内    |
| 2 松戸市明第1地区  | 10 松戸市六実六高台地区   | 18 首都圏内    |
| 3 松戸市明第2東地区 | 11 松戸市常盤平団地地区   | 19 日本国内    |
| 4 松戸市明第2西地区 | 12 小金地区         | 20 海外を含む範囲 |
| 5 松戸市矢切地区   | 13 小金原地区        |            |
| 6 松戸市東部地区   | 14 新松戸地区        |            |
| 7 松戸市馬橋地区   | 15 馬橋西地区        |            |
| 8 松戸市常盤平地区  | 16 上記1～15の複数エリア |            |

F 11 貴団体の活動年数は何年ですか。（○は1つだけ）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満      | 5 7年以上～10年未満 |
| 2 1年以上～2年未満 | 6 10年～15年未満  |
| 3 2年以上～5年未満 | 7 15年～20年未満  |
| 4 5年以上～7年未満 | 8 20年以上      |

**2. 貴団体の活動についてお尋ねします。**

問1 貴団体の収入源のうち、最も大きなものは何ですか。（○は1つだけ）

- 1 会員からの会費
- 2 個人や企業（事業所）からの寄附
- 3 自主事業（モノの販売やサービス等の提供）による収入
- 4 行政（松戸市や千葉県など）からの助成や補助による収入
- 5 企業（財団等を含む。）からの助成や補助による収入
- 6 行政からの委託事業による収入
- 7 企業からの委託事業による収入
- 8 その他（ ）

問2 貴団体の活動は、貴団体の活動方針のとおり活動できていますか。（○は1つだけ）

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 大いにできている      | 4 どちらかといえばできていない |
| 2 どちらかといえばできている | 5 全くできていない       |
| 3 どちらともいえない     |                  |

問3 貴団体の活動上の課題は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 役員や職員が不足している
- 2 参加してくれるボランティアが不足している
- 3 特定の個人に責任や作業が集中する
- 4 リーダーや後継者が育たない
- 5 団体内全体が高齢化している
- 6 役員や職員が忙しく、団体の活動時間が取れない
- 7 活動資金が不足している
- 8 活動場所の確保が難しい
- 9 活動や団体の運営管理に必要な専門的知識が不足している
- 10 活動の評価・見直し・改善が出来ていない
- 11 自治体の施策や民間の助成金等についての情報が得にくい
- 12 外部に活動や運営方法等の相談ができる適当な相談者や相談機関がない
- 13 地域住民の理解が得られない
- 14 地域の他団体・他機関との連携がうまくいかない
- 15 自分たちの活動をうまくPRする方法がない
- 16 その他（ ）
- 17 特になし

問4 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類から5類に移行しましたが、現在貴団体の活動はどのような状況にありますか。（○は1つだけ）

- 1 支援対象者が増加したことや新たな活動を立ち上げたことなどにより、事業規模が拡大した
- 2 活動への影響はほとんどなく、感染拡大前と変わらず活動している
- 3 活動が休止又は低下していたが、感染拡大前の水準に戻りつつある
- 4 活動が休止又は低下していたが、徐々に再開している
- 5 活動が休止又は低下している
- 6 活動が休止又は低下し、団体の解散を検討している
- 7 その他（ ）



**3. 貴団体の情報発信についてお尋ねします。**

問7 貴団体の活動を地域や社会に伝えるため、どのように情報発信をしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 チラシやポスターの作成
- 2 パンフレットの作成
- 3 街頭やイベント会場などでの広報活動
- 4 ホームページ
- 5 X (旧 twitter)、Facebook 等のSNS
- 6 会員等へのメールマガジンの送付
- 7 松戸市の公共施設（市役所や「まつど市民活動サポートセンター」など）での情報の掲示
- 8 千葉県広報紙やホームページへの情報掲載
- 9 松戸市の「広報まつど」への情報掲載
- 10 ミニコミ誌（地域新聞、UK I UK I 等）への情報掲載
- 11 マスコミ（新聞、テレビのニュースなど）への情報提供
- 12 口コミ
- 13 その他（ )
- 14 情報発信はしていない

問8 貴団体では、どのような内容の情報発信をしましたか。(〇はいくつでも)

- |               |                      |
|---------------|----------------------|
| 1 団体の目標や理念の紹介 | 4 イベント等を手伝うボランティアの募集 |
| 2 活動の紹介あるいは報告 | 5 団体の運営を中心的に担う会員の募集  |
| 3 イベント（行事）の告知 | 6 その他（ )             |
|               | 7 情報発信はしていない         |

問9 貴団体では、情報発信にあたり、困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

- 1 発信しても、市民からの反応に乏しいこと
- 2 情報発信に利用できる場所が限られてしまうこと
- 3 情報発信の手段があまりないこと
- 4 情報発信にかかる費用が負担になること
- 5 情報発信の活動に関わることのできる人の数が限られていること
- 6 情報発信の内容に乏しいこと
- 7 その他（ )
- 8 特に困っていることはない
- 9 情報発信はしていない



問13 松戸市の「協働事業提案制度」は、市民活動団体等が市と相互に社会資源を分担し、協力して行う事業です。「協働事業提案制度」では、社会資源持ち寄りの原則に基づき、事業に要する経費に対して市が50万円以内で負担金を交付します。

松戸市ホームページで「協働事業提案制度」を紹介しています。  
[https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/teianseido/index.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/teianseido/index.html)



貴団体で、協働事業提案制度を使ったことがありますか。（○は1つだけ）

1. 現在又は過去に使ったことがある      2. ない      → 問14へお進みください。

→ 問13-1 協働事業提案制度を使ってみて、貴団体にとって良かったこと、課題に感じたことは何ですか。（○はいくつでも）

| 良かったこと                        | 課題に感じたこと                |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 事業に必要な資金を確保できた              | 1 負担金が少なかった             |
| 2 団体の社会的な信用度が上がった             | 2 補助率があり、自己資金の確保が大変だった  |
| 3 構成員のスキルが上がった                | 3 書類（申請書、報告書等）の作成が煩雑だった |
| 4 会員や協力者が増えた                  | 4 市の職員の協力を得るのが大変だった     |
| 5 活動場所を確保できた（公共施設を無料で使用できたなど） | 5 選考審査が厳しかった            |
| 6 市の職員と知り合う機会ができた             | 6 その他                   |
| 7 その他<br>( )                  | 6 その他<br>( )            |

→問15へお進みください

問14 協働事業提案制度を使わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 松戸市から提供される資金の額が少ないと思うから  
 2 行政の基準に合わせると、活動内容に制約を受けると思うから  
 3 手続きが面倒だと思うから  
 4 自分たちの活動テーマの場合、松戸市のどの担当課と組めばよいのか分からないから  
 5 担当課の職員が協力してくれないと思うから  
 6 申請する余裕がないから（構成員の不足など）  
 7 行政と協働しなくても、活動できるから  
 8 「協働事業」制度を知らなかったから  
 9 過去に申請したが、採択に至らなかったから  
 10 その他 ( )

→問15へお進みください

問15 松戸市の「市民活動助成制度」は、市民活動団体が、新たな市民活動を立ち上げるため、または、既存の活動をさらに発展させるための事業です。「市民活動助成制度」では、事業に要する一時的な資金（上限額が10万円または30万円）を助成する制度を設けています。

松戸市ホームページで「市民活動助成制度」を紹介しています。  
[https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/jyosei/index.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/jyosei/index.html)



貴団体で、松戸市市民活動助成金を受けたことがありますか。（○は1つだけ）

- 1 現在又は過去に受けたことがある      2 ない      → 問17へお進みください。

→ 問15-1 助成金を受けて、貴団体にとって良かったこと、課題に感じたことは何ですか。（○はいくつでも）

| 良かったこと                        | 課題に感じたこと                |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 事業に必要な資金を確保できた              | 1 助成金額が少なかった            |
| 2 事業の立ち上げに役立った                | 2 補助率があり、自己資金の確保が大変だった  |
| 3 事業の質が向上した                   | 3 書類（申請書、報告書等）の作成が煩雑だった |
| 4 事業規模が拡大した                   | 4 選考審査が厳しかった            |
| 5 団体の社会的信用度が上がった              | 5 対象経費が限定されている          |
| 6 構成員のスキルが上がった                | 6 その他                   |
| 7 会員や協力者が増えた                  | ( )                     |
| 8 活動場所を確保できた（公共施設を無料で使用できたなど） |                         |
| 9 その他                         |                         |
| ( )                           |                         |

→問16へお進みください

問16 「市民活動助成制度」を活用した事業はどのような展開がありましたか。（○は1つだけ）

- 1 拡大して事業を行っている      2 継続して事業を行っている      → 問18へお進みください  
 3 縮小して事業を行っている      4 事業を中止した

→ 問16-1 事業が縮小または中止となった理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 事業費が足りないため      2 人手が足りないため  
 3 他の事業に力を入れているため      4 事業目標を達成したため  
 5 その他 ( )

→問18へお進みください

問17 松戸市市民活動助成金を受けない理由は何ですか。（○はいくつでも）

- 1 松戸市から提供される資金の額が少ないと思うから  
 2 行政の基準に合わせると、活動内容に制約を受けると思うから  
 3 手続きが面倒だと思うから      4 他に財源が確保されているから  
 5 対象経費が限定されているから      6 申請する余裕がないから（構成員の不足など）  
 7 市民活動助成制度を知らなかったから      8 過去に申請したが、採択されなかったから  
 9 その他 ( )

→問18へお進みください

**※ここから再び、すべての団体の方にお尋ねします。**

問18 貴団体は、松戸市に対して、どのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 松戸市民の、市民活動への理解と参加を促すための啓発活動             |
| 2  | 市民活動へ参加する人材の育成                          |
| 3  | 活動のために使える場所の提供                          |
| 4  | ボランティア、市民活動に関わる松戸市の取組についての情報の提供         |
| 5  | 団体のより良い運営（マネジメント）のために役立つ知識や情報の提供        |
| 6  | 貴団体と同様の活動をしている団体とのネットワークづくり             |
| 7  | 団体の運営上、困っていることについての助言                   |
| 8  | 貴団体の活動及びイベントについて紹介する場や機会の充実             |
| 9  | 活動への評価制度の創設                             |
| 10 | 他の市民活動団体と協力関係を築くきっかけづくり                 |
| 11 | 市民活動団体への資金援助                            |
| 12 | 国、自治体の補助金あるいは財団等による助成金についての情報提供         |
| 13 | 金銭や物品の寄附などの手段で、団体の活動の支援をしてくれる企業（事業所）の紹介 |
| 14 | その他 [                                   |
| 15 | 特に期待することはない ]                           |

問19 貴団体は、市民活動団体を支援する「まつど市民活動サポートセンター」に対して、どのようなことを期待しますか。（〇はいくつでも）

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 松戸市民の、市民活動への理解と参加を促すための啓発活動             |
| 2  | 市民活動へ参加する人材の育成                          |
| 3  | 活動に使える施設の紹介                             |
| 4  | 協働事業提案制度や市民活動助成金に応募するための、提案書づくりのアドバイス   |
| 5  | 団体のより良い運営（マネジメント）のために役立つ知識や情報の提供        |
| 6  | 貴団体と同様の活動をしている団体とのネットワークづくり             |
| 7  | 団体の運営上、困っていることについての助言                   |
| 8  | 活動やイベントを紹介する場や機会の充実                     |
| 9  | ボランティアになってくれる人の紹介                       |
| 10 | 他の団体との協力関係を築くきっかけづくり                    |
| 11 | 国、自治体の補助金あるいは財団等による助成金についての情報提供         |
| 12 | 金銭や物品の寄附などの手段で、団体の活動の支援をしてくれる企業（事業所）の紹介 |
| 13 | 他の団体と連携・協力                              |
| 14 | その他 [                                   |
| 15 | 特に期待することはない ]                           |
| 16 | 「まつど市民活動サポートセンター」を知らないので、分からない          |

**5. 貴団体と他の団体との関わりについてお尋ねします。**

問20 貴団体は、他の団体（民間事業者・町会・自治会・NPO・行政等）と連携・協力して活動していますか。（○は1つだけ）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 している              | 3 していない →問21へお進みください |
| 2 今はしていないが、かつてはしていた |                      |

→ 問20-1 その活動の内容は、どのようなものですか。（○はいくつでも）

- |   |
|---|
| 1 事業を委託する                                 |
| 2 事業を受託する                                 |
| 3 連携して事業（イベント）を企画する                       |
| 4 連携して事業（イベント）を実施する                       |
| 5 実行委員会等に委員として企画・立案に参画する                  |
| 6 人材を受け入れる                                |
| 7 人材を派遣する                                 |
| 8 ネットワーク組織（類似団体または町会・自治会で構成される連絡協議会など）に入る |
| 9 その他（ )                                  |

→問20-2へお進みください

問20-2 その活動の連携・協力先の団体は、どのような団体ですか。（○はいくつでも）

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 県・市等の行政                     |
| 2 企業                          |
| 3 市民活動団体（NPO、ボランティア団体、任意団体など） |
| 4 地縁組織（町会・自治会など）              |
| 5 社会福祉協議会                     |
| 6 学校・教育機関                     |
| 7 公益財団法人・公益社団法人               |
| 8 商工会等                        |
| 9 その他（ )                      |

→問20-3へお進みください

問20-3 他団体と連携・協力して良かったと思うこと。（○はいくつでも）

- |                        |
|------------------------|
| 1 事業に必要な資金を確保できた       |
| 2 有益な情報を得ることができた       |
| 3 事業の質が向上した            |
| 4 自団体のみで行うより事業規模が拡大できた |
| 5 構成員のスキルが上がった         |
| 6 会員や協力者が増えた           |
| 7 他団体とのつながりを他の事業に活かせた  |
| 8 その他（ )               |

→【自由記入欄】へお進みください

問2 1 他団体と連携・協力しない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 他団体のことを知らないから                  |
| 2 信頼できる団体がわからないから                |
| 3 どうやったら連携できるかわからないから            |
| 4 連携・協力して事業を行う効果がわからないから         |
| 5 連携・協力することで自団体の活動内容に制約を受けると思うから |
| 6 連携が面倒だと思うから                    |
| 7 その他 ( )                        |

→【自由記入欄】へお進みください

【自由記入欄】最後に、今までお伺いしたことの他に、「協働のまちづくり」についてご意見・ご要望・ご感想などがありましたら、お聞かせください。(ご自由にお書きください)

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

**ご協力ありがとうございました。**

※記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、12月27日(金)までに、投函してください。

### 3. 事業者

## 協働のまちづくり事業者アンケート調査票

#### 【 ご協力をお願い 】

日頃より、松戸市政にご理解ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

本市では、「松戸市協働のまちづくり条例」を施行し、市民、市民活動団体、事業者による市民活動を活性化するとともに、それらの活動と市が協力、連携する協働に取り組むことで、豊かで活力ある地域社会の実現を目指しています。そして、「松戸市協働推進計画」を策定し、協働を推進するための施策を展開しています。この調査は協働のまちづくりに関し、事業者の社会貢献活動の状況等をお伺いし、令和4年度から実施している第4次協働推進計画の進捗評価及び計画見直しの参考とさせていただくために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。所要時間は10分程度です。

なお、このアンケート調査を実施するにあたっては、事業所母集団データベース（令和4年次フレーム）に掲載された松戸市内の事業所様から無作為に400事業所を抽出いたしました。アンケートの集計結果につきましては公表いたしますが、事業所名等は公開いたしません。

また、この調査の実施につきましては、松戸市から世論調査の専門機関である「株式会社サーベイリサーチセンター」に委託しております。

令和6年11月 松戸市長 本郷谷 健次

#### 【 ご記入にあたって 】

1. 記入は、鉛筆もしくはボールペンのどちらでも結構です。
2. 回答は、質問により、1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがあります。あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
3. 質問の中には、選択した番号により、次の質問が問われるものがありますので、ご注意ください。
4. お答えが「その他」の場合には、( ) 内に内容を具体的にお書きください。
5. ご記入いただいた調査票は、**12月27日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。（差出人様の住所、氏名の記入は必要ありません。）**
6. 本調査はインターネットを利用して回答することができます。インターネットで回答した方は、この調査票を返送する必要はございません。下記 URL もしくは二次元コードを読み取って、アンケート専用ホームページにアクセスし、アンケート ID を入力の上、回答してください。

URL :

アンケートID :

二次元コード→

アンケートIDは対象者以外の方が回答してしまうことを防止するため、また重複回答を防止するためのものであり、事業者を特定するものではありません。

#### < 問い合わせ先 >

この調査に関するご質問、ご意見などは、下記までお問い合わせください。

(調査について)

松戸市 市民部 市民自治課  
〒271-8588 松戸市根本387番地の5  
電話 : 047-366-7318 FAX : 047-704-4009  
E-MAIL : meshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp  
(土日・祝日を除く 8 : 30~17 : 00)

(調査票の配布・回収について)

株式会社サーベイリサーチセンター  
〒112-0004  
東京都文京区後楽1丁目1番3号  
電話 : 03-6826-4666  
(土日・祝日を除く 10 : 00~17 : 00)

## 〔基本情報〕

貴事業所の基本情報をお伺いします。(未記入でも可)

|       |  |
|-------|--|
| 貴事業所名 |  |
| 担当部署  |  |
| 住 所   |  |
| 電話番号  |  |

## (1) 業種 (○は1つだけ)

|                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| 1 農林業           | 9 不動産業、物品賃貸業               |
| 2 建設業           | 10 学術研究、専門・技術サービス業         |
| 3 製造業           | 11 宿泊業、飲食サービス業             |
| 4 電気、ガス、熱供給、水道業 | 12 生活関連サービス業、娯楽業           |
| 5 情報通信業         | 13 教育、学習支援業                |
| 6 運輸業、郵便業       | 14 医療、福祉                   |
| 7 卸売業、小売業       | 15 複合サービス事業                |
| 8 金融業、保険業       | 16 サービス業(1～15に分類されないものも含む) |

## (2) 事業所の形態 (○は1つだけ)

|            |
|------------|
| 1 単独事業所    |
| 2 本店・本所・本社 |
| 3 支店・支所・支社 |
| 4 その他 ( )  |

## (3) 従業員数 (○は1つだけ)

|           |
|-----------|
| 1 1人～9人   |
| 2 10人～19人 |
| 3 20人～29人 |
| 4 30人～49人 |
| 5 50人～99人 |
| 6 100人以上  |

★ まずは、社会貢献活動についてお伺いします。

問1 貴事業所は、社会貢献活動（地域の祭りやイベントへの参加協力、地域の清掃活動や環境美化活動、ボランティアやNPOへの物品提供など）を実施していますか。（○は1つだけ）

- 1 現在、実施している
- 2 現在は取り組んでいないが、これから取り組む予定
- 3 以前は実施していたが、現在は実施していない
- 4 今まで実施したことはない →問2へお進みください

問1-1 次のア～サの社会貢献活動について、状況をご記入ください。（それぞれの該当する番号に○）

|                            | 現在実施している | これから取り組む | 過去に実施したことがある | 実施したことがない |
|----------------------------|----------|----------|--------------|-----------|
| ア. 町会・自治会など地域活動への寄附（資金や物品） | 1        | 2        | 3            | 4         |
| イ. 地域の祭りやイベントへの参加協力        | 1        | 2        | 3            | 4         |
| ウ. 学校行事への支援・協力             | 1        | 2        | 3            | 4         |
| エ. 地域の清掃活動や環境美化活動          | 1        | 2        | 3            | 4         |
| オ. ボランティアやNPOへの資金提供        | 1        | 2        | 3            | 4         |
| カ. ボランティアやNPOへの物品提供        | 1        | 2        | 3            | 4         |
| キ. NPO等活動団体の会員・賛助会員        | 1        | 2        | 3            | 4         |
| ク. 従業員が行うボランティア活動の促進       | 1        | 2        | 3            | 4         |
| ケ. 従業員が行うプロボノ活動(※)の促進      | 1        | 2        | 3            | 4         |
| コ. 技術・ノウハウや人材・労力の提供        | 1        | 2        | 3            | 4         |
| サ. 事業所内の施設や場所の提供           | 1        | 2        | 3            | 4         |

(※) 職業上のスキルや経験を活かして取り組む社会貢献活動

問2 貴事業所は、今後まちづくりの一環として社会貢献活動を実施したいと思  
いますか。現在社会貢献活動をされている事業者もされていない事業者もお答えく  
ださい（○は1つだけ）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 大いにそう思う   | 4 あまりそう思わない |
| 2 ある程度そう思う  | 5 全くそう思わない  |
| 3 どちらともいえない |             |

問3 社会貢献活動を進めるうえで、課題となることは何ですか。  
（あてはまるもの全てに○）

- |                              |
|------------------------------|
| 1 きっかけや機会がない                 |
| 2 人的な余裕がない                   |
| 3 社会貢献活動についての情報が少ない          |
| 4 活動する予算がない                  |
| 5 どのように取り組んだら良いか、取り組み方が分からない |
| 6 興味や関心がない                   |
| 7 組織の合意が得られない                |
| 8 社会貢献活動に取り組むメリットがない         |
| 9 その他（ )                     |

問4 事業者による社会貢献活動が活発になるために、市はどのようなことに取り組みば  
良いと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

- |                              |
|------------------------------|
| 1 事業者による社会貢献活動の事例を紹介する       |
| 2 社会貢献活動の手法などの情報を提供する        |
| 3 事業者が相談できる窓口を充実する           |
| 4 社会貢献活動を行う事業者同士の交流の場を提供する   |
| 5 市民活動団体と事業者の交流の場を提供する       |
| 6 事業者が社会貢献活動に参加できる機会や場を提供する  |
| 7 資金や物品を市民活動団体に提供できる仕組みを充実する |
| 8 その他（ )                     |

★ つぎに、市民活動団体との連携についてお伺いします。

「市民活動」とは

営利を目的とせず、多くの市民にとって役に立つこと・ためになることを行う社会貢献活動のことです。例えばボランティア、NPO、町会・自治会、子ども会・シニアクラブ・商店会等の地域組織、学校の保護者会やPTAなどの活動がそれにあたります。

生涯学習や文化・スポーツ・趣味などのサークル団体の活動についても、それが社会貢献を目的とする場合には、市民活動となります。

松戸市ホームページで「市民活動」を紹介しています。

[https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/dantaitouroku/tourokusei.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/dantaitouroku/tourokusei.html)



問5 今後、市民活動を行う団体と連携・協力して社会貢献活動を行うと仮定した場合、市民活動団体にどのようなことを求めますか。（あてはまるもの全てに○）

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1 活動の目的や内容に賛同できること        | 2 地域住民と密接な関係を有していること |
| 3 実績が豊富であること              | 4 知名度が高いこと           |
| 5 法人格を有していること             |                      |
| 6 事業所のPR効果などのメリットが期待できること |                      |
| 7 情報公開していること              | 8 ネットワークを持っていること     |
| 9 コミュニケーション能力があること        | 10 マネジメント能力があること     |
| 11 情報発信・情報収集力があること        | 12 活動理念が明確であること      |
| 13 企画力があること               |                      |
| 14 その他（                   | ）                    |

問6 市では事業者や市民からの寄附金（※協働のまちづくり基金）を、市民活動団体の行う社会貢献事業に助成する制度を実施しています。貴事業所で協働のまちづくりのための寄附を検討すると仮定した場合、どんな条件が必要だと思えますか。（あてはまるもの全てに○）

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 寄附のための事務手続きが簡単なこと              |   |
| 2 寄附が使われた助成団体や助成金額など運営状況が報告されること |   |
| 3 寄附により助成を受けた団体の決算や活動成果が公開されること  |   |
| 4 寄附する団体や活動分野が選べること              |   |
| 5 寄附した事業所名を広報やホームページで公表すること      |   |
| 6 協働のまちづくりのための寄附は行わない            |   |
| 7 その他（                           | ） |

※不要になった本の買い取り査定額を寄附として受け付ける「チャリボン」や、自動販売機の一部売上が寄附となる「チャリティー自動販売機」、直接寄附などで協働のまちづくり基金へのご寄附を募っております。

【松戸市ホームページ（協働のまちづくり基金）】

[https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/kikin/index.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html)



★ つぎに、協働のまちづくりについてお伺いします。

「協働のまちづくり」とは

市民、市民活動団体、民間事業者及び市が協力・連携する「協働」によって、多様化する地域の課題の解決に取り組むまちづくりのことです。本市では「松戸市協働のまちづくり条例」を施行し、様々な施策を展開して、豊かで活力ある地域社会の実現を目指しています。

松戸市ホームページで「協働のまちづくり」を紹介しています。

[https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou\\_machidukuri/index.html](https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/index.html)



問7 協働のまちづくりでは、自分たちのまちは自分たち自身で暮らしやすくする活動が求められますが、事業者もまちづくりに積極的に参加すべきだと思いますか。（○は1つだけ）

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 大いにそう思う      | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 全くそう思わない       |
| 3 どちらともいえない    |                  |

問8 貴事業所は松戸市において、市民、市民活動団体、民間事業者及び市の協力・連携が図られ、協働のまちづくりが進んでいると思いますか。（○は1つだけ）

- |                |          |                  |
|----------------|----------|------------------|
| 1 大いにそう思う      | 自由記入欄    | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | へお進みください | 5 全くそう思わない       |
| 3 どちらともいえない    |          |                  |

↓  
問8-1へお進みください



---

令和6年度  
協働のまちづくりに関する意識調査報告書  
(市民、市民活動団体、事業者)

松戸市 市民部 市民自治課  
〒271-8588 松戸市根本387番地の5  
電話 : 047-366-7318  
FAX : 047-704-4009

---